

平成 31 年 3 月 27 日
第 6 回下水道専門部会

検討資料

今後の下水道事業の経営と 使用料制度のあり方

神戸市

目 次

1 下水道使用料の改定案

(1) 改定の概要	1
(2) 下水道使用料改定案	2
(3) 平均改定率・水量区分別改定率	4
(4) 改定パターン案の比較	5
(5) C－5案を改定案とする根拠（下水道専門部会における主な意見）	6
(6) 改定案（C－5案）とD－5案の比較	6
(7) 下水道使用料（改定案と現行）の政令指定都市との比較	10

2 財政計画

(1) 経営状況の見通し（使用料改定を行わない場合）	15
(2) 財政計画（使用料改定を行う場合）	20

資料編

1 現行の下水道使用料	
(1) 公費と私費の負担区分	26
(2) 神戸市の下水道使用料体系	26
(3) 下水道使用料の計算方法	27
(4) 二部使用料制	28
(5) 基本使用料と基本水量の設定	29
(6) 従量使用料の設定	31
(7) 使用水量 1 m ³ 当たりの下水道使用料の政令指定都市平均との比較	32
(8) ランク別の水栓数・使用水量・使用料	33
(9) 使用水量の分布	34
(10) 大口使用者の年度別使用水量の推移	35
(11) 神戸市の人口、使用料収入、有収水量の推移	36
〔参考〕有収水量の見通し	37
〔参考〕政令指定都市と近隣市の下水道使用料の概要（H31. 3. 1 現在）	38

2 下水道事業の経営状況

(1) 収益的収支の推移	39
(2) 資本的収支の推移	40
(3) 収益的収支と資本的収支の関係	41
(4) 経営の健全性・効率性	42
(5) 収入源の確保	44
(6) 経営改善の主な取組み	45
(7) 類似団体等との下水道使用料比較	46

3 改築更新等の投資計画の見通し

(1) 建設改良費の分析	48
(2) 下水道施設の老朽化と計画的な改築・更新の必要性	49

4 維持管理費の見通し

(1) 維持管理費の内訳	56
(2) 維持管理費の見通し	57

(3) 一般管理費の見通し	58
(4) 処理場費の見通し	59

5 下水道使用料の改定案

(1) 改定パターン案作成の前提条件	62
(2) 改定パターン案	62
(3) 改定パターン案詳細	64
(4) 使用水量1 m ³ 当たりの下水道使用料の政令指定都市平均との比較	80
(5) その他	88
〔参考〕下水道使用料体系の推移	89

(参考) 地方公営企業法と下水道会計

(1) 地方公営企業法と下水道会計	90
(2) 一般会計や民間企業会計との違い	91

1 下水道使用料の改定案

(1) 改定の概要

改定の目的	汚水処理経費を下水道使用料でまかない、単年度収支の均衡を図り、下水道事業を安定的に経営するため。	
使用料算定期間	平成32年度～平成41年度（10年間）	
平均改定率	7.0%（一般汚水：7.0%、浴場汚水：0.5%、共用汚水：5.7%）	
使用料体系	一般汚水	基本水量を現行10 m ³ から5 m ³ に改定 基本使用料を現行470円から500円に改定 従量使用料は、6 m ³ から10 m ³ までに1ランク追加し、単価20円/m ³ を新設 現行の従量使用料8ランクの単価は一律2%増
	浴場汚水	基本水量を現行10 m ³ から5 m ³ に改定 基本使用料を現行470円から500円に改定 超過額（基本水量を超える部分）の単価は、現行37円/m ³ を据え置き
	共用汚水	基本水量を現行10 m ³ から5 m ³ に改定 基本使用料を現行350円から370円に改定 超過額（基本水量を超える部分）の単価は、現行16円/m ³ から17円/m ³ に改定
改定日	平成32年4月1日（予定）	

(2) 下水道使用料改定案

①一般汚水

1) 使用料新旧単価比較(税抜)〔1戸1月につき〕

現行		改定案 平均改定率 7.0% 平成 32 年 4 月 1 日から		
区分	単価	区分	単価	増額分
基本使用料 (10 m ³ 以下)	470 円	基本使用料 (5 m ³ 以下)	500 円	30 円
		6 m ³ ～10 m ³	×20 円/m ³	新設
11 m ³ ～30 m ³	×98 円/m ³	11 m ³ ～30 m ³	×100 円/m ³	2 円
31 m ³ ～50 m ³	×128 円/m ³	31 m ³ ～50 m ³	×130 円/m ³	2 円
51 m ³ ～100 m ³	×152 円/m ³	51 m ³ ～100 m ³	×155 円/m ³	3 円
101 m ³ ～200 m ³	×183 円/m ³	101 m ³ ～200 m ³	×186 円/m ³	3 円
201 m ³ ～500 m ³	×215 円/m ³	201 m ³ ～500 m ³	×219 円/m ³	4 円
501 m ³ ～1,000 m ³	×230 円/m ³	501 m ³ ～1,000 m ³	×234 円/m ³	4 円
1,001 m ³ ～2,000 m ³	×245 円/m ³	1,001 m ³ ～2,000 m ³	×249 円/m ³	4 円
2,001 m ³ ～	×260 円/m ³	2,001 m ³ ～	×265 円/m ³	5 円

2) 使用水量別新旧使用料比較(1か月・税抜)

使用水量	現行	改定案	
	使用料	使用料	増額分
1 m ³	470 円	500 円	30 円
5 m ³	470 円	500 円	30 円
6 m ³	470 円	520 円	50 円
10 m ³	470 円	600 円	130 円
20 m ³	1,450 円	1,600 円	150 円
30 m ³	2,430 円	2,600 円	170 円
40 m ³	3,710 円	3,900 円	190 円
50 m ³	4,990 円	5,200 円	210 円
100 m ³	12,590 円	12,950 円	360 円
200 m ³	30,890 円	31,550 円	660 円
500 m ³	95,390 円	97,250 円	1,860 円
1,000 m ³	210,390 円	214,250 円	3,860 円
2,000 m ³	455,390 円	463,250 円	7,860 円
5,000 m ³	1,235,390 円	1,258,250 円	22,860 円
10,000 m ³	2,535,390 円	2,583,250 円	47,860 円
100,000 m ³	25,935,390 円	26,433,250 円	497,860 円

(参考) 1か月あたりの平均使用水量(平成29年度)

全使用者の平均: 18.57 m³

基本水量以下の全使用者の平均: 5.18 m³

②その他

1) 使用料単価(税抜)〔1戸1月につき〕

	現行		改定案 平均改定率 浴場汚水：0.5% 共用汚水：5.7%		
	区分	単価	区分	単価	増額分
浴場汚水	基本使用料 (10 m ³ 以下)	470 円	基本使用料 (5 m ³ 以下)	500 円	30 円
			6 m ³ ～10 m ³	×37 円/m ³	据え置き
	11 m ³ ～	×37 円/m ³	11 m ³ ～		
共用汚水	基本使用料 (10 m ³ 以下)	350 円	基本使用料 (5 m ³ 以下)	370 円	20 円
			6 m ³ ～10 m ³	×17 円/m ³	1 円
			11 m ³ ～		

2) 使用水量別使用料(1か月・税抜)

	使用水量	現行	改定案	
		使用料	使用料	増額分
浴場汚水	750 m ³	27,850 円	28,065 円	215 円
	1,000 m ³	37,100 円	37,315 円	
	2,000 m ³	111,100 円	111,315 円	
	5,000 m ³	185,100 円	185,315 円	
共用汚水	5 m ³	350 円	370 円	20 円
	6 m ³	350 円	387 円	37 円
	10 m ³	350 円	455 円	105 円
	20 m ³	510 円	625 円	115 円
	30 m ³	670 円	795 円	125 円
	40 m ³	830 円	965 円	135 円

(参考) 1か月あたりの平均使用水量 (平成29年度)

浴場汚水：757.26 m³

共用汚水： 5.95 m³

(3) 平均改定率・水量区分別改定率

①一般汚水

排除汚水量 区分	10年間(H32～H41)の合計		現行		改定案(C-5案)					
	延戸数	有収水量(m ³)	単価 (円)	10年間の 調定見込額(円)	単価 (円)	単価増 加額(円)	単価 増加率	10年間の 調定見込額(円)	10年間の 増収見込額(円)	H29決算 対象者比率※
基本水量(5 m ³ 以下)	95,936,804	95,936,804	470	44,954,523,466	500	30	6.3%	47,921,663,145	2,967,139,679	100.00%
6～10 m ³	—	425,863,364	—	—	20	新設	新設	6,562,309,156	6,562,309,156	80.78%
11～30 m ³	—	333,616,892	98	46,848,898,649	100	2	2.0%	47,932,373,195	1,083,474,546	59.12%
31～50 m ³	—	42,158,239	128	5,380,005,524	130	2	1.5%	5,478,836,865	98,831,341	8.07%
51～100 m ³	—	37,055,427	152	5,615,464,566	155	3	1.9%	5,741,589,900	126,125,334	1.50%
101～200 m ³	—	43,622,906	183	7,958,953,535	186	3	1.6%	8,111,587,394	152,633,859	0.69%
201～500 m ³	—	65,348,741	215	14,007,672,243	219	4	1.8%	14,306,860,792	299,188,549	0.39%
501～1,000 m ³	—	50,006,965	230	11,466,968,501	234	4	1.7%	11,698,161,194	231,192,693	0.17%
1,001～2,000 m ³	—	47,439,543	245	11,587,690,031	249	4	1.6%	11,809,199,764	221,509,733	0.08%
2,001～	—	102,415,151	260	26,547,757,475	265	5	1.9%	27,131,234,793	583,477,318	0.04%
合計 A	95,936,804	1,243,464,032	—	174,367,933,990	—	—	—	186,693,816,198	12,325,882,208	—

②その他

		現行		改定案	
		10年間の調定見込額(円)	10年間の調定見込額(円)	10年間の増収見込額(円)	改定率
浴場汚水 B		106,316,315	106,892,887	576,572	0.5%
共用汚水 C		3,256,335	3,443,755	187,420	5.7%
水質使用料・浴場汚水補填額・共用汚水補填額 D		1,508,767,618	1,508,767,618	0	—
合計 A+B+C+D		175,986,274,258	188,312,920,458	12,326,646,200	7.0%

※平成29年度(決算)の調定データに基づく対象使用者数(水栓数)の比率。
500円(基本使用料)は、全使用者(100%)に賦課される。
6～10 m³に新設する従量使用料20円/m³は、基本水量(5 m³)を超える使用水量の使用者(全体の80.78%)に賦課される(7頁の計算式参照)。

(4) 改定パターン案の比較

全16案について、使用水量毎の使用料（下段は値上げ額）を比較し、廉価な順に①～⑯と付番した。

(税抜)

	現行	A	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	E-1	E-2	E-3
基本使用料	470円	600円	503円	520円	484円	470円	500円	500円	500円	489円	470円	500円	500円	500円	470円	470円	500円
基本水量	10m ³	10m ³	10m ³	10m ³	5m ³	5m ³	5m ³	5m ³	5m ³	6m ³	6m ³	6m ³	6m ³	6m ³	0m ³	0m ³	0m ³
改定内容	従量使用料	改定無し	一律7.2%増	一律5.7%増	6~10m ³ 新設 20円/m ³					7~10m ³ 新設 20円/m ³					1~10m ³ 新設 16円/m ³	1~10m ³ 新設 10円/m ³	
					一律3.1%増	一律4.1%増	最高ランクを除き 2.1%増	11~50m ³ を一律 4.1%増	一律2.0%増	一律4.1%増	一律5.3%増	最高ランクを除き 4.0%増	11~50m ³ を一律 7.2%増	一律3.1%増	改定無し	一律3.3%増	一律1.1%増
1か月使用水量別の下水道使用料と値上げ額	1m ³	5m ³	6m ³	10m ³	20m ³	30m ³	40m ³	50m ³	100m ³	200m ³	500m ³	1,000m ³	2,000m ³	5,000m ³	10,000m ³	100,000m ³	
	470円	600円	503円	520円	484円	470円	500円	500円	500円	489円	470円	500円	500円	500円	486円	480円	510円
	-	⑯130円	⑬33円	⑮50円	④14円	①0円	⑦30円	⑦30円	⑦30円	⑥19円	①0円	⑦30円	⑦30円	⑦30円	⑤16円	③10円	⑭40円
	470円	600円	503円	520円	484円	470円	500円	500円	500円	489円	470円	500円	500円	500円	550円	520円	550円
	-	⑯130円	⑩33円	⑫50円	③14円	①0円	⑤30円	⑤30円	⑤30円	④19円	①0円	⑤30円	⑤30円	⑤30円	⑭80円	⑫50円	⑭80円
	470円	600円	503円	520円	504円	490円	520円	520円	520円	489円	470円	500円	500円	500円	566円	530円	560円
	-	⑯130円	⑦33円	⑨50円	⑧34円	③20円	⑨50円	⑨50円	⑨50円	②19円	①0円	④30円	④30円	④30円	⑮96円	⑬60円	⑭90円
	470円	600円	503円	520円	584円	570円	600円	600円	600円	569円	550円	580円	580円	580円	630円	570円	600円
	-	⑪130円	①33円	②50円	⑩114円	⑤100円	⑪130円	⑪130円	⑪130円	④99円	③80円	⑦110円	⑦110円	⑦110円	⑯160円	⑤100円	⑪130円
	1,450円	1,580円	1,553円	1,550円	1,594円	1,590円	1,600円	1,620円	1,600円	1,589円	1,580円	1,590円	1,630円	1,590円	1,610円	1,580円	1,590円
	-	③130円	②103円	①100円	⑪144円	⑦140円	⑫150円	⑮170円	⑫150円	⑥139円	③130円	⑦140円	⑯180円	⑦140円	⑭160円	③130円	⑦140円
	2,430円	2,560円	2,603円	2,580円	2,604円	2,610円	2,600円	2,640円	2,600円	2,609円	2,610円	2,600円	2,680円	2,600円	2,590円	2,590円	2,580円
	-	①130円	⑩173円	②150円	⑪174円	⑬180円	⑥170円	⑮210円	⑥170円	⑫179円	⑬180円	⑥170円	⑯250円	⑥170円	④160円	④160円	②150円
	3,710円	3,840円	3,973円	3,930円	3,914円	3,940円	3,900円	3,970円	3,900円	3,939円	3,950円	3,930円	4,050円	3,910円	3,870円	3,910円	3,870円
	-	①130円	⑮263円	⑨220円	⑧204円	⑫230円	④190円	⑭260円	④190円	⑪229円	⑬240円	⑨220円	⑯340円	⑥200円	②160円	⑥200円	②160円
	4,990円	5,120円	5,343円	5,280円	5,224円	5,270円	5,200円	5,300円	5,200円	5,269円	5,290円	5,260円	5,420円	5,220円	5,150円	5,230円	5,160円
	-	①130円	⑮353円	⑫290円	⑦234円	⑪280円	④210円	⑭310円	④210円	⑩279円	⑬300円	⑨270円	⑯430円	⑥230円	②160円	⑧240円	③170円
	12,590円	12,720円	13,443円	13,280円	13,024円	13,170円	12,950円	12,900円	12,950円	13,169円	13,290円	13,160円	13,020円	13,020円	12,750円	13,080円	12,810円
	-	①130円	⑯853円	⑭690円	⑨434円	⑬580円	⑤360円	④310円	⑤360円	⑫579円	⑮700円	⑩570円	⑦430円	⑦430円	②160円	⑩490円	③220円
	30,890円	31,020円	33,043円	32,580円	31,824円	32,170円	31,550円	31,200円	31,550円	32,169円	32,490円	32,160円	31,320円	31,820円	31,050円	31,980円	31,310円
	-	①130円	⑯2,153円	⑮1,690円	⑨934円	⑬1,280円	⑥660円	③310円	⑥660円	⑫1,279円	⑭1,600円	⑩1,270円	⑤430円	⑧930円	②160円	⑩1,090円	④420円
	95,390円	95,520円	102,043円	100,680円	98,124円	99,070円	97,250円	95,700円	97,250円	99,069円	100,290円	99,060円	95,820円	98,120円	95,550円	98,580円	96,410円
	-	①130円	⑯6,653円	⑮5,290円	⑨2,734円	⑬3,680円	⑥1,860円	③310円	⑥1,860円	⑫3,679円	⑭4,900円	⑩3,670円	④430円	⑧2,730円	②160円	⑩3,190円	⑤1,020円
	210,390円	210,520円	225,043円	222,180円	216,624円	218,570円	214,250円	210,700円	214,250円	218,569円	221,290円	218,560円	210,820円	216,620円	210,550円	217,080円	212,410円
	-	①130円	⑯14,653円	⑮11,790円	⑨6,234円	⑬3,180円	⑥3,860円	③310円	⑥3,860円	⑫8,179円	⑭10,900円	⑩8,170円	④430円	⑧6,230円	②160円	⑩6,690円	⑤2,020円
	455,390円	455,520円	487,043円	480,180円	468,624円	473,570円	464,250円	455,700円	463,250円	473,569円	478,290円	472,560円	455,820円	468,620円	455,550円	470,080円	459,410円
	-	①130円	⑯31,653円	⑮24,790円	⑨13,234円	⑬18,180円	⑦8,860円	③310円	⑥7,860円	⑫18,179円	⑭22,900円	⑩17,170円	④430円	⑧13,230円	②160円	⑩14,690円	⑤4,020円
	1,235,390円	1,235,520円	1,321,043円	1,302,180円	1,272,624円	1,283,570円	1,244,250円	1,235,700円	1,258,250円	1,283,569円	1,297,290円	1,252,560円	1,235,820円	1,272,620円	1,235,550円	1,274,080円	1,245,410円
	-	①130円	⑯85,653円	⑮66,790円	⑩37,234円	⑬48,180円	⑤8,860円	③310円	⑧22,860円	⑫48,179円	⑭61,900円	⑦17,170円	④430円	⑨37,230円	②160円	⑩38,690円	⑥10,020円
	2,535,390円	2,535,520円	2,711,043円	2,672,180円	2,612,624円	2,633,570円	2,544,250円	2,535,700円	2,583,250円	2,633,569円	2,662,290円	2,552,560円	2,535,820円	2,612,620円	2,535,550円	2,614,080円	2,555,410円
	-	①130円	⑯175,653円	⑮136,790円	⑩77,234円	⑬98,180円	⑤8,860円	③310円	⑧47,860円	⑫98,179円	⑭126,900円	⑦17,170円	④430円	⑨77,230円	②160円	⑩78,690円	⑦20,020円
	25,935,390円	25,935,520円	27,731,043円	27,332,180円	26,732,624円	26,933,570円	25,944,250円	25,935,700円	26,433,250円	26,933,569円	27,232,290円	25,952,560円	25,935,820円	26,732,620円	25,935,550円	26,734,080円	26,135,410円
	-	①130円	⑯1,795,653円	⑮1,396,790円	⑩797,234円	⑬998,180円	⑤8,860円	③310円	⑧497,860円	⑫998,179円	⑭1,296,900円	⑦17,170円	④430円	⑨797,230円	②160円	⑩798,690円	⑦200,020円
評価	安定した収入の確保	○	○	○			○	○	○			○	○	○			○
	少量使用者への配慮				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	負担の公平性	○	○	○	○	○			○	○	○			○		○	○
		A	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	E-1	E-2	E-3

○使用料改定のポイント

安定した収入の確保

・ 固定的な経費は可能な限り基本使用料で回収 → 基本使用料の増額

少量使用者への配慮

・ 基本水量に満たない使用者の不公平感の解消
 ・ 基本水量の廃止は少量使用者への影響大 → 基本水量の切り下げ (基本水量は廃止しない)

負担の公平性

・ 使用水量に応じた適切な負担
 ・ 現行の使用料体系を原則維持 → 従量使用料単価を一律に増額

(5) C-5案を改定案とする根拠（下水道専門部会における主な意見）

- ・基本水量は廃止するのが望ましいが、少量使用者への配慮の観点から、いきなり廃止するのではなく、引き下げるのが現実的な解決策である。
- ・基本水量を5 m³にすると基本水量内の使用者の約50%がカバーできる。
- ・従量使用料の改定率は、D-5案（一律3.1%）よりC-5案（一律2%）の方が従量使用料単価の改定額が抑えられる。
- ・大口使用者の負担を少しでも軽減するためには、C-5案の方が良い。

(6) 改定案（C-5案）とD-5案の比較

①一般汚水

1) 使用料単価（税抜）〔1戸1月につき〕

現行		改定案（C-5案）			D-5案		
区分	単価	区分	単価	増額分	区分	単価	増額分
基本使用料 (10 m ³ 以下)	470 円	基本使用料 (5 m ³ 以下)	500 円	30 円	基本使用料 (6 m ³ 以下)	500 円	30 円
		6 m ³ ~10 m ³	×20 円/m ³	新設	7 m ³ ~10 m ³	×20 円/m ³	新設
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×100 円/m ³	2 円	11 m ³ ~30 m ³	×101 円/m ³	3 円
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×130 円/m ³	2 円	31 m ³ ~50 m ³	×131 円/m ³	3 円
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×155 円/m ³	3 円	51 m ³ ~100 m ³	×156 円/m ³	4 円
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×186 円/m ³	3 円	101 m ³ ~200 m ³	×188 円/m ³	5 円
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×219 円/m ³	4 円	201 m ³ ~500 m ³	×221 円/m ³	6 円
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×234 円/m ³	4 円	501 m ³ ~1,000 m ³	×237 円/m ³	7 円
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×249 円/m ³	4 円	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×252 円/m ³	7 円
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	2,001 m ³ ~	×265 円/m ³	5 円	2,001 m ³ ~	×268 円/m ³	8 円

2) 使用水量別使用料(1か月・税抜)

1ヶ月 使用水量	現行 使用料	改定案(C-5案)			D-5案			
		使用料	計算式	現行との差	使用料	計算式	現行との差	C-5との差
1 m ³	470円	500円	500	30円	500円	500	30円	0円
5 m ³	470円	500円	500	30円	500円	500	30円	0円
6 m ³	470円	520円	500+20×1	50円	500円	500	30円	-20円
10 m ³	470円	600円	500+20×5	130円	580円	500+20×4	110円	-20円
20 m ³	1,450円	1,600円	500+20×5+100×10	150円	1,590円	500+20×4+101×10	140円	-10円
30 m ³	2,430円	2,600円	500+20×5+100×20	170円	2,600円	500+20×4+101×20	170円	0円
40 m ³	3,710円	3,900円	500+20×5+100×20+130×10	190円	3,910円	500+20×4+101×20+131×10	200円	10円
50 m ³	4,990円	5,200円	500+20×5+100×20+130×20	210円	5,220円	500+20×4+101×20+131×20	230円	20円
100 m ³	12,590円	12,950円	500+20×5+100×20+130×20+155×50	360円	13,020円	500+20×4+101×20+131×20+156×50	430円	70円
200 m ³	30,890円	31,550円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100	660円	31,820円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100	930円	270円
300 m ³	52,390円	53,450円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×100	1,060円	53,920円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×100	1,530円	470円
500 m ³	95,390円	97,250円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×300	1,860円	98,120円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×300	2,730円	870円
1,000 m ³	210,390円	214,250円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×300+234×500	3,860円	216,620円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×300+237×500	6,230円	2,370円
2,000 m ³	455,390円	463,250円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×300+234×500+249×1000	7,860円	468,620円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×300+237×500+252×1000	13,230円	5,370円
3,000 m ³	715,390円	728,250円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×300+234×500+249×1000+265×1000	12,860円	736,620円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×300+237×500+252×1000+268×1000	21,230円	8,370円
5,000 m ³	1,235,390円	1,258,250円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×300+234×500+249×1000+265×3000	22,860円	1,272,620円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×300+237×500+252×1000+268×3000	37,230円	14,370円
10,000 m ³	2,535,390円	2,583,250円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×300+234×500+249×1000+265×8000	47,860円	2,612,620円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×300+237×500+252×1000+268×8000	77,230円	29,370円
20,000 m ³	5,135,390円	5,233,250円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×300+234×500+249×1000+265×18000	97,860円	5,292,620円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×300+237×500+252×1000+268×18000	157,230円	59,370円
100,000 m ³	25,935,390円	26,433,250円	500+20×5+100×20+130×20+155×50+186×100+219×300+234×500+249×1000+265×98000	497,860円	26,732,620円	500+20×4+101×20+131×20+156×50+188×100+221×300+237×500+252×1000+268×98000	797,230円	299,370円

3) 使用料単価の政令指定都市比較

(単位:円、税抜)

		神戸市			札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	東京都	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市
		C-5案	D-5案	現行																				
水量区分別の使用料単価円・税抜	0㎡	500	500	470	600	703	666	580	560	660	630	686	1,190	925	1,110	560	650	550	665	538	695	634	760	810
	1~5㎡		500	470				15																
	6㎡	20		470	600	703	17	17	560	660	630	686	1,190	35	40	560	10	550	50	62	5	634	13	13.33
	7~8㎡		20																					
	9~10㎡																							
	11~15㎡				67	104			110	128	118	95		125	117	108	113	61	140	158	106		152	119.05
	16~20㎡	100	101	98			140					100	158								162	141	188	
	21~25㎡				91		152	140	140	164	173	116	158	145	138	160	116	83	200		233		246	157.14
	26~30㎡					137														200				
	31~40㎡	130	131	128			174	188	170	242	234	126	191	160	152	179	162	103	210			208	246	
	41~50㎡				118																			
	51~100㎡	155	156	152		225	218	229	200	303	264	153		175	164	205		119	270		311		278	190.48
	101~200㎡	186	188	183	145	274	272		230	364	299		246	190	176		183	136		255		257		
	201~250㎡							267				168				240								
251~300㎡	219	221	215		351	298		270		341			200	188		201	159	335	341			311	228.57	
301~500㎡				168							200													
501~600㎡	234	237	230		378	352	297	310		389			210	195			180	360	392	344		366	266.66	
601~1,000㎡									422		416					213								
1,001~2,000㎡	249	252	245	199		385	329			416		314		203			215				407	417		
2,001~5,000㎡					406			345	466		237		220	208										
5,001~10,000㎡	265	268	260	237		413	359			475				212		218	234	395	424		412	515	309.52	
10,001㎡~				420																				
指標	10㎡使用時の1㎡単価(円)	60	58	47	60	70.3	83.6	74	78	68	67	87.6	119	127.5	151	56	70	55	116.5	115.8	71.5	63.4	89	94.3
	最少水量の単価(円)*1	100	83.3	47	60	70.3	83.6	74	70	82.5	78.75	85.75	119	127.5	151	56	130	55	116.5	115.8	115.83	63.4	89	94.3
	最高単価(円)	265	268	260	237	420	413	359	345	475	472	237	314	220	212	254	218	234	395	424	344	412	515	309.52
	逓増度*2 ○内は順位	2.65	3.21	5.53⑩	3.95⑩	5.97⑩	4.94⑮	4.85⑬	4.93⑭	5.76⑰	5.99⑳	2.76⑤	2.64④	1.73③	1.40①	4.54⑫	1.68②	4.25⑪	3.39⑧	3.66⑨	2.96⑥	6.5⑳	5.79⑱	3.28⑦
直近改定期期	—	—	S61.5	H9.4	H14.3	H26.6	H26.4	H10.6	H16.4	H13.4	H25.4	H16.4	H18.6	H29.10	H12.1	H25.8	H13.6	H29.10	H20.4	H20.7	H11.11	H17.6	H21.9	
H27国政調査人口(万人)	—	—	153.7	195.2	108.2	126.3	97.1	1,351	147.5	372.4	72.0	81.0	70.4	79.7	229.5	147.5	269.1	83.9	71.9	119.4	96.1	153.8	74.0	

*1 最少水量の単価は、基本水量が有る場合は、基本使用料を基本水量で除して算出し、基本水量が無い場合は10㎡の使用料を計算し、10で除して算出した。

*2 逓増度は、最高単価を最少水量の単価で除して算出した。

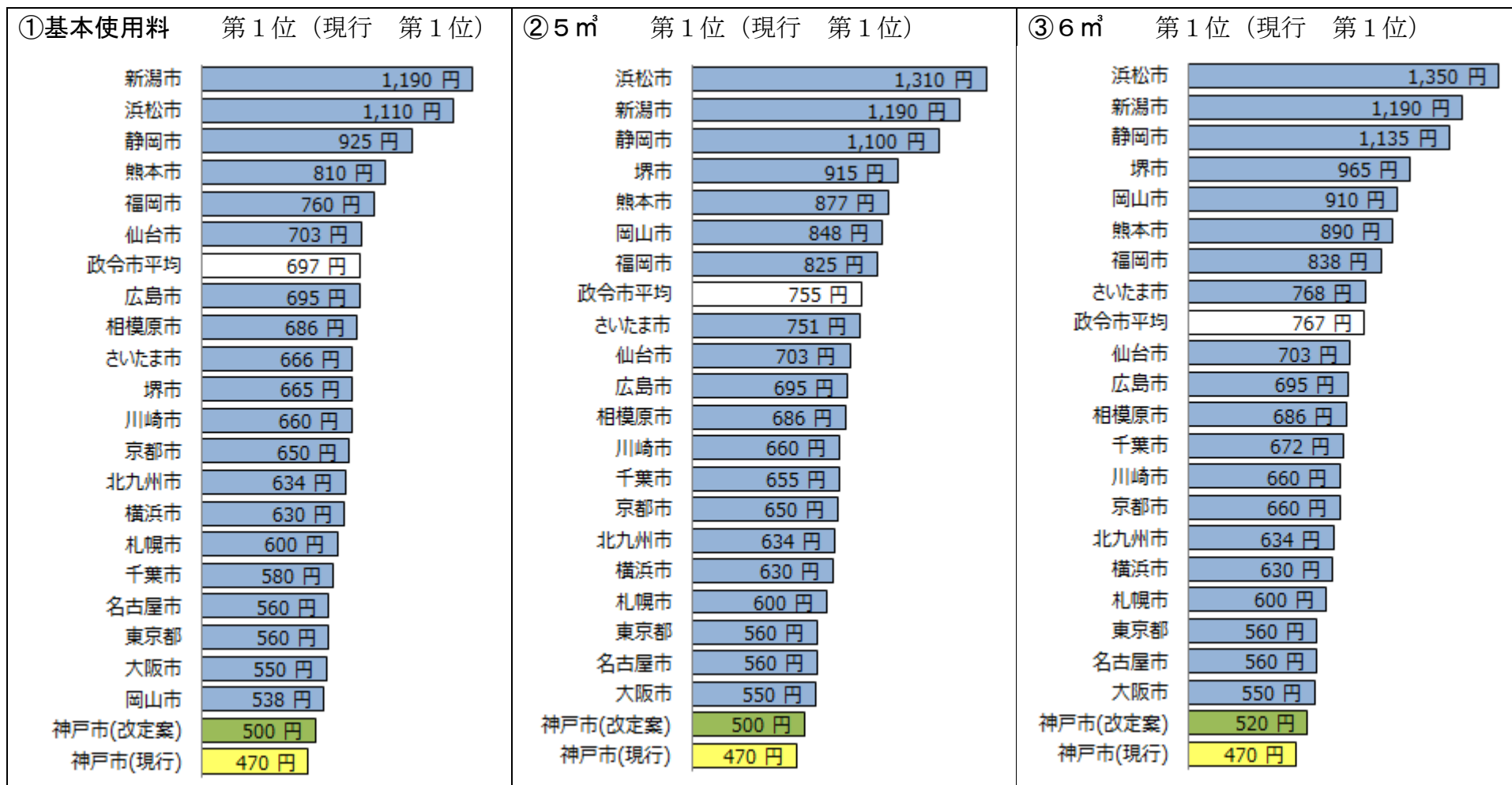
②その他

1) 使用料単価(税抜)〔1戸1月につき〕

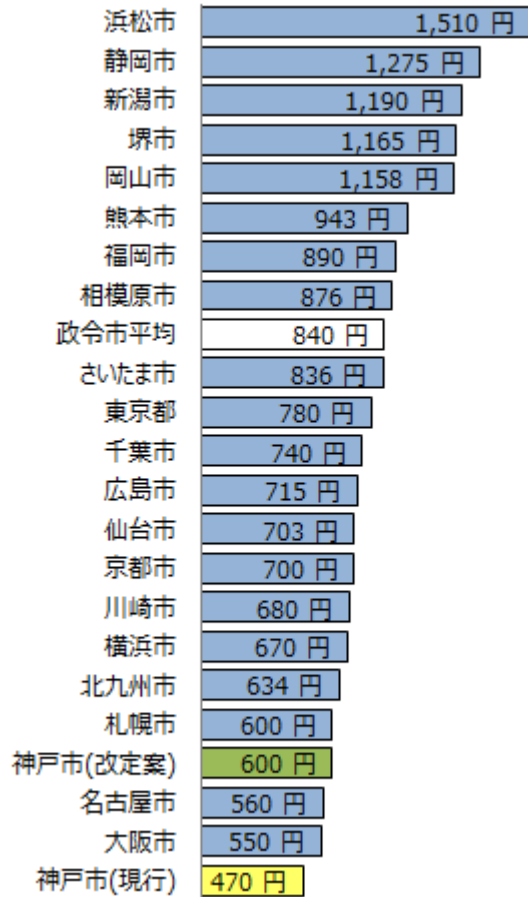
	現行		改定案(基本水量: 5 m ³)			D-5案(基本水量: 6 m ³)		
	区分	単価	区分	単価	増額分	区分	単価	増額分
浴場汚水	基本使用料 (10 m ³ 以下)	470 円	基本使用料 (5 m ³ 以下)	500 円	30 円	基本使用料 (6 m ³ 以下)	500 円	30 円
			6 m ³ ~10 m ³	×37 円/m ³	据え置き	7 m ³ ~10 m ³	×37 円/m ³	据え置き
	11 m ³ ~	11 m ³ ~	11 m ³ ~					
共用汚水	基本使用料 (10 m ³ 以下)	350 円	基本使用料 (5 m ³ 以下)	370 円	20 円	基本使用料 (6 m ³ 以下)	370 円	20 円
			6 m ³ ~10 m ³	×17 円/m ³	1 円	7 m ³ ~10 m ³	×17 円/m ³	1 円
	11 m ³ ~	11 m ³ ~	11 m ³ ~					

(7) 下水道使用料（改定案と現行）の政令指定都市との比較（平成31年3月1日現在）

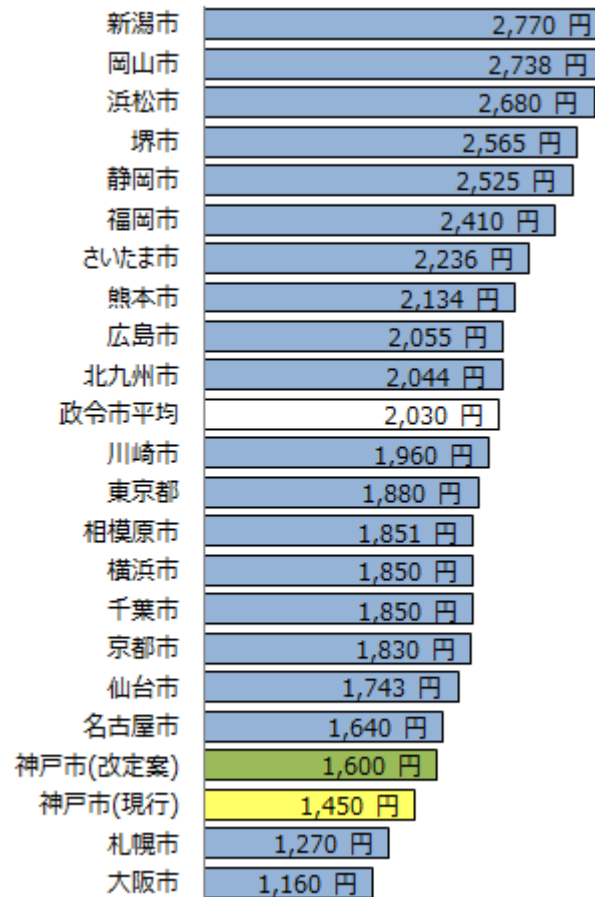
（税抜）



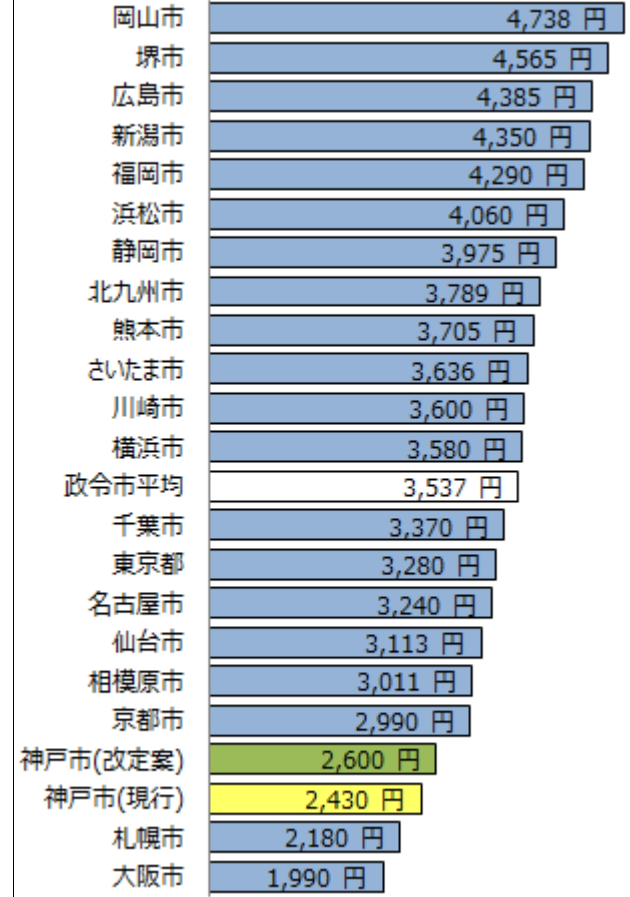
④10 m² 第3位 (現行 第1位)



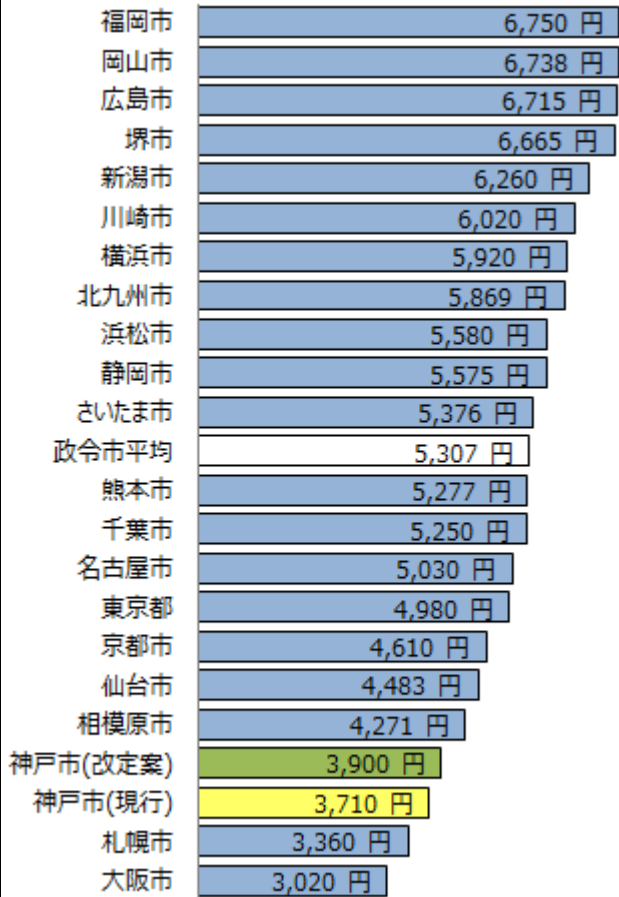
⑤20 m² 第3位 (現行 第3位)



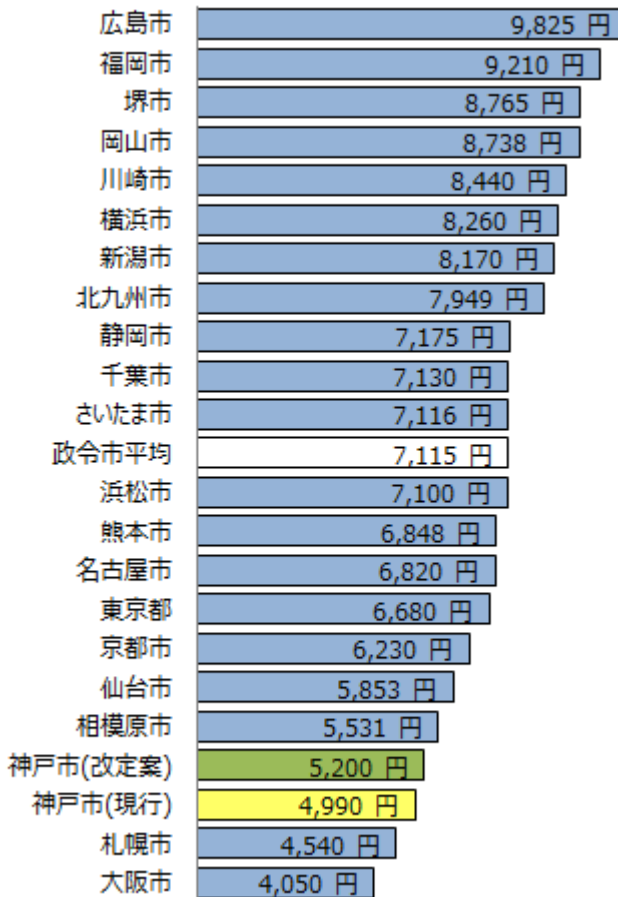
⑥30 m² 第3位 (現行 第3位)



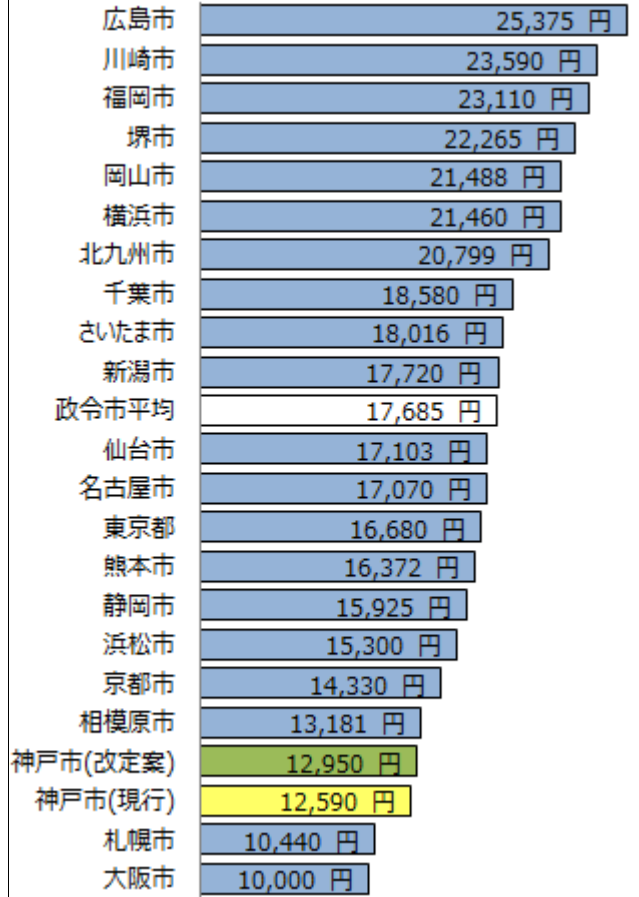
⑦40 m³ 第3位 (現行 第3位)

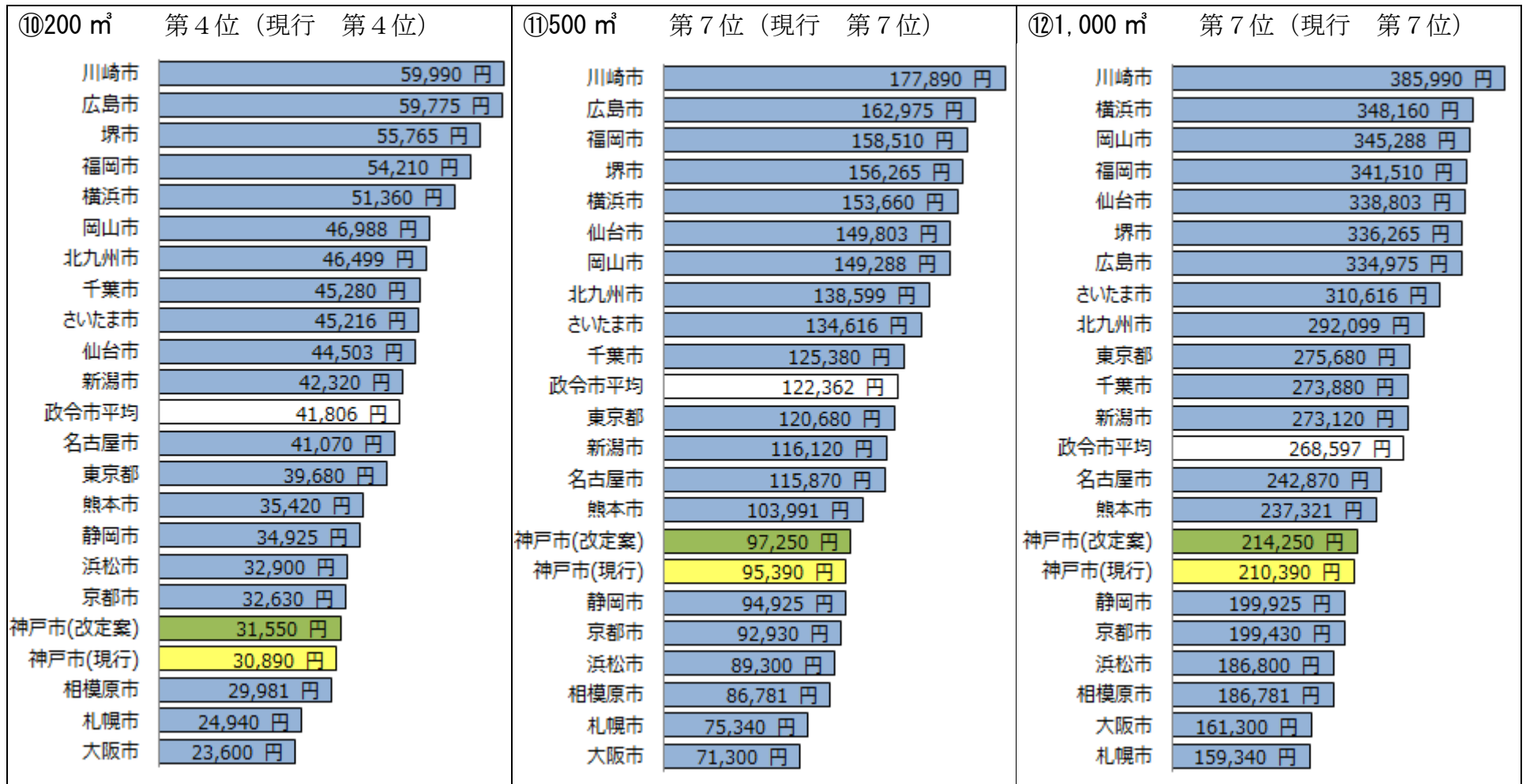


⑧50 m³ 第3位 (現行 第3位)

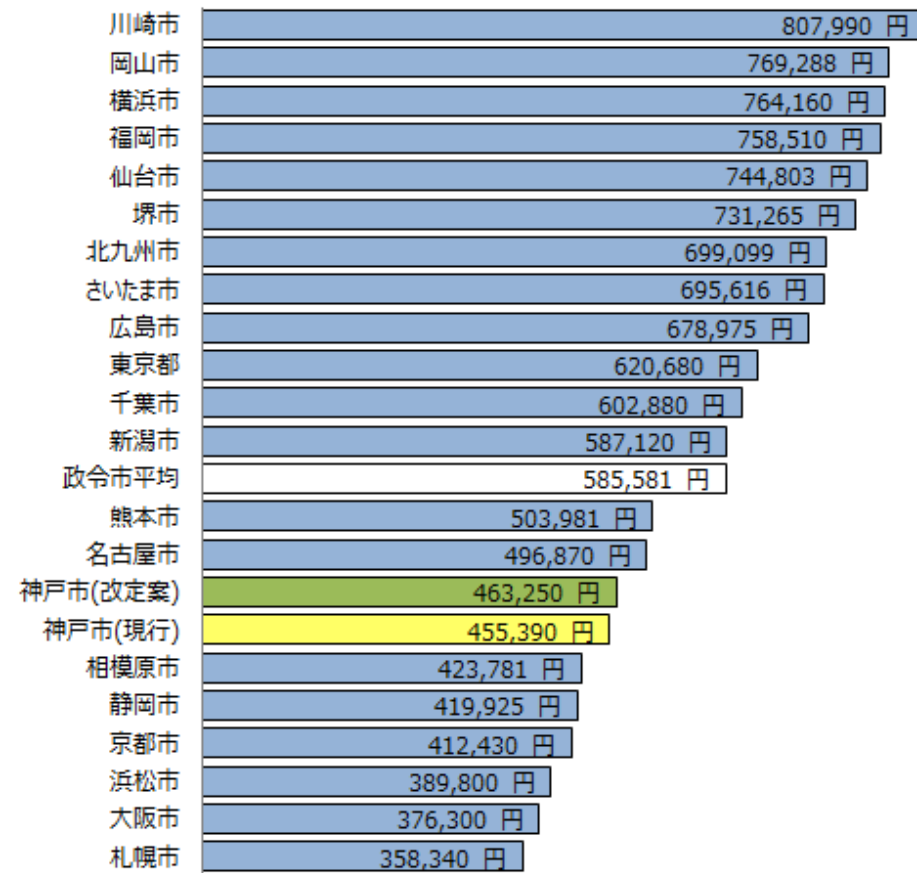


⑨100 m³ 第3位 (現行 第3位)

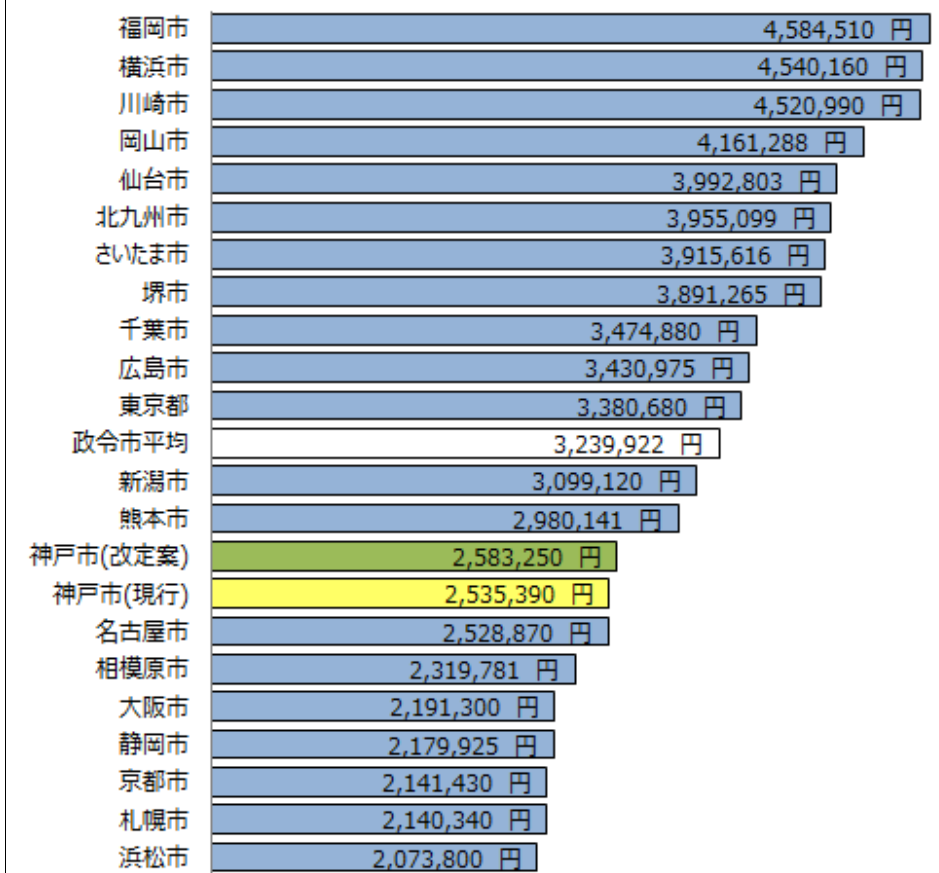




⑬2,000 m³ 第7位 (現行 第7位)



⑭10,000 m³ 第8位 (現行 第8位)



2 財政計画

(1) 経営状況の見通し（使用料改定を行わない場合）

①前提条件

- ・算定期間は平成 32 年度から平成 41 年度の 10 年間とする。
- ・維持管理費は毎年 85 億円程度を想定する。
- ・建設改良費は毎年 200 億円～220 億円程度で平準化する。
- ・企業債残高の増加をできるだけ抑制する。

②収益的収支の見通し

下水道使用料は減少傾向であり、平成31年度以降は、収益的収支における損失(赤字額)が継続して発生していく見込みである。それに伴い、資金残高が減少していき、平成40年度には資金不足に陥る見込みである。

(税抜、単位:億円)

		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	
収益的 収支	入	下水道使用料 ※1	184	183	181	180	179	177	176	175	173	172	171	170
		長期前受金戻入	100	99	99	98	99	100	93	90	90	86	82	80
		一般会計繰入金	44	42	42	42	42	42	43	45	46	45	45	44
		その他収益等	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
		特別利益 ※2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計(A)	340	329	327	325	325	324	317	315	314	307	303	299
	出	人件費	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
		物件費	59	59	58	58	59	59	59	59	59	59	59	59
		減価償却費等	222	222	221	223	229	227	222	220	223	213	206	201
		企業債支払利息等	25	25	23	21	19	18	16	15	15	14	13	12
		その他支出等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特別損失	0	1	1	1	1	10	3	2	1	1	1	1
		合計(B)	334	335	332	331	336	343	328	324	325	314	307	301
	収支差引(C) = (A) - (B)	6	△5	△4	△6	△11	△18	△11	△9	△11	△6	△3	△2	
累積損益	26	20	16	10	△0	△19	△30	△40	△51	△58	△62	△64		
資金残高	199	172	142	119	115	100	88	78	48	10	△48	△76		

※1 下水道使用料には、政策減免分による補てん分を含めている。

※2 特別利益は、震災後緊急避難的にカットされた一般会計補助金(総額153億円)であり、平成30年度に7億円の返還を受け、返還が完了する予定である。

(注) 各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、合計欄や収支差引欄が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

③資本的収支の見通し

国庫補助金をめぐる状況は大変厳しいが、現状の補助額を堅持できるよう努めていく。

また、老朽化施設の改築更新のための建設改良費が増加し、今後、資本的収支不足額も増加する見込みである。

(税込、単位：億円)

		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	
資本的 収支	入	企業債	148	95	92	119	84	95	93	91	82	104	129	92
		国庫補助金	58	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
		他会計繰入金他	6	5	5	4	3	2	2	2	2	2	2	2
		基金繰入金 ※1	20	9	22	0	0	28	0	0	0	0	0	0
		合計(X)	233	152	160	165	128	167	137	134	126	148	173	136
	出	建設改良費	285	208	203	244	190	207	204	200	188	234	259	203
		企業債等償還金	119	96	112	70	67	100	72	72	96	79	99	87
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計(Y)	404	304	315	315	258	307	276	273	284	314	359	291
	収支差引(Z) = (X) - (Y)		△170	△152	△155	△149	△129	△140	△139	△138	△157	△165	△185	△154

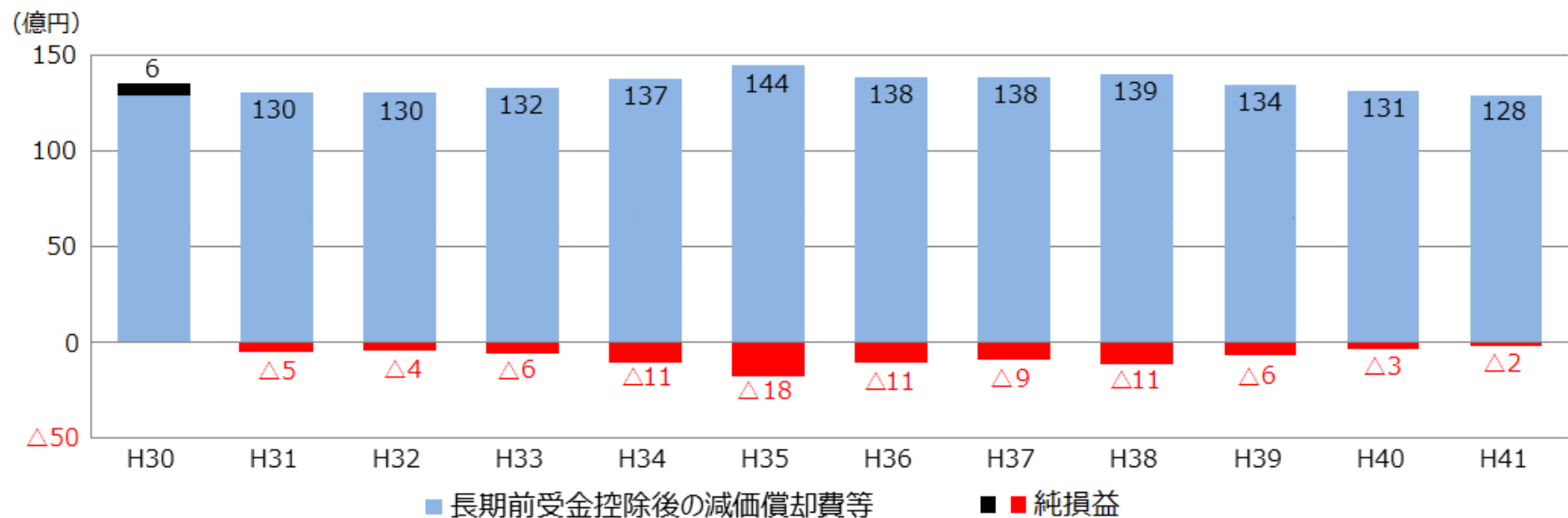
※1 企業債の満期一括償還の財源として「神戸市下水道事業基金」の積立基金部分を取り崩し、繰り入れている。

(注) 各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、合計欄や収支差引欄が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

(注) 30年度分には29年度からの繰越分を含んでいる。

④補てん財源の見通し

今後の減価償却費等(※1)はほぼ横ばい(改築更新事業による増加要因と償却完了による減少要因がほぼ同額)の見込みであり、補てん財源(※2)もほぼ横ばいで推移する見込みである。



(単位:億円)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度
長期前受金控除後の減価償却費等	129	130	130	132	137	144	138	138	139	134	131	128
純損益	6	△5	△4	△6	△11	△18	△11	△9	△11	△6	△3	△2
合計	135	124	125	126	126	125	126	128	128	127	127	126

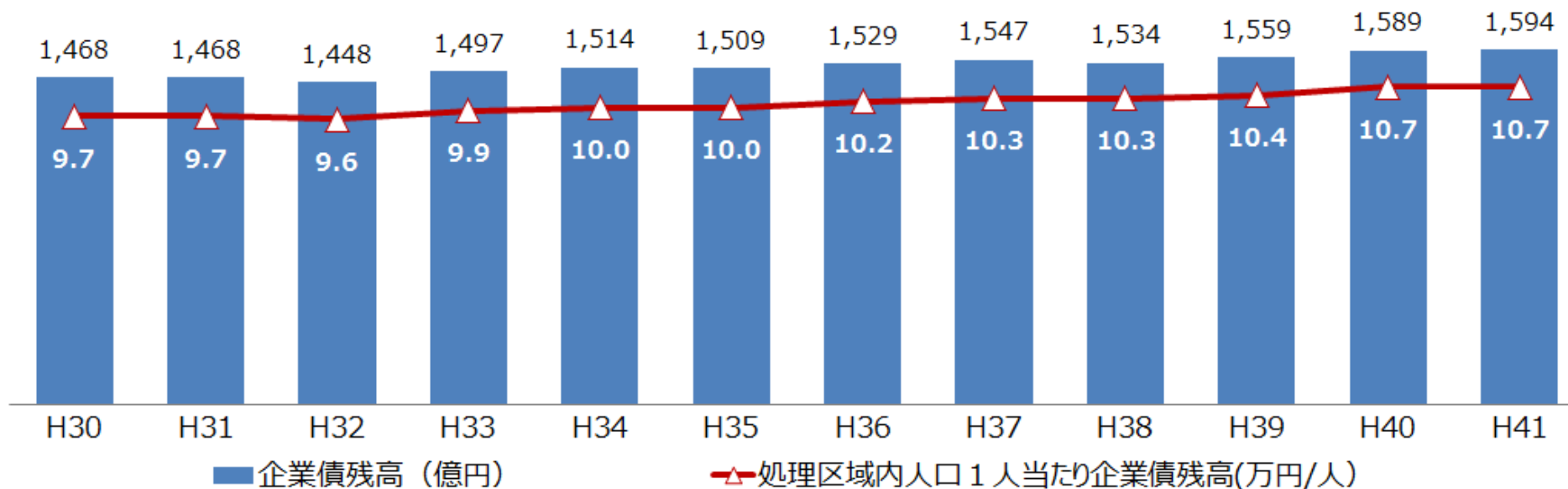
(注) 各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、合計欄が内訳項目の合計値と一致しない場合がある。

※1 減価償却費等は、長期前受金控除後の減価償却費・資産減耗費の数値。

※2 補てん財源とは、「資本的収支」における財源不足を補うために使用される財源のことを言い、損益勘定留保資金と当年度純利益等である。損益勘定留保資金とは、損益計算書の費用のうち減価償却費等の現金の支出を必要としない内部留保資金である。

⑤企業債残高の見通し

下水道事業に係る企業債残高は、平成 29 年度末では 1,439 億円となっている。
 また、処理区域内人口 1 人当たり企業債残高は平成 29 年末で 95,457 円となっている。



	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度	37 年度	38 年度	39 年度	40 年度	41 年度
企業債残高 (億円)	1,468	1,468	1,448	1,497	1,514	1,509	1,529	1,547	1,534	1,559	1,589	1,594
処理区域内人口 (千人)	1,507	1,506	1,505	1,502	1,500	1,497	1,494	1,492	1,489	1,487	1,485	1,483
処理区域内人口 1 人当たり 企業債残高 (円/人)	97,466	97,490	96,249	99,692	100,976	100,823	102,381	103,782	103,030	104,860	107,051	107,557

(2) 財政計画（使用料改定を行う場合）

①前提条件

- ・算定期間は平成 32 年度から平成 41 年度の 10 年間とする。
- ・維持管理費は毎年 85 億円程度を想定する。
- ・建設改良費は毎年 200 億円～220 億円程度で平準化する。
- ・企業債残高の増加をできるだけ抑制する。

○単年度収支の均衡を図る。

○経費回収率は総務省が求める 100%以上を目指す。

○資金残高は、年度途中で運転資金がショートしないよう算出する。

※○は安定的・継続的な下水道事業の経営基盤の確立を図るため、新たに追加した条件。

②財政計画（収益的収支）

平成 32 年度から平成 40 年度までを計画期間とし、収益的収支で不足（赤字）を発生せず、かつ、資金不足が生じないようにするためには、年間 12 億円程度の使用料の増収を図る必要がある。

（税抜、単位：億円）

		30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度	37 年度	38 年度	39 年度	40 年度	41 年度	
収益的 収支	収 入	下水道使用料 ※1	184	183	181	180	179	177	176	175	173	172	171	170
		下水道使用料の増収額	0	0	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		長期前受金戻入	100	99	99	98	99	100	93	90	90	86	82	80
		一般会計繰入金 （うち雨水処理補助金）	44 (38)	42 (36)	42 (36)	42 (37)	42 (37)	42 (37)	43 (38)	45 (40)	46 (41)	45 (40)	45 (40)	44 (40)
		その他収益等	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
		特別利益 ※2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計(A)	340	329	337	337	337	336	329	327	326	319	315	311	
	支 出	人件費	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
		物件費	59	59	58	58	59	59	59	59	59	59	59	59
		減価償却費等	222	222	221	223	229	227	222	220	223	213	206	201
		企業債支払利息等	25	25	23	21	19	18	16	15	15	14	13	12
		その他支出等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特別損失	0	1	1	1	1	10	3	2	1	1	1	1
	合計(B)	334	335	332	331	336	343	328	324	325	314	307	301	
収支差引 (A)－(B)	6	△5	5	5	0	△6	0	2	0	5	8	9		
累積損益 ※3	26	20	26	20	20	14	15	17	18	23	20	29		
資金残高	199	172	152	141	149	146	146	148	130	104	57	41		

※1 下水道使用料には、政策減免分による補てん分を含めている。

※2 特別利益は、震災後緊急避難的にカットされた一般会計補助金（総額 153 億円）であり、平成 30 年度に 7 億円の返還を受け、返還が完了する予定である。

※3 平成 33 年度末、平成 40 年度末には累積損益が 20 億円となるように処分を行う予定である。

（注）各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、合計欄や収支差引欄が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

（注）初年度の平成 32 年度は、2 月ごとのメーター検針により使用水量を決定する際の経過措置を考慮し、10 億円の増収としている。

③経費回収率の見通し

平成 29 年度の経費回収率は 98.57%であり、政令指定都市の中で経費回収率 100%を達成できていない 4 都市の 1 つとなっている。
下水道使用料の改定を行う場合は、経費回収率が 10 年間平均で 100.3%となり、総務省が求める 100%を達成する見通しである。

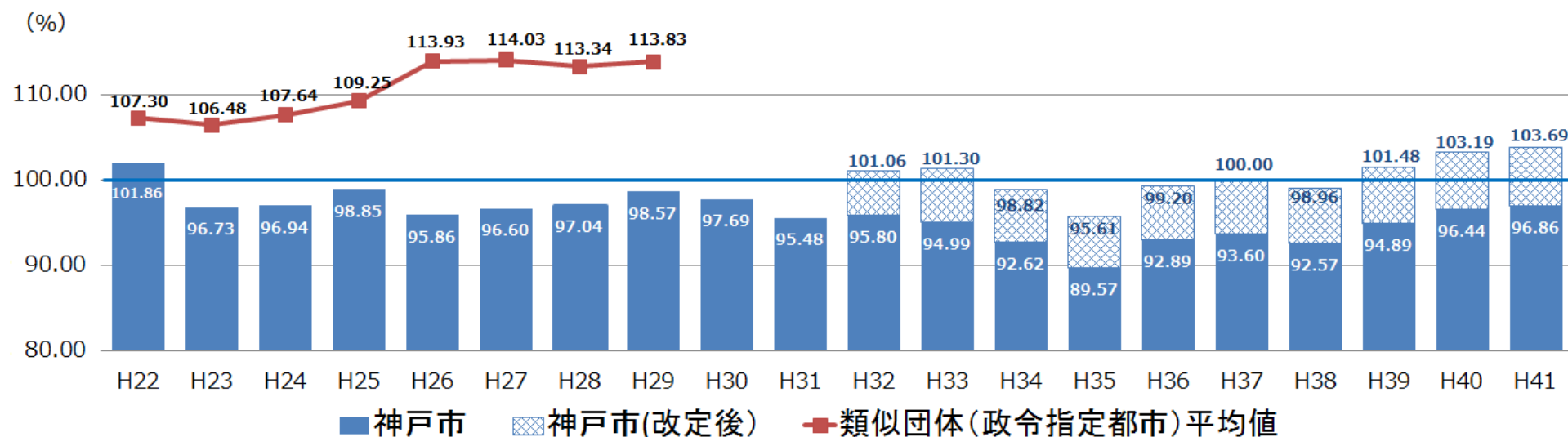
(税抜、単位:億円)

	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度	37 年度	38 年度	39 年度	40 年度	41 年度
下水道使用料 A	184	183	181	180	179	177	176	175	173	172	171	170
下水道使用料の増収額 B	—	—	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12
汚水処理経費※1 C	189	192	189	190	193	198	190	187	187	182	177	175
A + B - C	△4	△8	2	2	△2	△8	△1	0	△1	2	5	6
経費回収率 (A+B)/C	97.69%	95.48%	101.06%	101.30%	98.82%	95.61%	99.20%	100.00%	98.96%	101.48%	103.19%	103.69%

財政計画期間(10 年間)における平均経費回収率:100.33%

※1 汚水処理費は、収益的支出から付帯事業費・長期前受金戻入・一般会計繰入金を除いたものである。

(注) 各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、表中の計算結果が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。



〔参考〕積算根拠

収益的収入	ア 下水道使用料	下水道使用料は、有収水量の微減(過去10年間の平均:年△0.6%)を想定して計算している。 なお、下水道使用料には、政策減免分として一般会計負担金を含めている。
	イ 長期前受金戻入	減価償却費及び資産減耗費を基準として所要額を計上した。 ※長期前受金戻入:補助金等により取得した固定資産を減価償却する際、当該減価償却費に当該固定資産の帳簿価格に占める長期前受金の割合を乗じて得た額を収益化するもの。(地方公営企業法施行規則第21条第2項又は第3項の規定に基づく)
	ウ 一般会計繰入金	総務省の定める地方公営企業繰出基準等に基づき、雨水処理経費、水質規制経費、水洗普及経費等に対しての繰入金を計上した。
	エ その他収益	土地等資源の有効活用や再生可能エネルギーの有効活用等によって見込まれる収益を計上した。
	オ 特別利益	震災後、平成8年～10年の3年間にわたり、資金面に影響のない範囲で(汚水の減価償却費、資産減耗費)、緊急避難的にカットされた一般会計補助金について平成30年度までを目処に順次返還を受けているもの。
収益的支出	ア 人件費	「下水処理場ネットワーク」の運用開始に伴う中部処理場廃止、維持管理業務等の包括的委託の推進、職員定数削減など組織のスリム化を進めた結果、人件費削減の余地はほとんどなく、現状の据え置きで計上した。
	イ 物件費	処理場費、ポンプ場費、管きよ費等であり、電気代、修繕費が中心となっている。維持管理費の見通しに基づき所要額を計上した。
	ウ 減価償却費等	減価償却費、資産減耗費で、現金支出の伴わない経費である。投資計画等から所要額を計上した。内部留保資金となり資本的収支財源不足額の補填財源として使用する。
	エ 企業債支払利息等	実勢金利を勘案し、借入予定利率を平成31～41年度を0.2%として計上した。
	オ 特別損失	施設の撤去、除却の計画等に基づき所要額を計上した。

④財政計画（資本的収支） ※再掲

国庫補助金をめぐる状況は大変厳しいが、現状の補助額を堅持できるよう努めていく。

また、老朽化施設の改築更新のための建設改良費が増加し、今後、資本的収支不足額も増加する見込みである。

（税込、単位：億円）

		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	
資本的収支	入	企業債	148	95	92	119	84	95	93	91	82	104	129	92
		国庫補助金	58	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
		他会計繰入金他	6	5	5	4	3	2	2	2	2	2	2	2
		基金繰入金 ※1	20	9	22	0	0	28	0	0	0	0	0	0
		合計(X)	233	152	160	165	128	167	137	134	126	148	173	136
	出	建設改良費	285	208	203	244	190	207	204	200	188	234	259	203
		企業債等償還金	119	96	112	70	67	100	72	72	96	79	99	87
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計(Y)	404	304	315	315	258	307	276	273	284	314	359	291
	収支差引(Z) = (X) - (Y)		△170	△152	△155	△149	△129	△140	△139	△138	△157	△165	△185	△154

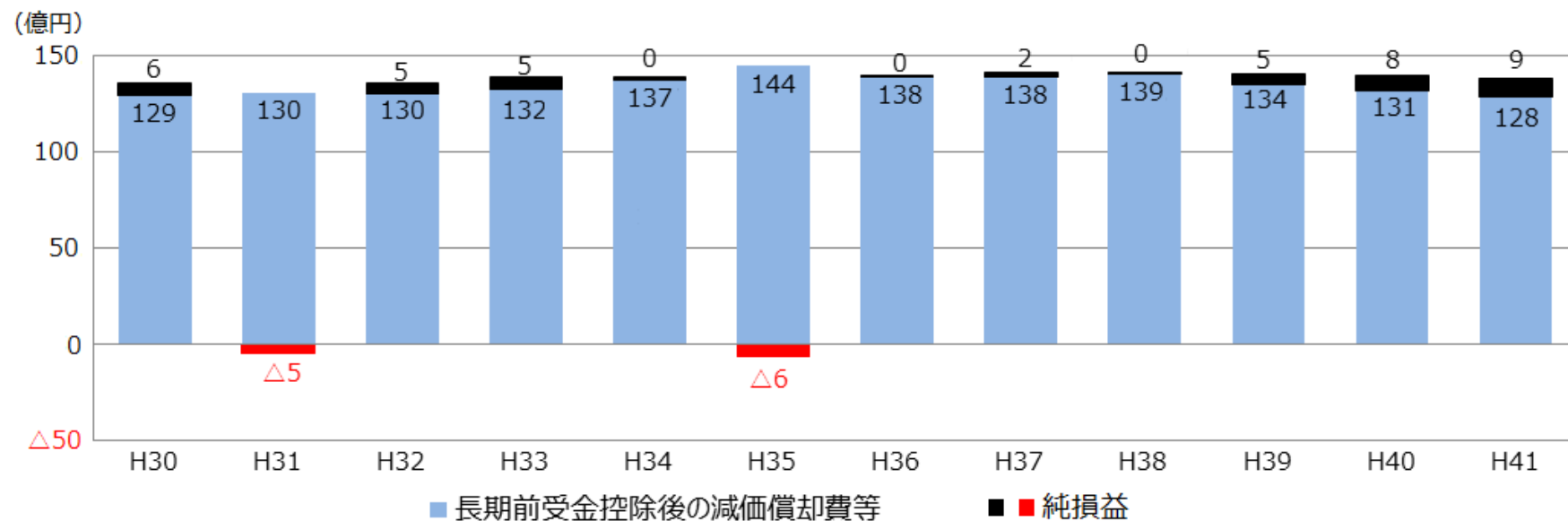
※1 企業債の満期一括償還の財源として「神戸市下水道事業基金」の積立基金部分を取り崩し、繰り入れている。

(注) 各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、合計欄や収支差引欄が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

(注) 30年度分には29年度からの繰越分を含んでいる。

⑤補てん財源の見通し

今後の減価償却費等(※1)はほぼ横ばい(改築更新事業による増加要因と償却完了による減少要因がほぼ同額)の見込みであり、補てん財源(※2)もほぼ横ばいで推移する見込みである。



(単位:億円)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度
長期前受金控除後の減価償却費等	129	130	130	132	137	144	138	138	139	134	131	128
純損益	6	△5	5	5	0	△6	0	2	0	5	8	9
合計	135	124	135	138	138	137	138	140	140	139	139	138

(注) 各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、合計欄が内訳項目の合計値と一致しない場合がある。

※1 減価償却費等は、長期前受金控除後の減価償却費・資産減耗費の数値。

※2 補てん財源とは、「資本的収支」における財源不足を補うために使用される財源のことを言い、損益勘定留保資金と当年度純利益等である。損益勘定留保資金とは、損益計算書の費用のうち減価償却費等の現金の支出を必要としない内部留保資金である。

資料編

1 現行の下水道使用料

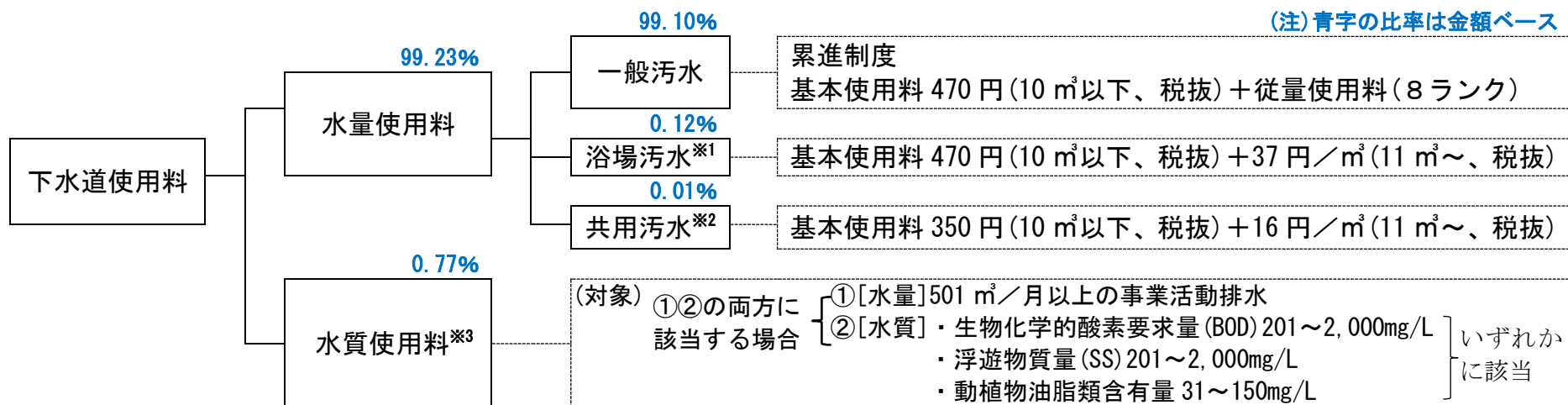
(1) 公費と私費の負担区分

下水道事業は、地方公営企業として、適正な経費負担区分を前提とした**独立採算制**による経営が義務付けられている。

下水道事業の管理運営に係る費用負担については、基本的には、「雨水に係るものは公費」で、「汚水に係るものは私費（使用料）」で負担するものとされている（**雨水公費・汚水私費の原則**）。

ただし、下水道の公共的役割に鑑み、汚水に係る費用のうち一定のもの（高度処理経費など）が公費負担となる（繰出基準等）。

(2) 神戸市の下水道使用料体系



※1 浴場汚水とは、「公衆浴場法(公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律)」で規定され、かつ物価統制令(昭和 21 年勅令第 118 号)第 4 条の規定に基づき、兵庫県知事が指定する入浴料金の統制額の適用を受ける一般公衆浴場の用に供した汚水のことである。

※2 共用汚水とは、一般住宅において 1 個の水道メーターにより 2 以上の専用又は共用給水装置に給水するものをいう(神戸市水道条例第 4 条第 2 号及び第 3 号、第 12 条第 3 項及び第 4 項、水道条例施行規程第 6 条第 4 号)。

※3 水質使用料とは、排水の量的な側面のみならず質的側面にも着目し、一定基準を超える高濃度汚水を排出する事業者に、負担の公平及び高濃度汚水の抑制を図る観点から、当該汚水を処理するための費用を賦課する制度である。

(3) 下水道使用料の計算方法

下水道使用料は、2ヶ月の使用水量により計算する(水量使用料)。

水質使用料は、月間使用水量が500 m³を超え、水質が一定の基準を超える工場・事業所に適用し、水量使用料に加算する。

1) 下水道使用料(水量使用料) ※税別

1ヶ月		2ヶ月	
使用水量ランク	使用料	使用水量ランク	使用料
10 m ³ 以下	(基本額)470 円	20 m ³ 以下	(基本額)940 円
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	21 m ³ ~60 m ³	×98 円/m ³
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	61 m ³ ~100 m ³	×128 円/m ³
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×152 円/m ³
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	201 m ³ ~400 m ³	×183 円/m ³
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	401 m ³ ~1,000 m ³	×215 円/m ³
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×230 円/m ³
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	2,001 m ³ ~4,000 m ³	×245 円/m ³
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	4,001 m ³ ~	×260 円/m ³

◎2 か月で50 m³利用の場合の計算例

20 m³分…………… 940 円

20 m³から50 m³までの30 m³分…………… 98 円/m³×30 m³=2,940 円

3,880 円

∴940 円+2,940 円=3,880 円 (消費税別)

2) 水質使用料 ※税別

水質濃度(F)※1	水質使用料
1~100	9 円/m ³
101~300	35 円/m ³
301~500	70 円/m ³
501~800	110 円/m ³
801~1,100	165 円/m ³
1,101~1,500	225 円/m ³
1,501~2,000	300 円/m ³
2,001~2,500	390 円/m ³
2,501~	510 円/m ³

※1 水質濃度(F) = A + 1.1 × B + 2 × C (小数点以下は四捨五入)

A. BOD が 201mg/L 以上の場合、その値から 200 を引いた値

B. SS が 201mg/L 以上の場合、その値から 200 を引いた値

C. 動植物油脂類含有量が 31mg/L 以上の場合、その値から 30 を引いた値

<下水道使用料(1 か月あたり・税別)>

10 m³: **470 円** (基本使用料 470 円のみ)

20 m³: **1,450 円** (基本使用料 470 円 + 従量使用料 98 円 × 10 m³)

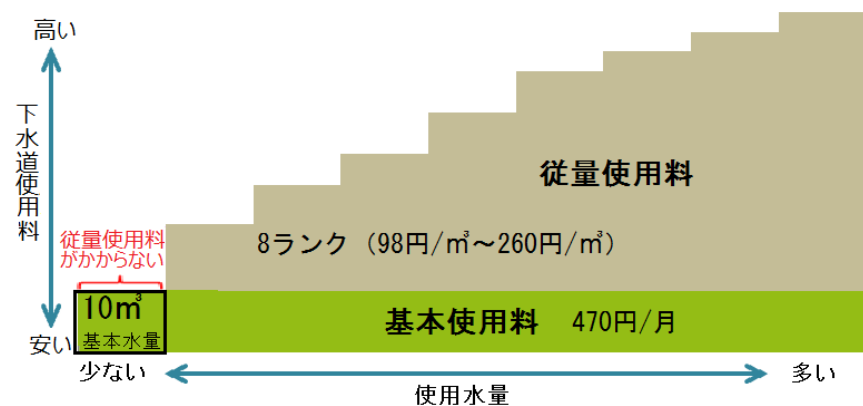
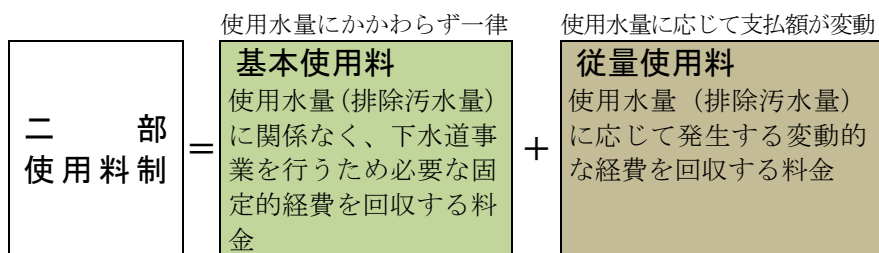
30 m³: **2,430 円** (基本使用料 470 円 + 従量使用料 98 円 × 20 m³)

40 m³: **3,710 円** (基本使用料 470 円 + 従量使用料 98 円 × 20 m³ + 128 円 × 10 m³)

(4) 二部使用料制

神戸市の下水道使用料（一般汚水の水量使用料）は、**基本使用料**と**従量使用料**を組み合わせた**二部使用料制**を採用しており、**基本水量** 10 m³/月までを**基本使用料**として徴収している。

「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年度版）〔公益社団法人日本下水道協会〕」では、“経営の安定性を確保するため、従量使用料に基本使用料を併置する方法が有効であり、現実にも多くの地方公共団体に採用されている”とされている。



○政令指定都市と近隣市における基本水量と基本使用料（税抜）

(H31.3.1 現在)

No.	都市名	基本水量	基本使用料 (円)	順位	1 m ³ 使用料 (円)
1	神戸市	10	470	1	47.00
2	札幌市	10	600	7	60.00
3	仙台市	10	703	16	70.30
4	さいたま市	0	666	13	83.60
5	千葉市	0	580	6	74.00
6	東京都	8	560	4	70.00
7	川崎市	8	660	11	82.50
8	横浜市	8	630	8	78.75
9	相模原市	8	686	14	85.75
10	新潟市	10	1,190	21	119.00
11	静岡市	0	925	19	127.50
12	浜松市	0	1,110	20	151.00
13	名古屋市	10	560	4	56.00
14	京都市	5	650	10	130.00
15	大阪市	10	550	3	55.00
16	堺市	0	665	12	116.50
17	岡山市	0	538	2	115.80
18	広島市	6	695	15	115.80
19	北九州市	10	634	9	63.40
20	福岡市	0	760	17	89.00
21	熊本市	0	810	18	100.80

(注)1 m³の使用料については、基本水量が無い都市については、10 m³の使用料を計算し、10で除して算出した。
(注)熊本市のみ税込の料金表しか公表していないため、比較のため税抜に換算した。

(5) 基本使用料と基本水量の設定

基本水量とは、基本使用料のみで使用できる水量のことである。

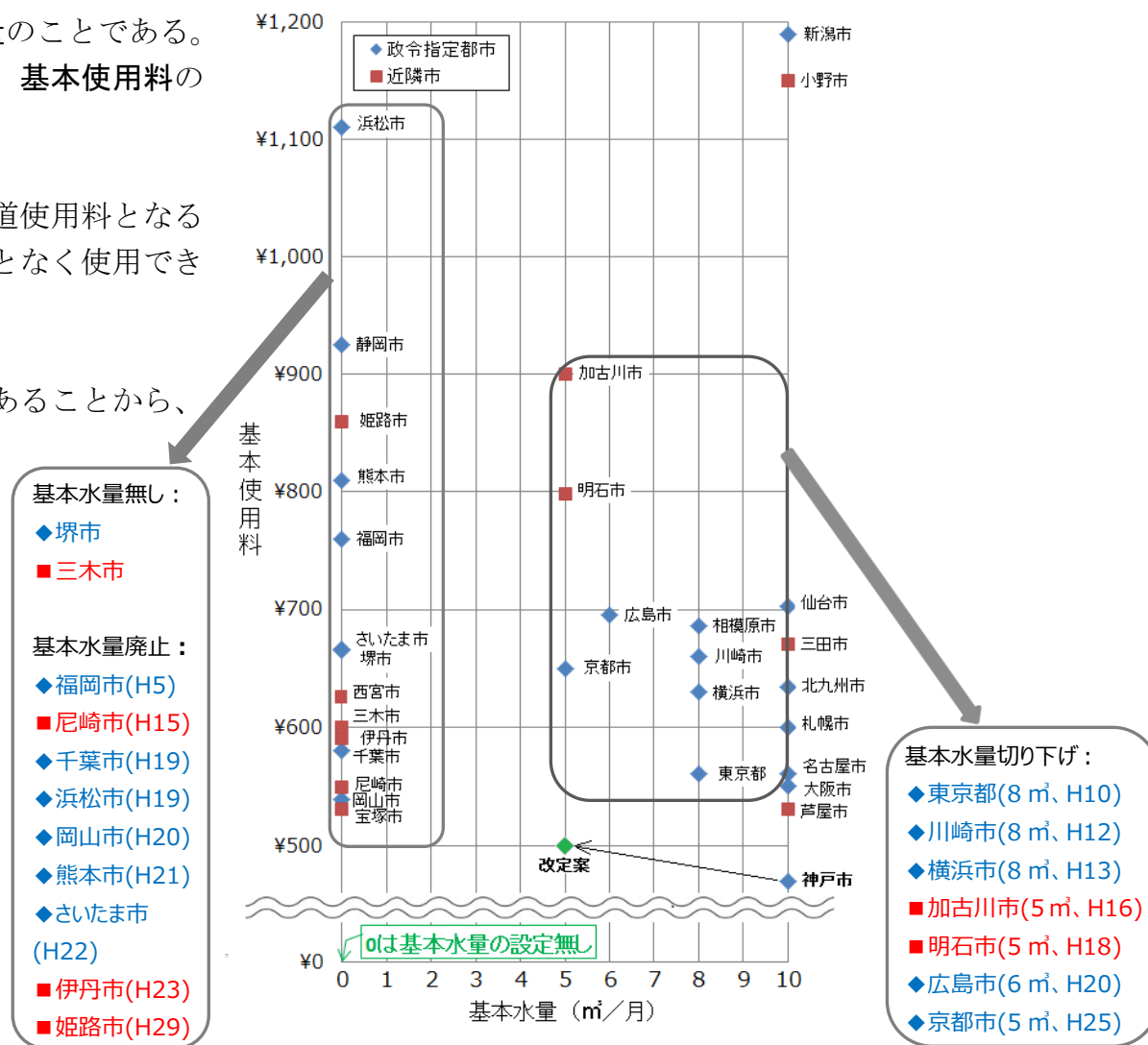
使用した水量が基本水量の範囲内である場合は、基本使用料のみの負担となり、従量使用料はかからない。

神戸市では、基本水量を 10 m³までとしている。

1 m³使用の場合も、10 m³使用の場合も同じ下水道使用料となるため、基本水量の範囲内では、水量を気にすることなく使用できるが、節水努力が使用料に反映されにくい。

近年は、1世帯あたりの使用水量が減少傾向にあることから、全国的に基本水量を見直す都市が増えている。

○基本使用料(税抜)と基本水量の設定状況 (H31.3.1 現在)



①基本使用料の意義

基本使用料とは、使用水量の有無に係わりなく賦課し、費用の大半は固定費に充てるものである。

基本使用料を低く設定した場合、少量使用者の負担は少なくなるが、基本使用料による収入が減少するため、使用水量の多少に収入が左右されやすくなる。

②使用料対象経費（污水处理費）の分解と費用配分

「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年度版）〔公益社団法人日本下水道協会〕」では、“使用料対象経費のうち基本使用料として賦課するものは、基本的に需要家費及び固定費とするのが妥当であるが、施設型事業である下水道事業の特性により、使用料対象経費に占める固定費の割合が極めて大きいことから、固定費についてはその一部を**基本使用料**として賦課し、他は**従量使用料**として賦課することとするのが妥当である”とされている。

神戸市の平成 29 年度の使用料対象経費を配分すると以下のとおりである。

総括原価 100%	需要家費	5.6%	基本使用料	22.8%	
	固定費	82.9%		従量使用料	76.3%
	変動費	11.5%		その他*	0.9%

※水質使用料と浴場汚水、共用汚水の下水道使用料である。

需要家費	使用水量の多少に係わりなく、使用者数に対応して増減する経費（使用料徴収関係経費）
固定費	使用水量や使用者数の多少に係わりなく、下水道施設の規模に応じて固定的に必要とされる経費（資本費、人件費等）
変動費	使用水量や使用者数の多少に応じて変動する経費（動力費の大部分、薬品費等）

(6) 従量使用料の設定

①基本使用料、従量使用料のメリット、デメリット

	メリット	デメリット
基本使用料の割合を高める	・使用料収入の安定性が向上し、経営が安定的に行いやすくなる。	・相対的に少量使用者の負担が大きい。
従量使用料の割合を高める	・かつては大口使用者の使用水量の抑制を図ることができた。	・相対的に大口使用者の負担が大きい。 ・使用水量の増減が経営に与える影響が大きい。

②従量使用料の水量区分

現行の下水道使用料体系では、従量使用料の水量区分は8区分となっている。

現行体系

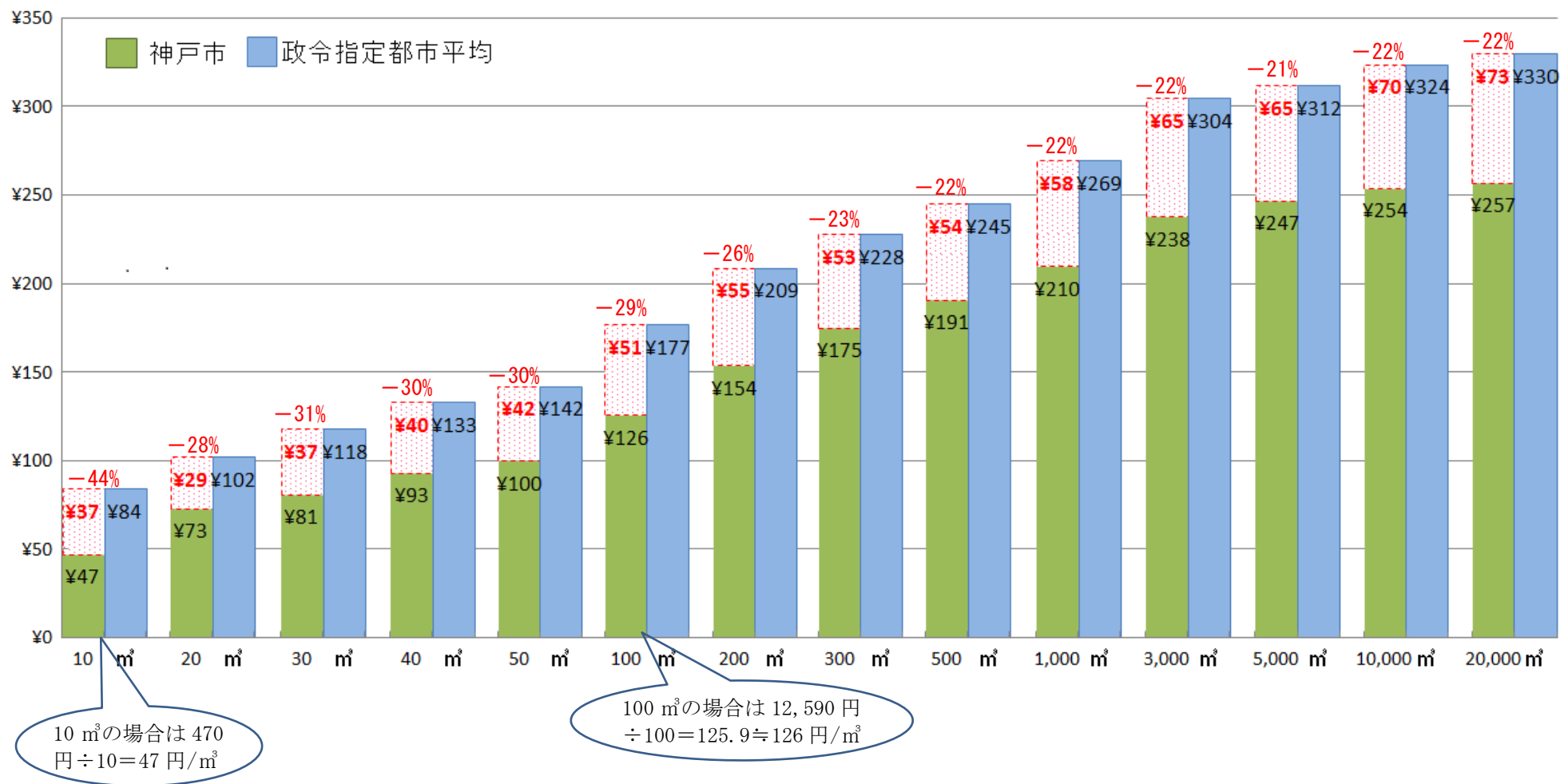
1ヶ月		使用料区分
使用水量ランク	使用料(税抜)	
10 m ³ 以下	(基本額) 470 円	基本使用料 ←基本水量の見直しを行う場合は、それに伴う水量区分を新設する。
11 m ³ ～30 m ³	×98 円/m ³	従量使用料
31 m ³ ～50 m ³	×128 円/m ³	
51 m ³ ～100 m ³	×152 円/m ³	
101 m ³ ～200 m ³	×183 円/m ³	
201 m ³ ～500 m ³	×215 円/m ³	
501 m ³ ～1,000 m ³	×230 円/m ³	
1001 m ³ ～2,000 m ³	×245 円/m ³	
2001 m ³ ～	×260 円/m ³	

(7) 使用水量 1 m³当たりの下水道使用料の政令指定都市平均との比較（平成 31 年 3 月 1 日現在、1 戸 1 月につき、税抜）

使用水量 1 m³当たりの下水道使用料を、政令指定都市平均と比較した。

現行の使用料は、どの使用水量で比較しても政令指定都市平均より安くなっている。

特に 10 m³の使用料が政令指定都市平均と比較して安くなっている。



(8) ランク別の水栓数・使用水量・使用料

使用者数 使用水量	平成 29 年度					
	水栓数		使用水量 (m ³)		使用料(円)(税込)	
0 m ³ ~10 m ³ (基本使用料のみ)	1,899,782	40.88%	19,709,126	11.34%	1,908,844,113	9.68%
11 m ³ ~30 m ³	2,372,629	51.05%	87,204,522	50.18%	6,613,592,962	33.54%
31 m ³ ~50 m ³	305,523	6.57%	22,066,074	12.70%	2,116,477,374	10.73%
51 m ³ ~100 m ³	37,734	0.81%	4,905,691	2.82%	583,323,603	2.96%
101 m ³ ~200 m ³	13,653	0.29%	3,836,405	2.21%	575,272,379	2.92%
201 m ³ ~500 m ³	10,113	0.22%	6,315,551	3.63%	1,160,941,338	5.89%
501 m ³ ~1,000 m ³	4,220	0.09%	5,906,922	3.40%	1,220,889,656	6.19%
1,001 m ³ ~2,000 m ³	2,145	0.05%	5,865,943	3.38%	1,309,292,137	6.64%
2,001 m ³ ~	1,719	0.04%	17,979,585	10.35%	4,227,678,944	21.44%
合 計	4,647,518	100.00%	173,789,819	100.00%	19,716,312,506	100.00%

(注) 調定データにより作成しており、実際の下水道使用料の収入額とは一致しない。

※調定:歳入を徴収しようとする場合において、内容を調査し収入金額を決定する行為で、徴収に関する内部的意思決定の行為をいう(地方自治法第 231 条)。

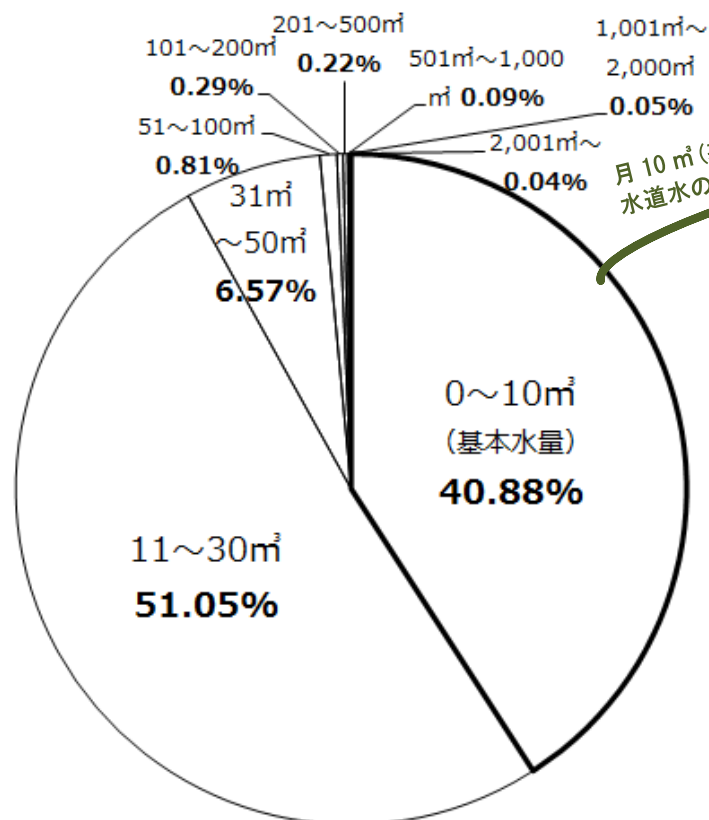
下水道使用料・水道料金の調定とは、検針して使用水量と水道料金・下水道使用料を確定し、収入する額を決定する行為をいう。

(9) 使用水量の分布

平成 29 年度では、全体の約 41%が基本水量（月 10 m³）以下で、基本水量内の平均使用水量は月 5.18 m³であった。

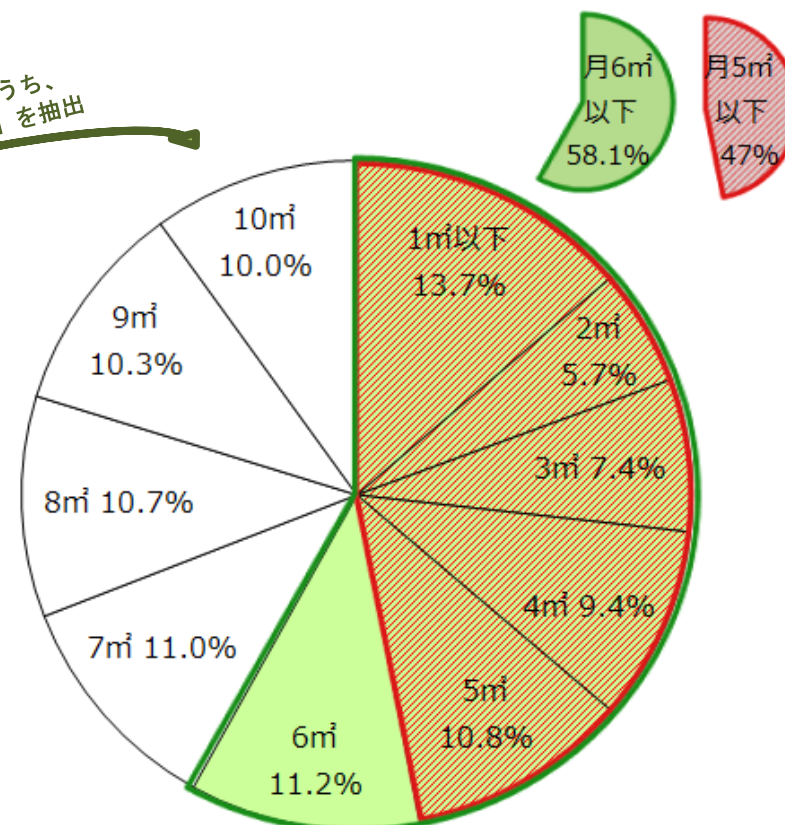
水道水を使用し、その用途が「一般・家事用」の利用者を一般家庭とみなすと、基本水量内の使用水量の分布は右下の円グラフのとおり、月 5 m³以下が 47.0%、月 6 m³以下が 58.1%であった。

全使用者の 1 か月当たりの平均使用水量分布



基本水量内の一般家庭の 1 か月当たりの平均使用水量分布

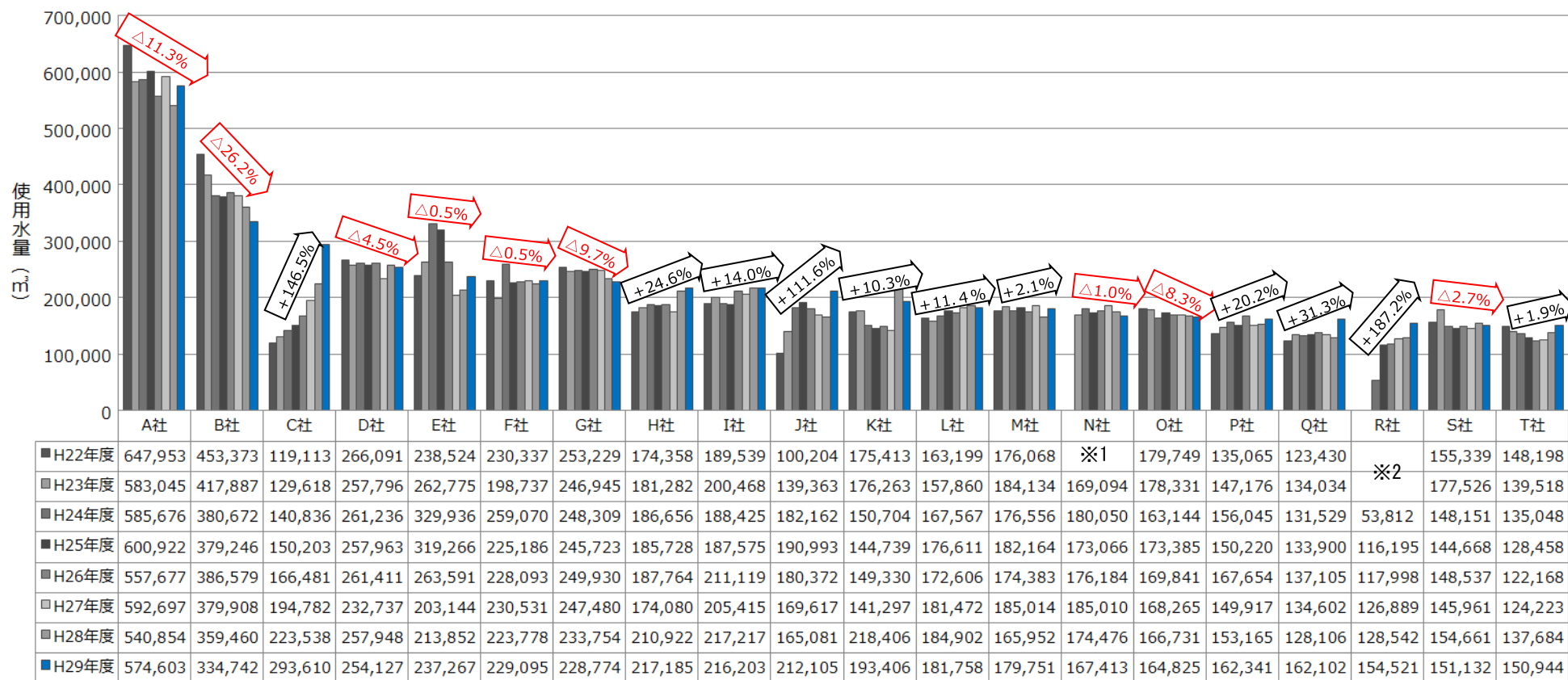
月 10 m³ (基本水量) 以下の利用者のうち、水道水の用途「一般・家事用」を抽出



(10) 大口使用者の年度別使用水量の推移

平成 29 年度の下水道使用料 189 億円(税抜)のうち、上位 10 事業者の総額が 7.7 億円(税抜)、上位 100 事業者の総額が 29.7 億円(税抜)である。数社の節水・縮小が億円単位の減収要因となり、下水道事業経営に大きな影響を及ぼす可能性がある。

(平成 29 年度 上位 20 事業者、水栓単位)



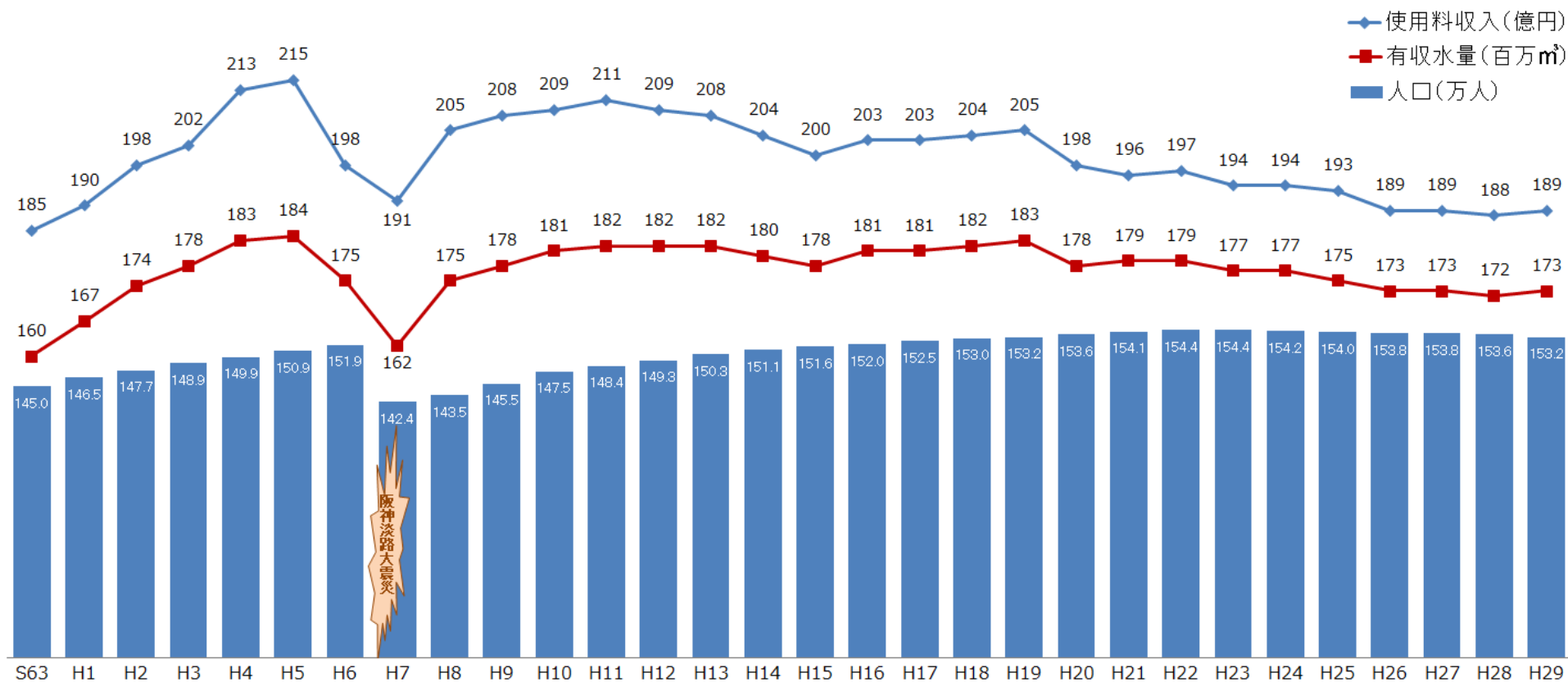
※1 N社は、平成 23 年 3 月開業のため、平成 22 年度のデータは無い。

※2 R社は、平成 24 年 7 月開業のため、平成 22 年度・23 年度のデータは無い。

(11) 神戸市の人口、使用料収入、有収水量の推移

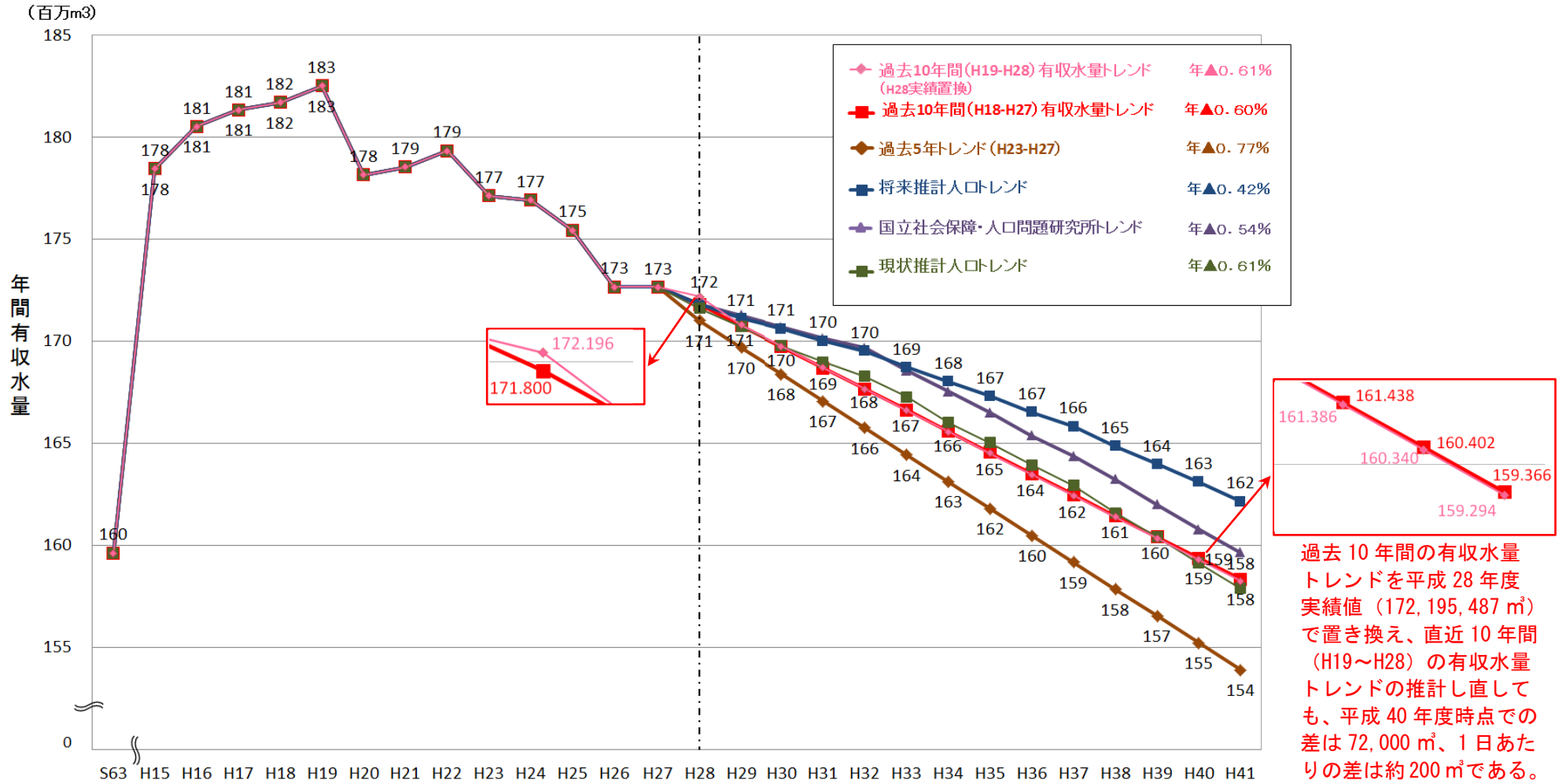
平成 23 年 11 月をピークに人口は減少している。

下水道事業の収入の基礎となる年間有収水量と使用料収入も中長期的には減少傾向にある。



〔参考〕有収水量の見通し

使用料収入の推計に用いる年間有収水量は、過去 10 年間（H18～H27）の有収水量トレンドに基づく推計値（年▲0.6%）を用いる。



〔参考〕政令指定都市と近隣市の下水道使用料の概要（H31.3.1現在）

（税抜）

No.	都市名	基本水量	基本使用料(円)	順位	最高ランク(円)	逓増度	順位	1㎡使用料(円)	順位	5㎡使用料(円)	順位	6㎡使用料(円)	順位	10㎡使用料(円)	順位	20㎡使用料(円)	順位	30㎡使用料(円)	順位	40㎡使用料(円)	順位	50㎡使用料(円)	順位	100㎡使用料(円)	順位	200㎡使用料(円)	順位	300㎡使用料(円)	順位	500㎡使用料(円)	順位	1,000㎡使用料(円)	順位	2,000㎡使用料(円)	順位	3,000㎡使用料(円)	順位	5,000㎡使用料(円)	順位	10,000㎡使用料(円)	順位	20,000㎡使用料(円)	順位	直近改定日
1	神戸市	10	470	1	260	5.53	16	470	1	470	1	470	1	470	1	1,450	3	2,430	3	3,710	3	4,990	3	12,590	3	30,890	4	52,390	5	95,390	7	210,390	7	455,390	7	715,390	7	1,235,390	7	2,535,390	8	5,135,390	8	S61.5.1
2	札幌市	10	600	7	237	3.95	10	600	6	600	5	600	5	600	4	1,270	2	2,180	2	3,360	2	4,540	2	10,440	2	24,940	2	41,740	2	75,340	2	159,340	1	358,340	1	557,340	1	955,340	1	2,140,340	2	4,510,340	4	H9.4.1
3	仙台市	10	703	16	420	5.97	19	703	15	703	13	703	13	703	9	1,743	5	3,113	6	4,483	5	5,853	5	17,103	11	44,503	12	79,603	15	149,803	16	338,803	17	744,803	17	1,150,803	17	1,962,803	17	3,992,803	17	8,192,803	17	H14.3.1
4	さいたま市	0	666	13	413	4.94	15	683	12	751	14	768	14	836	13	2,236	15	3,636	12	5,376	11	7,116	11	18,016	13	45,216	13	75,016	13	134,616	13	310,616	14	695,616	14	1,080,616	14	1,850,616	14	3,915,616	15	8,045,616	15	H26.6.1
5	千葉市	0	580	6	359	4.85	13	595	5	655	9	672	10	740	11	1,850	7	3,370	9	5,250	9	7,130	12	18,580	14	45,280	14	71,980	12	125,380	12	273,880	11	602,880	11	961,880	11	1,679,880	12	3,474,880	13	7,064,880	13	H26.4.1
6	東京都	8	560	4	345	4.93	14	560	3	560	3	560	3	780	12	1,880	10	3,280	8	4,980	7	6,680	7	16,680	9	39,680	9	66,680	10	120,680	11	275,680	12	620,680	12	965,680	12	1,655,680	11	3,380,680	11	6,830,680	11	H10.6.1
7	川崎市	8	660	11	475	5.76	17	660	11	660	10	660	8	680	7	1,960	11	3,600	11	6,020	16	8,440	17	23,590	20	59,990	21	99,290	21	177,890	21	385,990	21	807,990	21	1,253,990	21	2,145,990	20	4,520,990	19	9,270,990	20	H16.4.1
8	横浜市	8	630	8	472	5.99	20	630	8	630	6	630	6	670	6	1,850	7	3,580	10	5,920	15	8,260	16	21,460	16	51,360	17	85,460	18	153,660	17	348,160	20	764,160	19	1,236,160	20	2,180,160	21	4,540,160	20	9,260,160	19	H13.4.1
9	相模原市	8	686	14	237	2.76	5	686	13	686	11	686	11	876	14	1,851	9	3,011	5	4,271	4	5,531	4	13,181	4	29,981	3	46,781	3	86,781	3	186,781	3	423,781	6	660,781	6	1,134,781	6	2,319,781	6	4,689,781	6	H25.4.1
10	新潟市	10	1,190	21	314	2.64	4	1,190	21	1,190	20	1,190	20	1,190	19	2,770	21	4,350	18	6,260	17	8,170	15	17,720	12	42,320	11	66,920	11	116,120	10	273,120	10	587,120	10	901,120	10	1,529,120	10	3,099,120	10	6,239,120	10	H16.7.1
11	静岡市	0	925	19	220	1.73	3	960	19	1,100	19	1,135	19	1,275	20	2,525	17	3,975	15	5,575	12	7,175	13	15,925	7	34,925	7	54,925	7	94,925	6	199,925	6	419,925	5	639,925	5	1,079,925	5	2,179,925	4	4,379,925	3	H18.6.1
12	浜松市	0	1,110	20	212	1.40	1	1,150	20	1,310	21	1,350	21	1,510	21	2,680	19	4,060	16	5,580	13	7,100	10	15,300	6	32,900	6	51,700	4	89,300	4	186,800	4	389,800	3	597,800	3	1,013,800	2	2,073,800	1	4,193,800	1	H29.10.1
13	名古屋市	10	560	4	254	4.54	12	560	3	560	3	560	3	560	3	1,640	4	3,240	7	5,030	8	6,820	8	17,070	10	41,070	10	65,070	9	115,870	9	242,870	9	496,870	8	750,870	8	1,258,870	8	2,528,870	7	5,068,870	7	H12.1.1
14	京都市	5	650	10	218	1.68	2	650	10	650	8	660	8	700	8	1,830	6	2,990	4	4,610	6	6,230	6	14,330	5	32,630	5	52,730	6	92,930	5	199,430	5	412,430	4	625,430	4	1,051,430	4	2,141,430	3	4,321,430	2	H25.8.1
15	大阪市	10	550	3	234	4.25	11	550	2	550	2	550	2	550	2	1,160	1	1,990	1	3,020	1	4,050	1	10,000	1	23,600	1	39,500	1	71,300	1	161,300	2	376,300	2	591,300	2	1,021,300	3	2,191,300	5	4,531,300	5	H13.6.1
16	堺市	0	665	12	395	3.39	8	715	16	915	18	965	18	1,165	18	2,565	18	4,565	20	6,665	18	8,765	19	22,265	18	55,765	19	89,265	19	156,265	18	336,265	16	731,265	16	1,126,265	16	1,916,265	15	3,891,265	14	7,841,265	14	H29.10.1
17	岡山市	0	538	2	424	3.66	9	600	6	848	16	910	17	1,158	17	2,738	20	4,738	21	6,738	20	8,738	18	21,488	17	46,988	16	81,088	16	149,288	15	345,288	19	769,288	20	1,193,288	19	2,041,288	19	4,161,288	18	8,401,288	18	H20.4.1
18	広島市	6	695	15	344	2.96	6	695	14	695	12	695	12	715	10	2,055	13	4,385	19	6,715	19	9,825	21	25,375	21	59,775	20	94,175	20	162,975	20	334,975	15	678,975	13	1,022,975	13	1,710,975	13	3,430,975	12	6,870,975	12	H20.7.1
19	北九州市	10	634	9	412	6.50	21	634	9	634	7	634	7	634	5	2,044	12	3,789	14	5,869	14	7,949	14	20,799	15	46,499	15	77,199	14	138,599	14	292,099	13	699,099	15	1,106,099	15	1,920,099	16	3,955,099	16	8,075,099	16	H11.11.1
20	福岡市	0	760	17	515	5.79	18	773	17	825	15	838	15	890	15	2,410	16	4,290	17	6,750	21	9,210	20	23,110	19	54,210	18	85,310	17	158,510	19	341,510	18	758,510	18	1,175,510	18	2,009,510	18	4,584,510	21	9,734,510	21	H17.6.1
21	熊本市	0	810	18	310	3.28	7	823	18	877	17	890	16	943	16	2,134	14	3,705	13	5,277	10	6,848	9	16,372	8	35,420	8	58,277	8	103,991	8	237,321	8	503,981	9	813,501	9	1,432,541	9	2,980,141	9	6,075,341	9	H21.9.1

No.	都市名	基本水量	基本使用料(円)	順位	最高ランク(円)	逓増度	順位	1㎡使用料(円)	順位	5㎡使用料(円)	順位	6㎡使用料(円)	順位	10㎡使用料(円)	順位	20㎡使用料(円)	順位	30㎡使用料(円)	順位	40㎡使用料(円)	順位	50㎡使用料(円)	順位	100㎡使用料(円)	順位	200㎡使用料(円)	順位	300㎡使用料(円)	順位	500㎡使用料(円)	順位	1,000㎡使用料(円)	順位	2,000㎡使用料(円)	順位	3,000㎡使用料(円)	順位	5,000㎡使用料(円)	順位	10,000㎡使用料(円)	順位	20,000㎡使用料(円)	順位	直近改定日
1	神戸市	10	470	1	260	5.53	12	470	1	470	1	470	1	470	1	1,450	2	2,430	2	3,710	4	4,990	6	12,590	6	30,890	6	52,390	7	95,390	7	210,390	7	455,390	7	715,390	8	1,235,390	8	2,535,390	8	5,135,390	8	S61.5.1
2	尼崎市	0	549	4	220	3.61	10	555	3	579	3	585	3	609	3	1,559	4	2,689	6	3,819	5	4,949	4	11,849	5	25,649	4	39,449	4	69,649	4	145,149	4	301,399	3	459,399	3	775,399	3	1,635,399	3	3,435,399	3	H15.6.1
3	芦屋市	10	530	2	188	3.55	9	530	2	530	2	530	2	530	2	1,350	1	2,450	3	3,850	6	5,520	7	14,570	7	32,670	7	51,120	6	88,720	6	182,720	5	370,720	5	558,720	5	934,720	5	1,874,720	5	3,754,720	4	H14.4.1
4	西宮市	0	626	7	215	2.96	7	626	6	676	7	686	7	726	6	1,616	6	2,506	5	3,496	3	4,486	1	9,986	1	21,486	1	34,686	1	61,086	1	135,486	2	314,486	4	493,486	4	851,486	4	1,851,486	4	4,001,486	5	H28.8.1
5	伊丹市	0	590	5	168	1.33	1	598	5	630	4	638	4	670	4	1,570	5	2,470	4	3,490	2	4,510	2	10,510	2	22,510	2	36,210	2	63,610	2	132,110	1	285,110	1	438,110	1	744,110	1	1,509,110	1	3,189,110	2	H23.11.1
6	宝塚市	0	530	2	155	1.99	2	555	3	655	5	680	6	780	7	1,680	7	2,780	7	3,880	7	4,980	5	11,230	4	23,730	3	36,230	3	67,230	3	144,730	3	299,730	2	454,730	2	764,730	2	1,539,730	2	3,089,730	1	H28.6.1
7	三田市	10	670	8	220	3.28	8	670	8	670	6	670	5	670	4	1,470	3	2,370	1	3,470	1	4,570	3	11,070	3	27,570	5	46,570	5	84,570	5	187,070	6	407,070	6	627,070	6	1,067,070	6	2,167,070	6	4,367,070	6	H1.4.1
8	三木市	0	600	6	240	2.18	4	650	7	850	9	900	9	1,100	10	2,400	11	3,700	9	5,400	9	7,100	9	17,350	8	41,350	9	65,350	8	113,350	8	233,350	8	473,350	8	713,350	7	1,193,350	7	2,393,350	7	4,793,350	7	H16.7.1
9	明石市	5	798	9	324	2.03	3	798	9	798																																		

2 下水道事業の経営状況

(1) 収益的収支の推移

地方公営企業会計についても企業会計基準との整合性を図るため、地方公営企業会計制度が改正され、平成26年度から新会計基準が適用されている。

事業の管理運営にかかる収益的収支は、純利益（黒字）を確保することが大前提となっている。

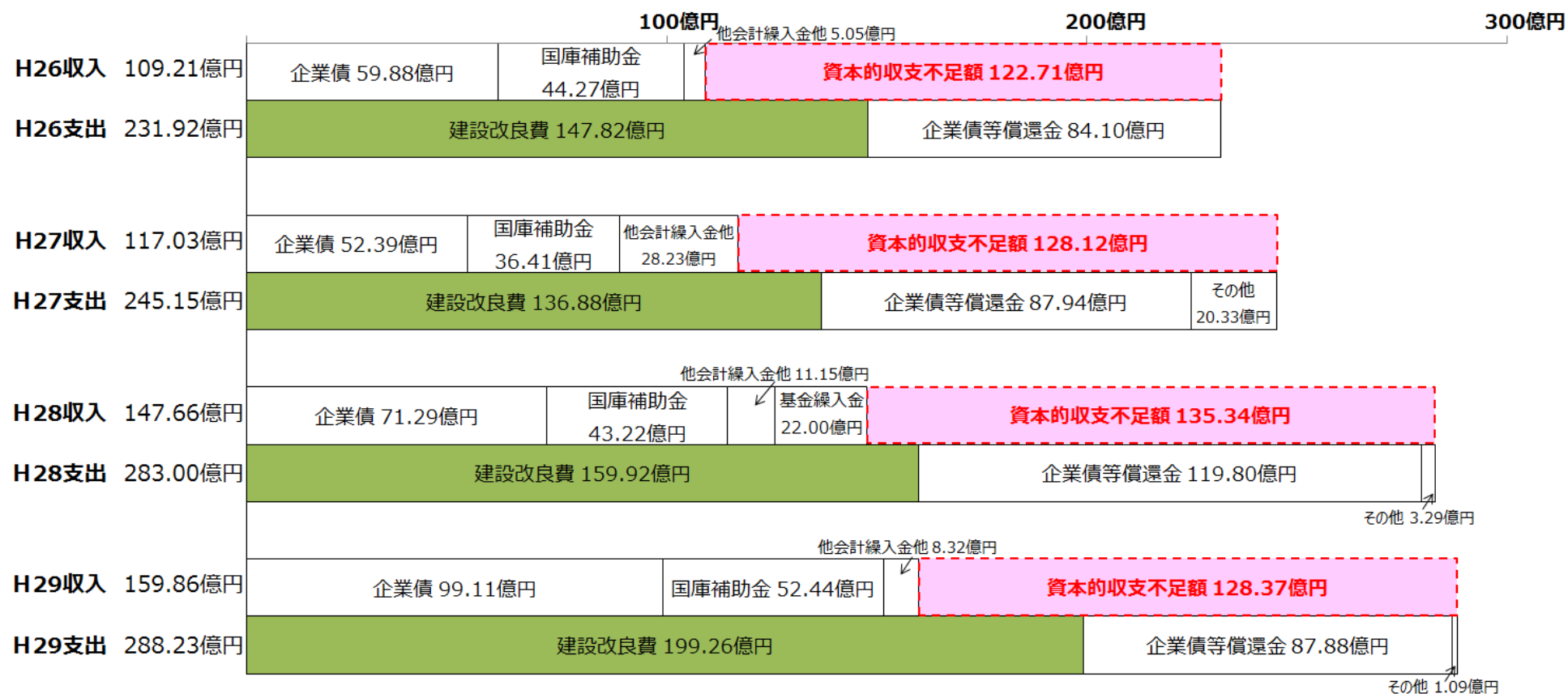
収益的収支の推移(平成26年度～平成29年度)

	100億円		200億円		300億円		その他収益等 3.98億円	400億円
H26収入 348.43億円	下水道使用料 188.94億円		長期前受金戻入 100.81億円		一般会計繰入金 45.69億円	特別利益 16.95億円	純損失 9億円	
H26支出 365.38億円	人件費 26.68億円	物件費 59.80億円	減価償却費等 216.08億円		企業債支払利息等 35.01億円	特別損失 26.98億円		
	その他支出等 0.82億円							
H27収入 349.89億円	下水道使用料 188.80億円		長期前受金戻入 101.70億円		一般会計繰入金 44.50億円	特別利益 10.86億円	その他収益等 4.03億円	
H27支出 338.11億円	人件費 26.56億円	物件費 58.49億円	減価償却費等 217.68億円		企業債支払利息等 32.74億円	純利益 11.79億円	特別損失 1.85億円	
	その他支出等 0.78億円							
H28収入 349.27億円	下水道使用料 188.22億円		長期前受金戻入 102.15億円		一般会計繰入金 44.70億円	特別利益 10.16億円	その他収益等 4.04億円	
H28支出 336.81億円	人件費 25.04億円	物件費 57.34億円	減価償却費等 221.97億円		企業債支払利息等 30.15億円	純利益 12.46億円	特別損失 1.50億円	
	その他支出等 0.80億円							
H29収入 345.96億円	下水道使用料 189.34億円		長期前受金戻入 100.71億円		一般会計繰入金 42.78億円	特別利益 9.04億円	その他収益等 4.09億円	
H29支出 333.01億円	人件費 25.00億円	物件費 61.39億円	減価償却費等 217.87億円		企業債支払利息等 27.48億円	純利益 12.95億円	特別損失 0.32億円	
	その他支出等 0.96億円							

(2) 資本的収支の推移

資本的収支は、下水道施設の整備（資産形成）のための費用とその財源の収支状況である。
神戸市ではこれまで、雨水幹線や雨水ポンプ場の整備などの浸水対策事業をはじめとする積極的な建設改良（投資）を行ってきた。

資本的収支の推移(平成 26 年度～平成 29 年度)

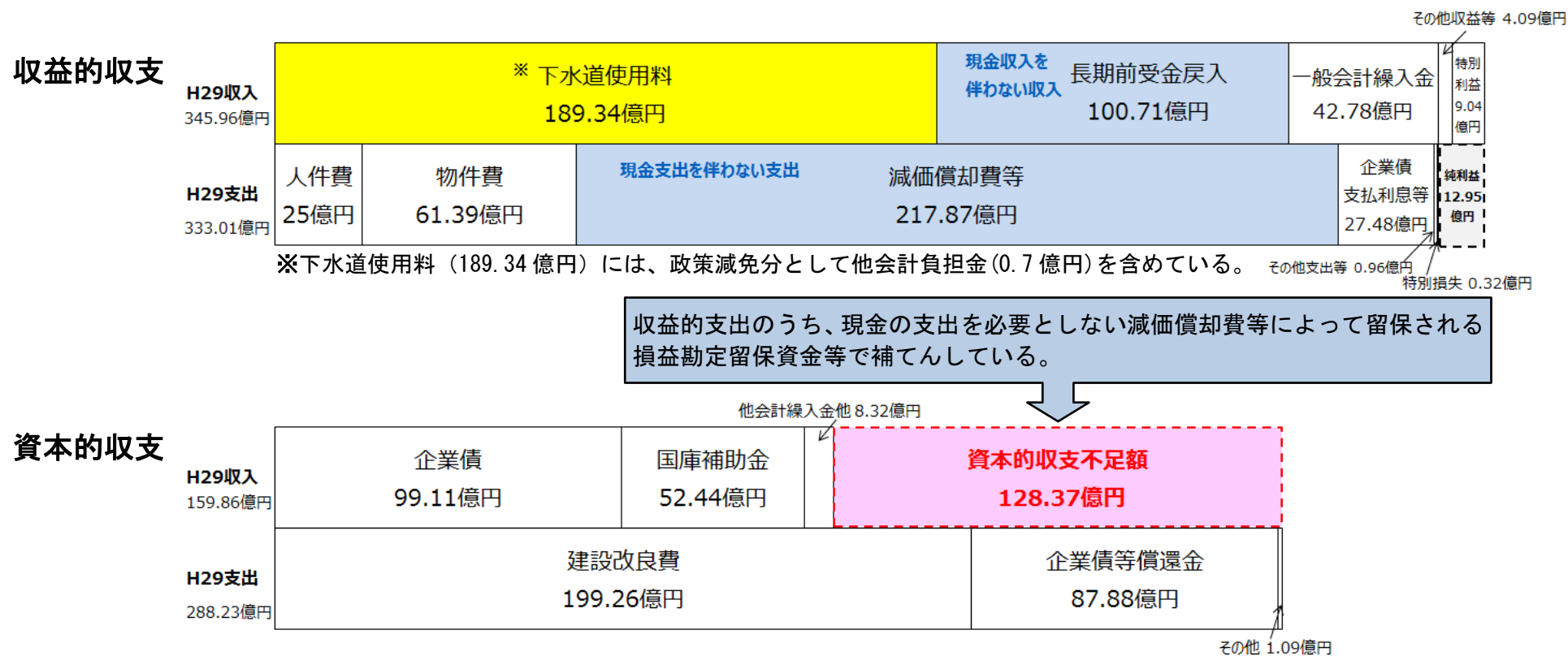


(3) 収益的収支と資本的収支の関係

(平成 29 年度決算)

資本的収入額が資本的支出額に比べ不足している 128 億 3,700 万円については、収益的支出のうち、現金の支出を必要としない減価償却費等によって留保される損益勘定留保資金（※）等で補てんしている。

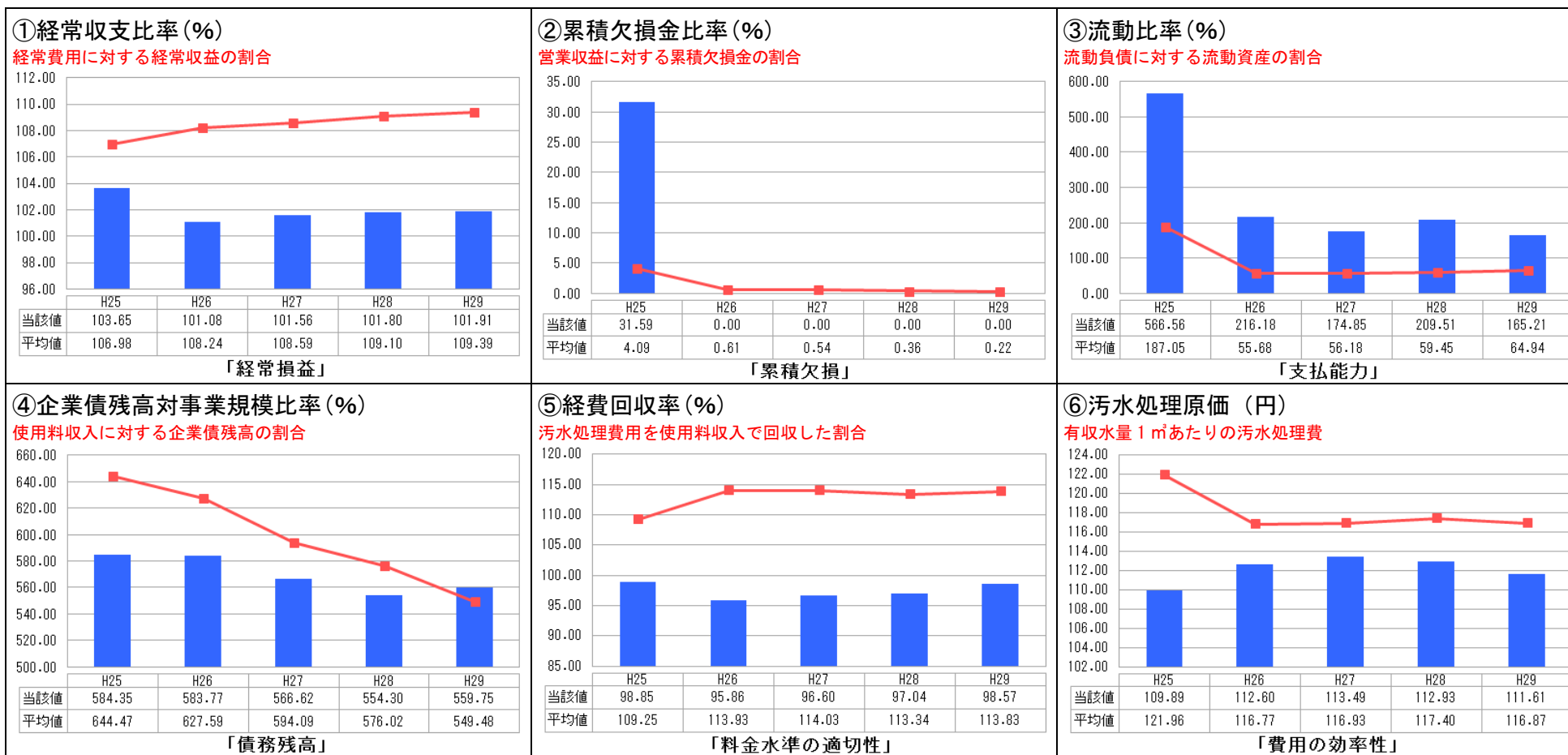
※損益勘定留保資金とは、損益計算書の費用のうち減価償却費等の現金の支出を必要としない内部留保資金である。



(4) 経営の健全性・効率性

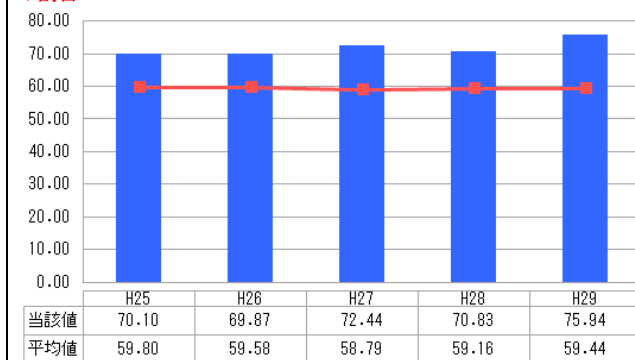
経常収支比率や、経費回収率が類似団体（政令指定都市）平均を下回り、汚水処理原価も安価である。

※ 神戸市値 ■ 類似団体(政令指定都市)平均値



⑦施設利用率 (%)

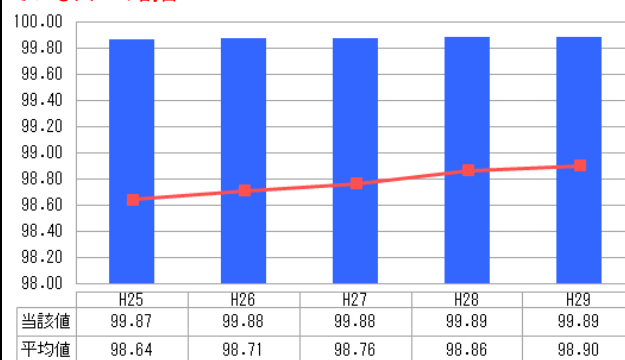
施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する一日平均処理水量の割合



「施設の効率性」

⑧水洗化率 (%)

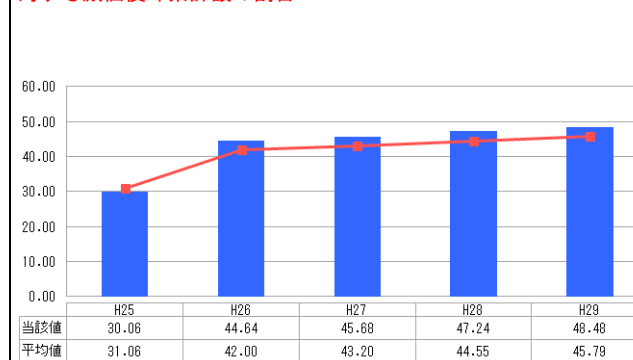
現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合



「使用料対象の捕捉」

⑨有形固定資産減価償却率 (%)

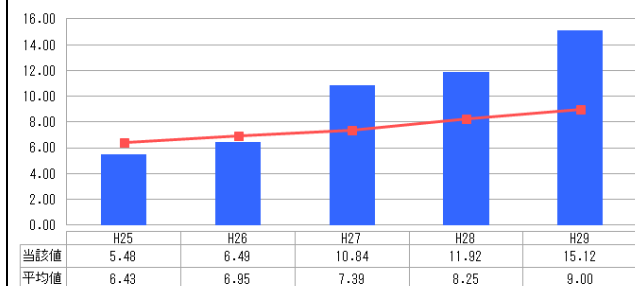
有形固定資産のうち償却資産(建物や工作物など)の取得価額等に対する減価償却累計額の割合



「施設全体の減価償却の状況」

⑩管渠老朽化率 (%)

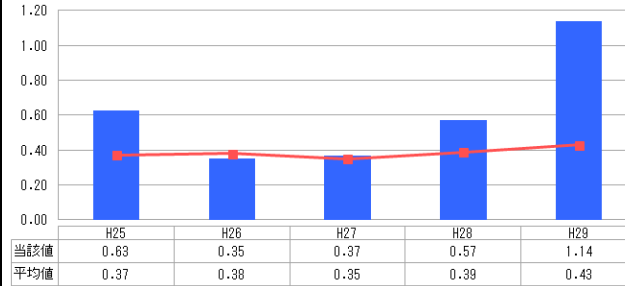
法定耐用年数を超えた管渠延長の割合



「管渠の経年化の状況」

⑪管渠改善率 (%)

当該年度に更新した管渠延長の割合



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,542,935	557.02	2,769.98	76.16	97.71	95.29	1,502,465	170.25	8,825.05

〔出典〕 「平成 29 年度決算経営比較分析表〔政令市、下水道事業〕」 (総務省)

(5) 収入源の確保

事業においては、従来から、使用料収入以外の収入源の確保に努めてきた。

今後も、経済性の検討を行いながら、資産の有効活用の促進や再生可能エネルギーの導入拡大に努めていく。

下水道使用料以外の主な収入源（平成 29 年度）

項 目		H29 決算額 (単位：円) [税込]	概 要
資産の有効活用	処理場等跡地賃貸料	130,026,028	名谷処理場・中部処理場・その他ポンプ場等跡地賃貸料
	用地使用料	82,178,754	垂水スポーツガーデン賃貸料、行政財産使用料
再生可能エネルギーの有効利用	こうべバイオガス事業	51,455,153	消化ガスを精製した「こうべバイオガス」を、天然ガス自動車用燃料として供給。さらに都市ガス化設備で精製し、家庭や工場へ供給（東灘処理場）
	水リサイクル事業	55,371,890	下水処理水を「再生水」としてトイレ用水等に供給（六甲アイランド・ポートアイランド）
	Wエコ発電事業	41,591,717	施設上部空間を活用した太陽光と下水汚泥から発生するバイオガスによるW発電による電力売却
	下水熱利用事業	6,608,324	脱水汚泥の焼却排熱であるスクラバー温排水（50℃程度）を利用した地域温水供給（六甲アイランド集合住宅地区）
その他	その他雑収益	61,058,897	マンホール蓋等の売却、指定工事者等審査手数料
合 計		428,290,763	

(6) 経営改善の主な取組み

これまで民間活力の導入、処理場の統廃合、組織の統合、職員数の削減を行ってきた。
引き続き、効果的で効率的な業務の執行、組織・人員配置を行っていく。

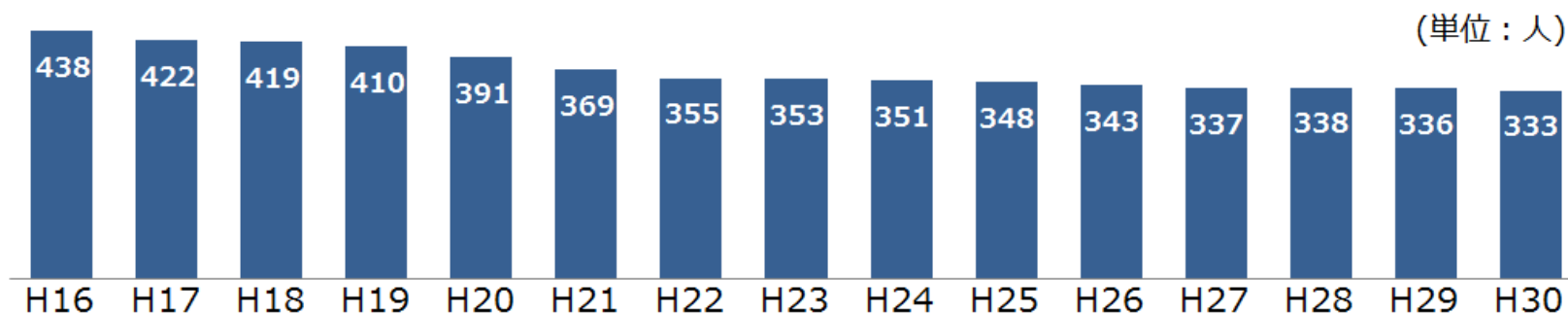
1) 民間活力の導入

H18	ポートアイランド処理場の運転操作業務委託
H19	鈴蘭台処理場の運転操作業務委託
H20	ポートアイランド処理場・鈴蘭台処理場の包括的民間委託
H22	東部スラッジセンター1号炉の包括的民間委託
H24	東部スラッジセンター2号炉の包括的民間委託
H27	東灘処理場汚泥処理施設等運転管理業務の民間委託
H29	西部処理場汚泥処理施設等運転管理業務の民間委託 六甲アイランド・ポートアイランド水リサイクル事業再生水メーター検針業務の民間委託

2) 組織・施設の統廃合

S62	有野処理場の廃止（武庫川上流流域下水処理場へ統合）
H 5	名谷処理場の廃止（垂水処理場へ統合）
H 8	土木局と下水道局の統合（建設局の新設）
H14	水環境センターの組織統合（北・西部の統合）
H15	水環境センターの組織統合（垂水・西の統合、3センター化）
H23	処理場ネットワーク幹線の整備、中部処理場の廃止

○職員数の推移（下水道事業関係）



※派遣職員を含む。

(7) 類似団体等との下水道使用料比較

①使用水量 1 m³当たりの下水道使用料

(平成31年3月1日現在、1戸1月につき、税抜、単位:円)

都市名 使用水量	政令市平均	神戸市	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	東京都	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市
10 m ³	84	47	60	70	84	74	78	68	67	88	119	128	151	56	70	55	117	116	72	63	89	94
20 m ³	102	73	64	87	112	93	94	98	93	93	139	126	134	82	92	58	128	137	103	102	121	107
30 m ³	118	81	73	104	121	112	109	120	119	100	145	133	135	108	100	66	152	158	146	126	143	124
40 m ³	133	93	84	112	134	131	125	151	148	107	157	139	140	126	115	76	167	168	168	147	169	132
50 m ³	142	100	91	117	142	143	134	169	165	111	163	144	142	136	125	81	175	175	197	159	184	137
100 m ³	177	126	104	171	180	186	167	236	215	132	177	159	153	171	143	100	223	215	254	208	231	164
200 m ³	209	154	125	223	226	226	198	300	257	150	212	175	165	205	163	118	279	235	299	232	271	177
300 m ³	228	175	139	265	250	240	222	331	285	156	223	183	172	217	176	132	298	270	314	257	284	194
500 m ³	245	191	151	300	269	251	241	356	307	174	232	190	179	232	186	143	313	299	326	277	317	208
1,000 m ³	269	210	159	339	311	274	276	386	348	187	273	200	187	243	199	161	336	345	335	292	342	237
3,000 m ³	304	238	186	384	360	321	322	418	412	220	300	213	199	250	208	197	375	398	341	369	392	271
5,000 m ³	312	247	191	393	370	336	331	429	436	227	306	216	203	252	210	204	383	408	342	384	402	287
10,000 m ³	324	254	214	399	392	347	338	452	454	232	310	218	207	253	214	219	389	416	343	396	458	298
20,000 m ³	330	257	226	410	402	353	342	464	463	234	312	219	210	253	216	227	392	420	344	404	487	304

②使用水量別下水道使用料

(平成31年3月1日現在、1戸1月につき、税抜、単位:円)

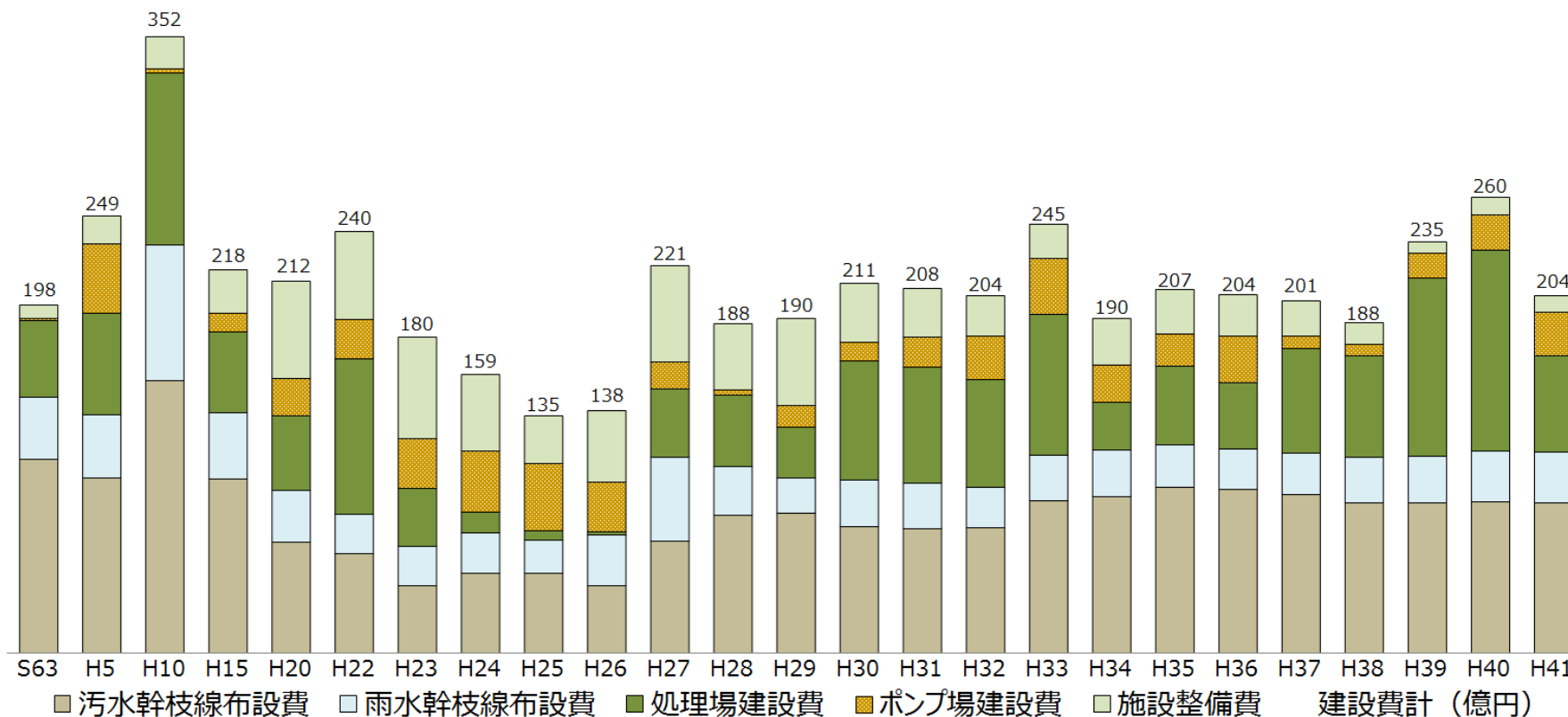
都市名 使用水量	政令市平均	神戸市	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	東京都	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市
10 m ³	840	470	600	703	836	740	780	680	670	876	1,190	1,275
20 m ³	2,031	1,450	1,270	1,743	2,236	1,850	1,880	1,960	1,850	1,851	2,770	2,525
30 m ³	3,537	2,430	2,180	3,113	3,636	3,370	3,280	3,600	3,580	3,011	4,350	3,975
40 m ³	5,308	3,710	3,360	4,483	5,376	5,250	4,980	6,020	5,920	4,271	6,260	5,575
50 m ³	7,115	4,990	4,540	5,853	7,116	7,130	6,680	8,440	8,260	5,531	8,170	7,175
100 m ³	17,685	12,590	10,440	17,103	18,016	18,580	16,680	23,590	21,460	13,181	17,720	15,925
200 m ³	41,807	30,890	24,940	44,503	45,216	45,280	39,680	59,990	51,360	29,981	42,320	34,925
300 m ³	68,338	52,390	41,740	79,603	75,016	71,980	66,680	99,290	85,460	46,781	66,920	54,925
500 m ³	122,363	95,390	75,340	149,803	134,616	125,380	120,680	177,890	153,660	86,781	116,120	94,925
1,000 m ³	268,597	210,390	159,340	338,803	310,616	273,880	275,680	385,990	348,160	186,781	273,120	199,925
3,000 m ³	910,796	715,390	557,340	1,150,803	1,080,616	961,880	965,680	1,253,990	1,236,160	660,781	901,120	639,925
5,000 m ³	1,561,227	1,235,390	955,340	1,962,803	1,850,616	1,679,880	1,655,680	2,145,990	2,180,160	1,134,781	1,529,120	1,079,925
10,000 m ³	3,239,922	2,535,390	2,140,340	3,992,803	3,915,616	3,474,880	3,380,680	4,520,990	4,540,160	2,319,781	3,099,120	2,179,925
20,000 m ³	6,606,360	5,135,390	4,510,340	8,192,803	8,045,616	7,064,880	6,830,680	9,270,990	9,260,160	4,689,781	6,239,120	4,379,925
都市名 使用水量	政令市平均	神戸市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市
10 m ³	840	470	1,510	560	700	550	1,165	1,158	715	634	890	943
20 m ³	2,031	1,450	2,680	1,640	1,830	1,160	2,565	2,738	2,055	2,044	2,410	2,134
30 m ³	3,537	2,430	4,060	3,240	2,990	1,990	4,565	4,738	4,385	3,789	4,290	3,705
40 m ³	5,308	3,710	5,580	5,030	4,610	3,020	6,665	6,738	6,715	5,869	6,750	5,277
50 m ³	7,115	4,990	7,100	6,820	6,230	4,050	8,765	8,738	9,825	7,949	9,210	6,848
100 m ³	17,685	12,590	15,300	17,070	14,330	10,000	22,265	21,488	25,375	20,799	23,110	16,372
200 m ³	41,807	30,890	32,900	41,070	32,630	23,600	55,765	46,988	59,775	46,499	54,210	35,420
300 m ³	68,338	52,390	51,700	65,070	52,730	39,500	89,265	81,088	94,175	77,199	85,310	58,277
500 m ³	122,363	95,390	89,300	115,870	92,930	71,300	156,265	149,288	162,975	138,599	158,510	103,991
1,000 m ³	268,597	210,390	186,800	242,870	199,430	161,300	336,265	345,288	334,975	292,099	341,510	237,321
3,000 m ³	910,796	715,390	597,800	750,870	625,430	591,300	1,126,265	1,193,288	1,022,975	1,106,099	1,175,510	813,501
5,000 m ³	1,561,227	1,235,390	1,013,800	1,258,870	1,051,430	1,021,300	1,916,265	2,041,288	1,710,975	1,920,099	2,009,510	1,432,541
10,000 m ³	3,239,922	2,535,390	2,073,800	2,528,870	2,141,430	2,191,300	3,891,265	4,161,288	3,430,975	3,955,099	4,584,510	2,980,141
20,000 m ³	6,606,360	5,135,390	4,193,800	5,068,870	4,321,430	4,531,300	7,841,265	8,401,288	6,870,975	8,075,099	9,734,510	6,075,341

3 改築更新等の投資計画の見通し

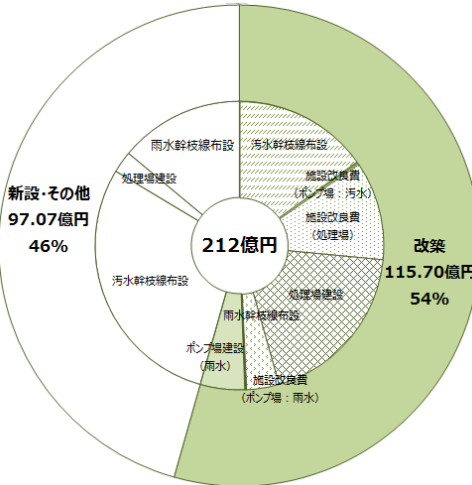
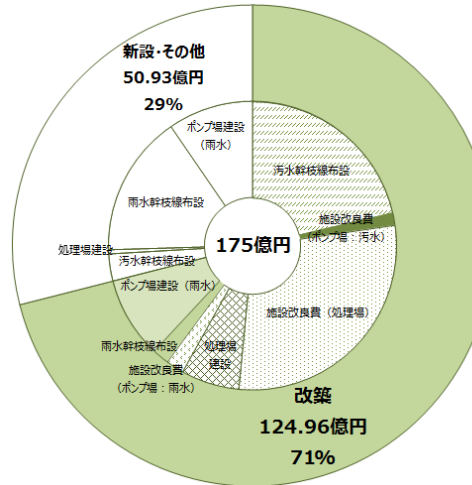
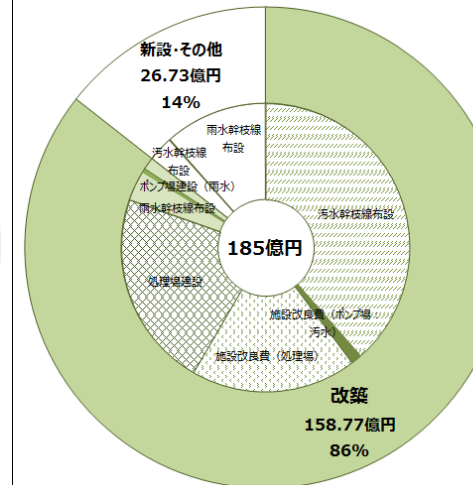
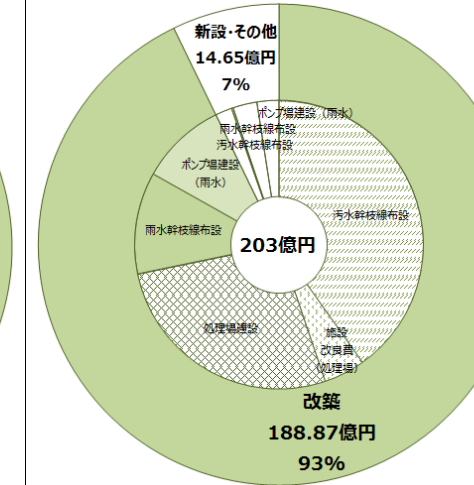
(1) 建設改良費の見通し

神戸市の下水道事業は、昭和26年に着手以来、約67年が経過し、特に昭和40年代後半の高度経済成長期に集中的に整備した下水道きょや処理場・ポンプ場などの施設の老朽化が進行している。

これらの施設を健全に維持管理し、計画的な改築更新事業をこれまで以上に推進していく必要がある。



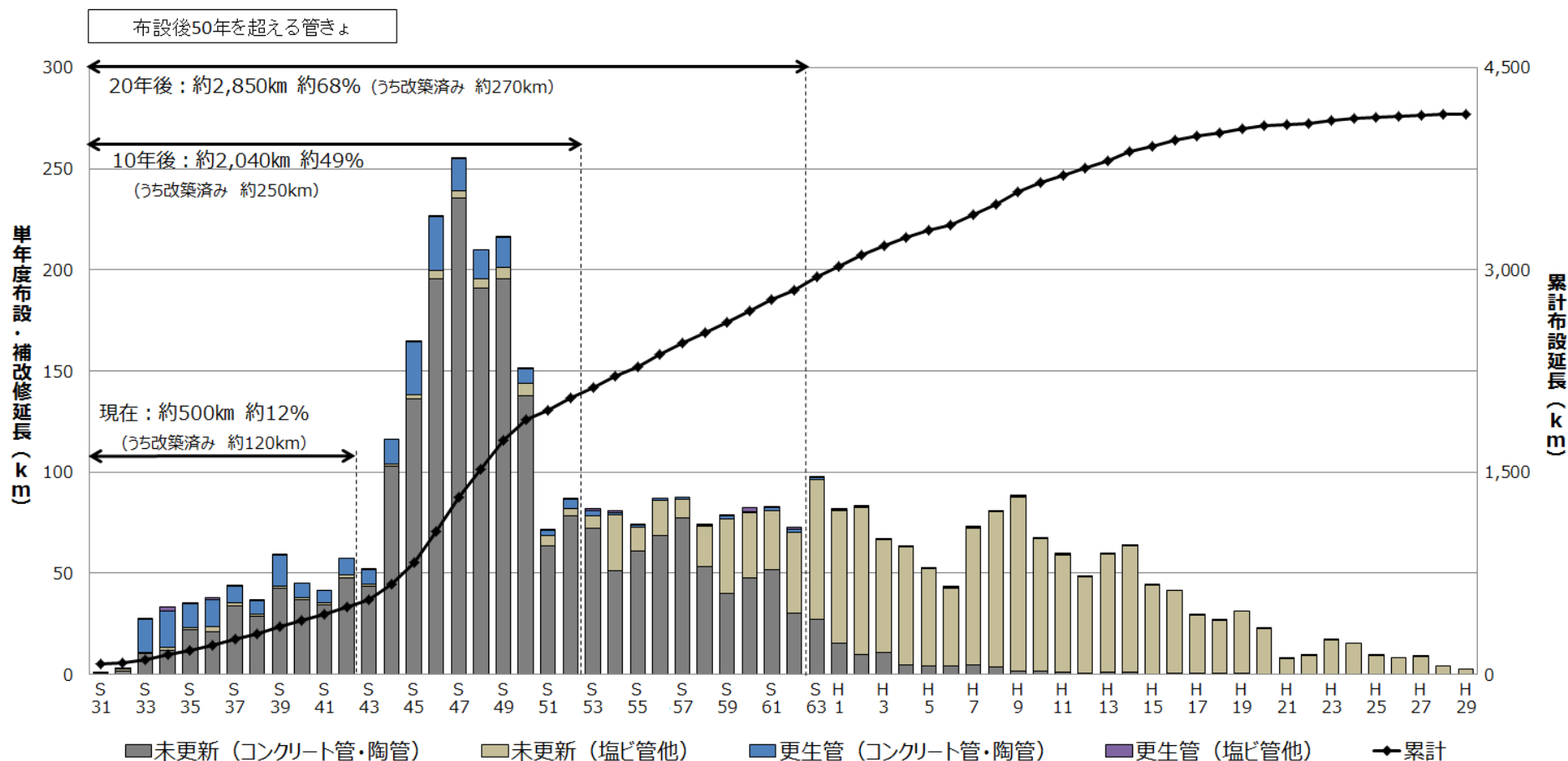
②事業内容の変遷(新築から改築へ)

	2003 (H15) 年	2011 (H23) 年	2016 (H28) 年	2029 (H41) 年
	 <p>2003 (H15) 年 総額: 212億円 改築: 115.70億円 (54%) 新設・その他: 97.07億円 (46%)</p>	 <p>2011 (H23) 年 総額: 175億円 改築: 124.96億円 (71%) 新設・その他: 50.93億円 (29%)</p>	 <p>2016 (H28) 年 総額: 185億円 改築: 158.77億円 (86%) 新設・その他: 26.73億円 (14%)</p>	 <p>2029 (H41) 年 総額: 203億円 改築: 188.87億円 (93%) 新設・その他: 14.65億円 (7%)</p>
改築	<p>[汚水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・垂水処理場の整備 ・東灘処理場 汚泥消化タンク設備 <p>[雨水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管渠の改築(震災復興区画整理) ・和田岬地区の整備 (管渠、新和田岬ポンプ場) 	<p>[汚水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管渠の改築 25km/年 ・東部スラッジセンター焼却炉の改築 <p>[雨水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長田南部地区の整備 (管渠、新南駒栄ポンプ場) 	<p>[汚水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管渠の改築 45km/年 ・西部処理場(北系)の改築 <p>[雨水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚崎ポンプ場の改築 ・管渠の補修、改築、耐震化 5km/年 	<p>[汚水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管渠の改築 45km/年 ・西部処理場(南系)、東灘処理場の改築 <p>[雨水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚崎ポンプ場の改築 ・管渠の補修、改築、耐震化 5km/年
新築・その他	<p>[汚水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須磨浦汚水幹線の整備 ・未整備地区の整備 <p>[雨水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須磨浦通東地区の整備(管渠) ・新市街地の整備 	<p>[汚水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妙法寺汚水幹線の整備 ・新市街地の整備 <p>[雨水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三宮南地区の整備 (中突堤・小野浜ポンプ場) 	<p>[汚水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市街地の整備 <p>[雨水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西河原地区の整備(管渠) ・新市街地の整備 	<p>[汚水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市街地の整備 <p>[雨水]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西河原、浜添地区の整備(管渠) ・新市街地の整備

(2) 下水道施設の老朽化と計画的な改築・更新の必要性

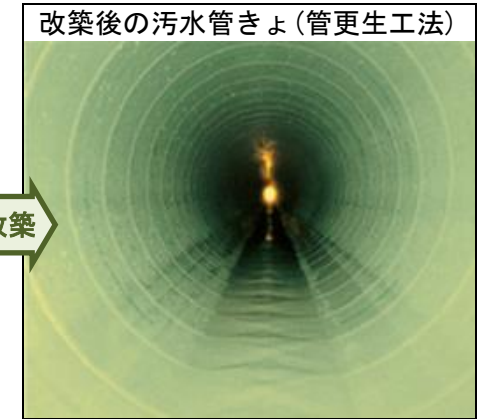
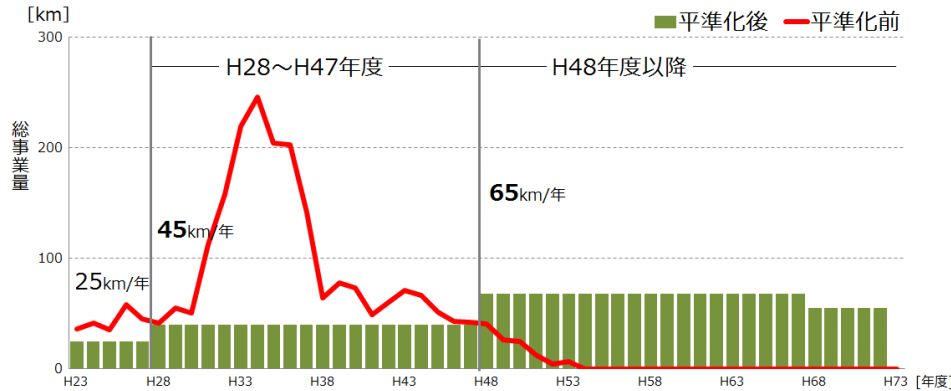
神戸市の下水道事業は、昭和26年に着手以来67年が経過し、特に昭和40年代後半に集中的に整備した下水管きょや処理場・ポンプ場などの施設の老朽化が進行している。これらの施設を健全に維持管理し、計画的な改築更新事業をこれまで以上に推進していく必要がある。

① 汚水管きょの整備状況（平成29年度末：約4,150km）



②汚水管きよの改築更新

鉄筋コンクリート管の使用限界を80年として事業の平準化を図り、改築更新ペースを加速する。



改築

③主な処理場・ポンプ場の整備状況

(平成30年3月31日現在)

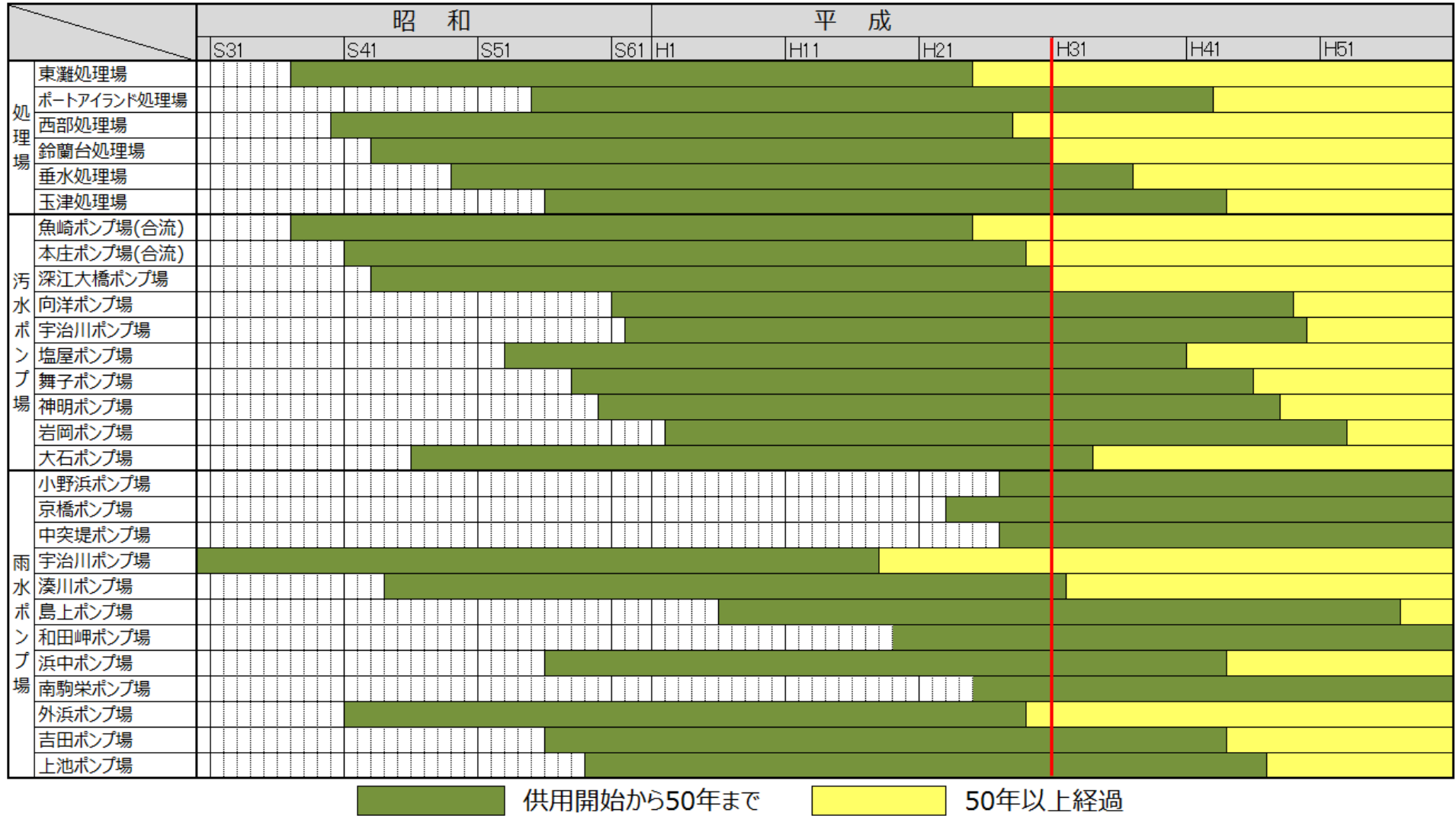
処理場	運転開始	経過年月	晴天日最大処理能力 (事業計画:平成32年度)	平成29年度処理水量
東 灘	S37年10月	56年5月	22.0 万 m ³	16.2 万 m ³ /日
P I	S55年5月	38年9月	2.4 万 m ³	1.0 万 m ³ /日
中 部	S33年11月	廃止	—	—
鈴 蘭 台	S43年9月	50年6月	1.6 万 m ³	1.6 万 m ³ /日
西 部	S40年4月	54年	10.0 万 m ³	9.5 万 m ³ /日
垂 水	S49年8月	44年7月	24.5 万 m ³	13.9 万 m ³ /日
玉 津	S56年8月	37年7月	9.8 万 m ³	7.3 万 m ³ /日
合 計			70.4 万 m ³	49.5 万 m ³ /日

ポンプ場	運転開始	経過年月	排水面積
魚 崎 (合 流)	S37年1月	57年3月	343 ha
本 庄 (合 流)	S41年4月	53年	82 ha
深 江 大 橋 (汚 水)	S44年1月	50年3月	88 ha
宇 治 川 (雨 水)	S30年4月	64年	39 ha
外 浜 (雨 水)	S41年9月	52年6月	22 ha
湊 川 (雨 水)	S44年6月	49年9月	32 ha

※運転開始から40年以上経過した施設を中心に抜粋している。
 ※神戸市の下水道は、汚水と雨水を別々に流す分流式であるが、東灘区の一部については汚水と雨水を一緒に流す合流式となっている。

(注) 各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、合計欄が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

③主な処理場・ポンプ場の供用開始時期と経年表



○下水道施設の劣化や道路の浸水・陥没



③今後の投資計画

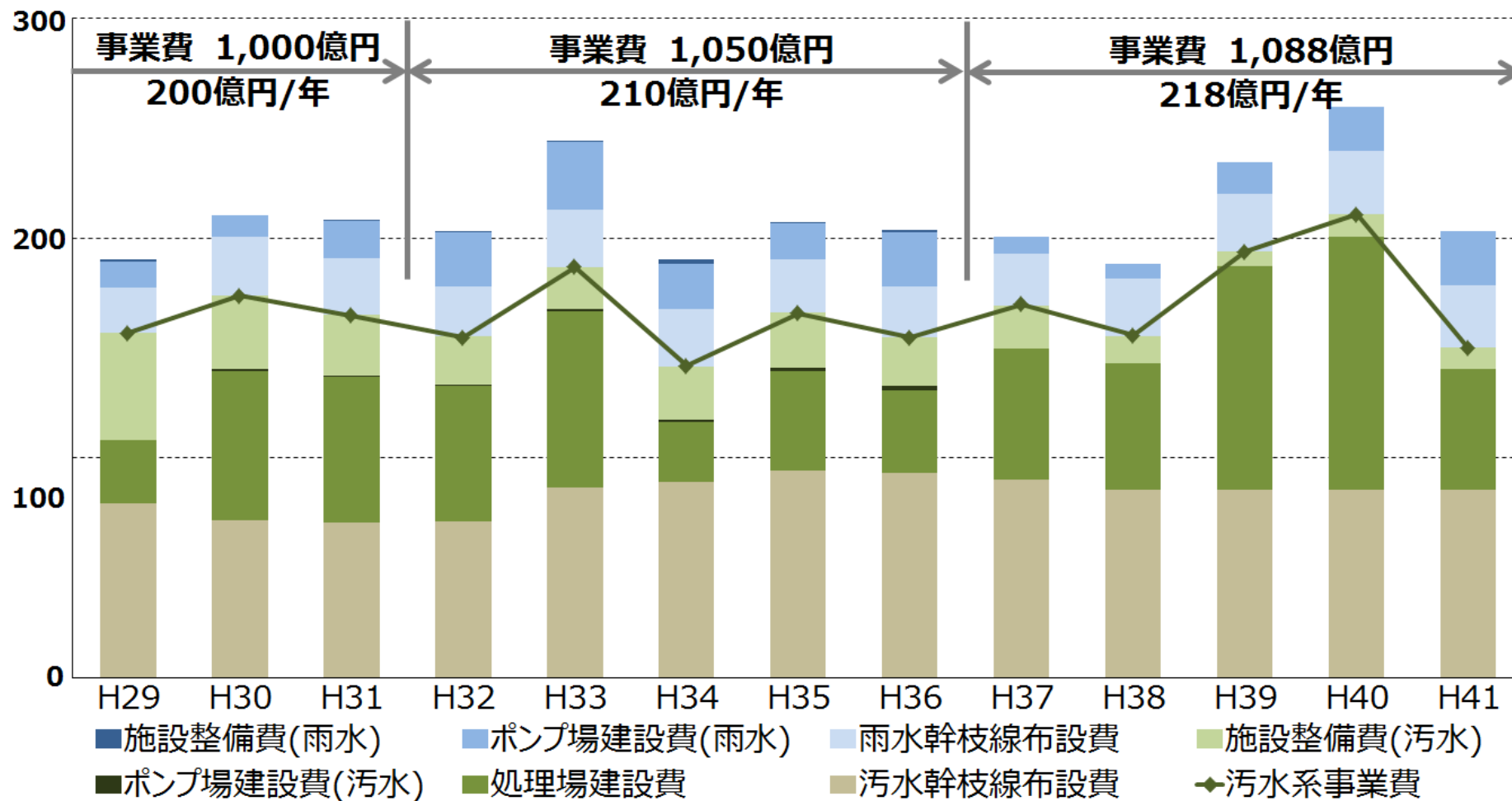
平成 32 年度で満了する中期経営計画「こうべアクアプラン 2020」は、「神戸市下水道事業経営計画」に承継する。

基本方針	施策	主要事業	こうべアクアプラン2020					神戸市下水道事業経営計画									
			2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32	2021 H33	2022 H34	2023 H35	2024 H36	2025 H37	2026 H38	2027 H39	2028 H40	2029 H41	
安心して快適な市民生活と社会活動を支えます。	膨大なストックの改築更新	汚水管きょの改築更新	225km / 5年					450km / 10年									
		東灘処理場の改築更新	最初沈殿池・分場の改築更新														
		ポートアイランド処理場の改築更新	2系(水処理設備)														
		西部処理場の改築更新	北系					南系									
		垂水処理場の設備増設	東系(水処理設備)														
		その他施設の改築更新	処理場・ポンプ場 設備の改築更新														
	改築に併せた施設の耐震化	下水道施設の耐震化	管きょ・処理場・ポンプ場の耐震化														
浸水に強い安全なまちづくりを進めます。	浸水対策事業の促進 改築に併せた施設の能力増強	魚崎ポンプ場の改築更新	第1期					第2期									
		三宮南地区の浸水対策	中突堤ポンプ場・小野浜ポンプ場・雨水幹線の整備														
		神戸駅周辺地区の浸水対策	東川崎ポンプ場・宇治川ポンプ場の改築更新、雨水幹線の整備														
		長田南部地区の浸水対策	南駒栄ポンプ場・遮集幹線・雨水幹線の整備														
		和田岬地区の浸水対策	雨水幹線の整備														
		西河原地区の浸水対策	雨水幹線・ポンプ場の整備														
		市街地の浸水対策	雨水幹線等の整備														
健全な水環境と循環型社会の実現に貢献します。	資源の有効利用	こうべバイオガスの有効利用															
		こうべ再生リンの有効利用	実証試験、市内農業による有効利用拡大														
市民に見える下水道を目指します。	広報プロモーションの充実 水・インフラ支援による国際貢献	水環境フェア、アクアサポーター制度の実施、国際貢献	体験型広報の実施、効果的な広報プロモーションの展開														
持続可能な下水道サービスを提供します。	経営基盤の強化	中部処理場の跡地活用による収入確保	跡地活用														
関連計画の目標年次		大阪湾流域別下水道整備総合計画															
		神戸づくりの指針(市マスタープラン)															
		神戸2020ビジョン															
		神戸市行財政改革2020															
		新・環境基本計画															

④建設改良費の見通し

下水道施設の改築更新にかかる事業費は、平成 32 年度以降は年間 210 億円から 220 億円程度を想定している。

(億円)



4 維持管理費の見通し

(1) 維持管理費の内訳

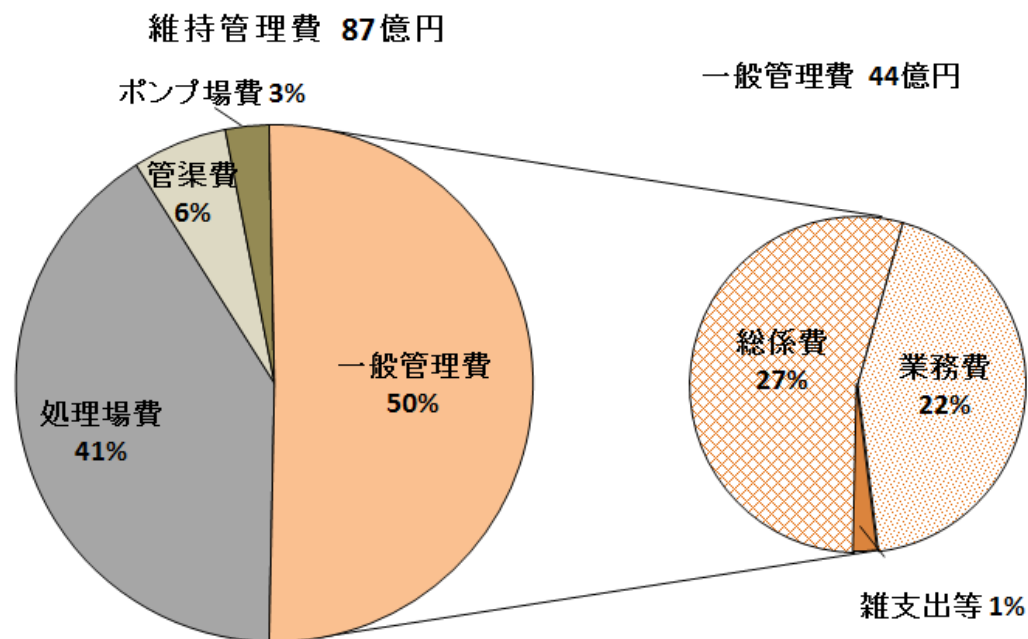
維持管理費は、既存の下水道施設を維持管理していくために必要な費用である。

平成 29 年度の維持管理費 87 億円の内訳は、目的別には一般管理費 44 億円(50%)、処理場費 35 億円(41%)、ポンプ場費 2 億円(3%)、管渠費 5 億円(6%)である。

○経営収支（平成 29 年度）※税抜き

単位：億円 ○維持管理費の内訳

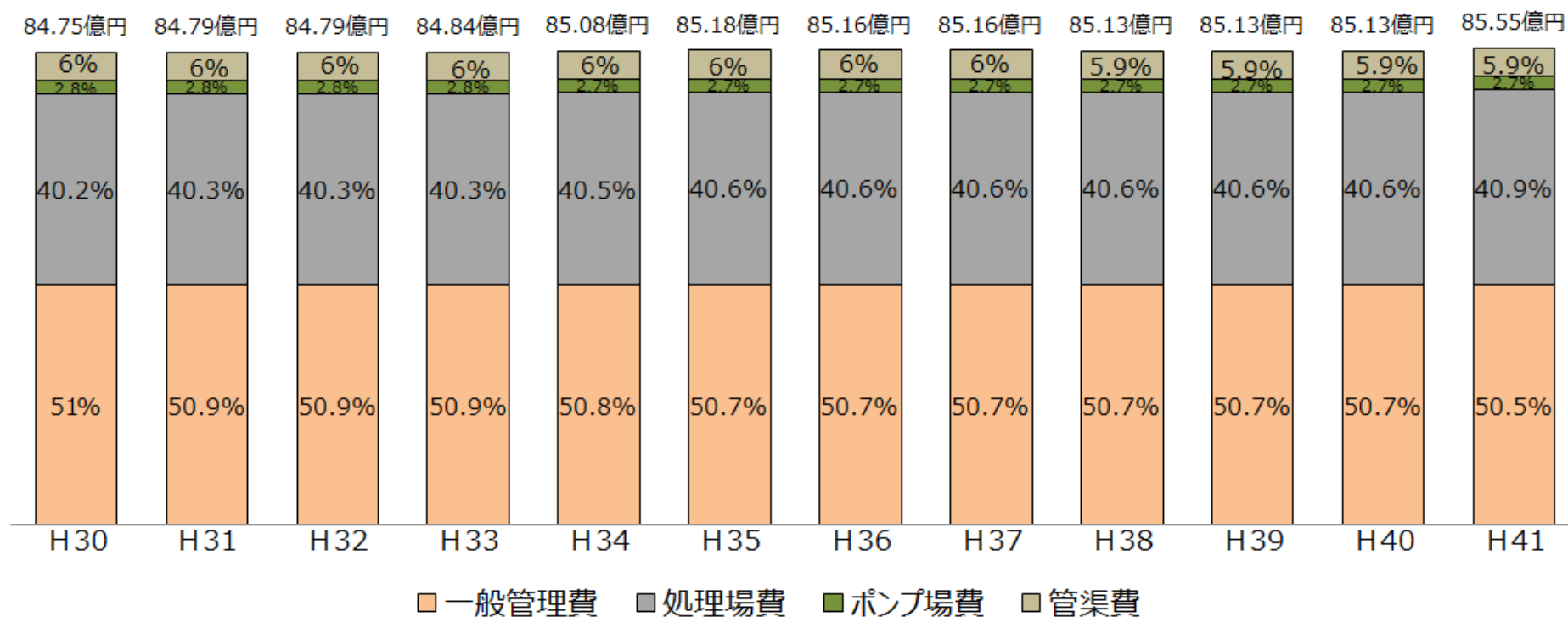
		H29 決算	H28 決算	増減
収益	下水道使用料	188.6	187.0	1.6
	長期前受金戻入	100.7	102.2	▲1.5
	雨水処理補助金	36.6	38.2	▲1.6
	他会計補助金	6.2	6.5	▲0.3
	その他収益	4.1	4.0	0.1
	他会計負担金	0.7	1.2	▲0.5
	特別利益	9.0	10.2	▲1.2
	合計(A)	345.9	349.3	▲3.4
費用	維持管理費	87.4	83.2	4.2
	資本費	245.3	252.1	▲6.9
	減価償却費等	217.8	222.0	▲4.2
	支払利息	27.5	30.2	▲2.7
	特別損失	0.3	1.5	▲1.2
	合計(B)	333.0	336.9	▲3.9
当年度損益 (A)-(B)		12.9	12.4	0.5



(2) 維持管理費の見通し

ネットワーク幹線の活用による処理場の統廃合や民間活力の導入、買電電力量の削減、新技術の導入等により削減に努めているが、平成30年度以降、毎年85億円程度で推移する見込みである。

○維持管理費の見通し（平成30年度～平成41年度）

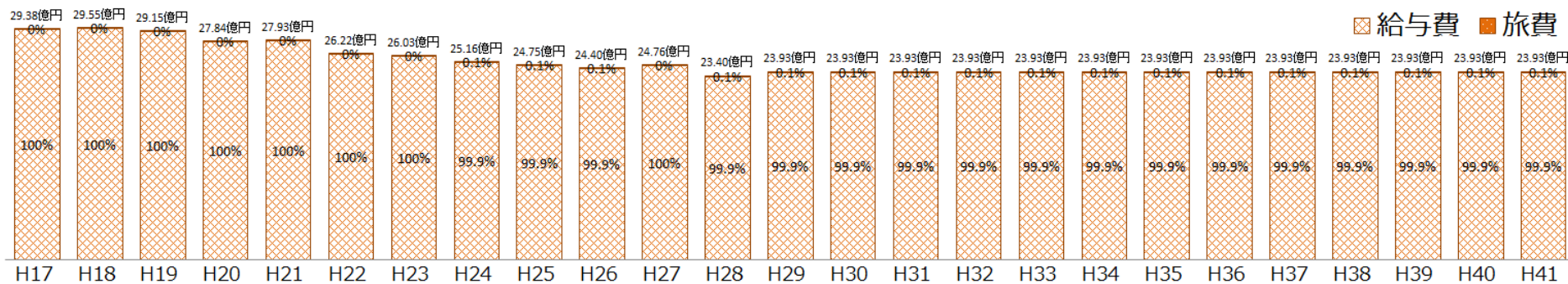


(3) 一般管理費の見直し

①総係費の見直し

総係費 23 億円の内訳は、給与費 23 億円(99.9%)、旅費百万円(0.1%)となっている。
 これまで業務の合理化・委託化などに取り組み、総係費の削減余地は小さくなっている。

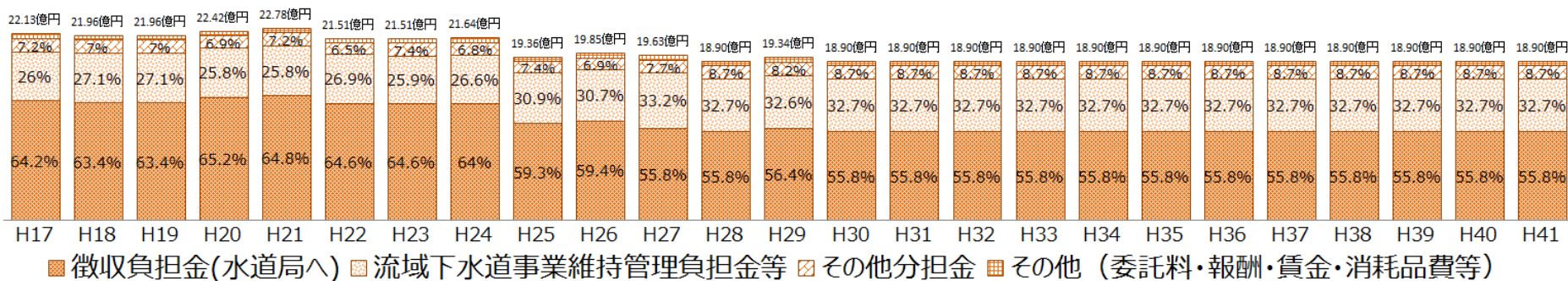
○総係費の見直し（平成 17 年度～平成 41 年度）



②業務費の見直し

業務費 18 億円の内訳は、水道局に支払う徴収負担金 10 億円(56%)、流域下水道事業維持管理負担金 6 億円(33%)、その他分担金 1 億円(9%)などの固定的経費が全体の 97%を占め、削減は難しい状況である。

○業務費の見直し（平成 17 年度～平成 41 年度）

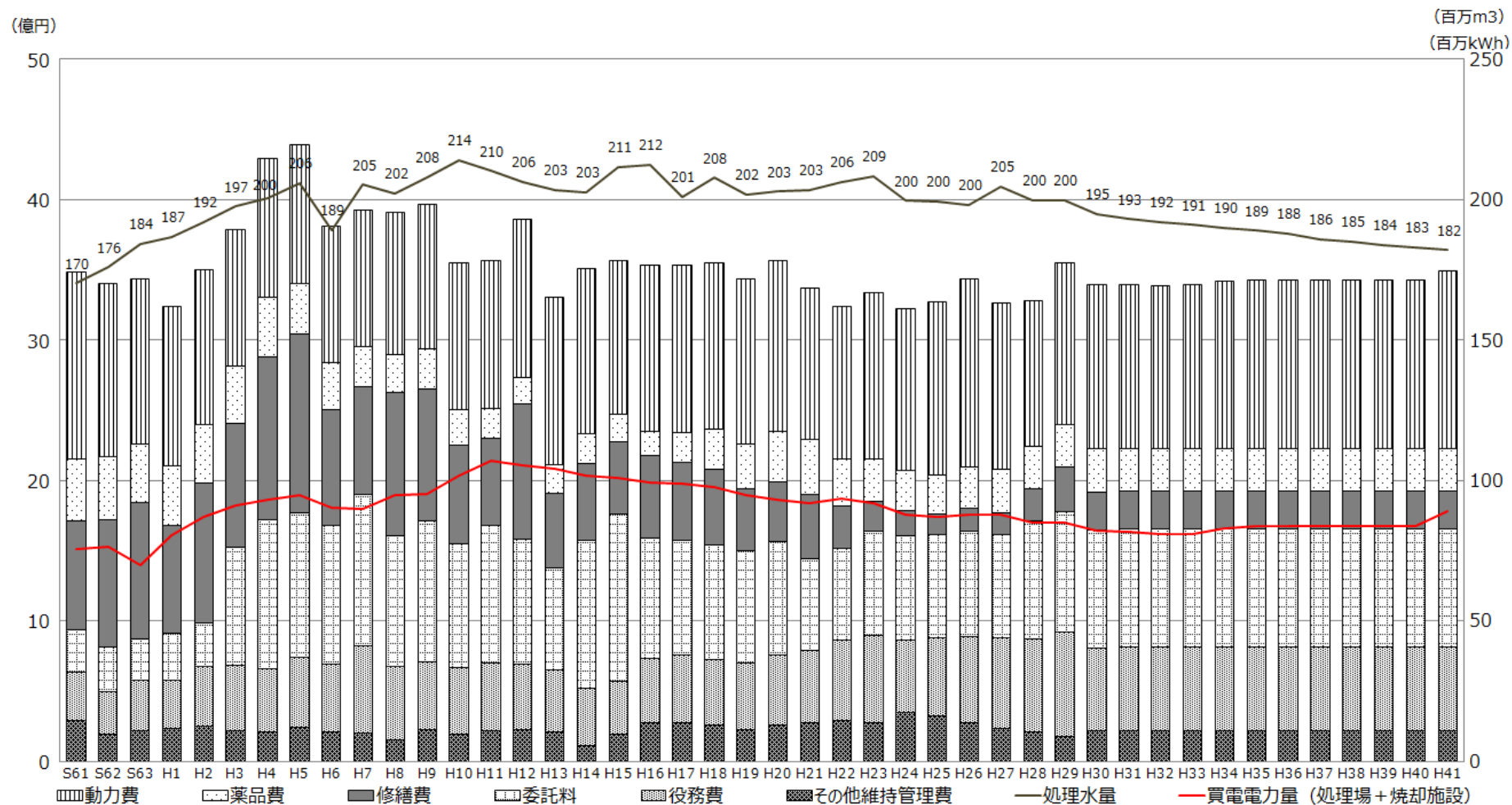


(4) 処理場費の見通し

① 処理場費と業務量の推移（前回改定[S61]以降）

処理場費については、電力費を含む動力費、修繕費を中心に削減に取り組んでいる。

○ 処理場費と業務量（処理水量）の見通し（前回改定[S61]以降）

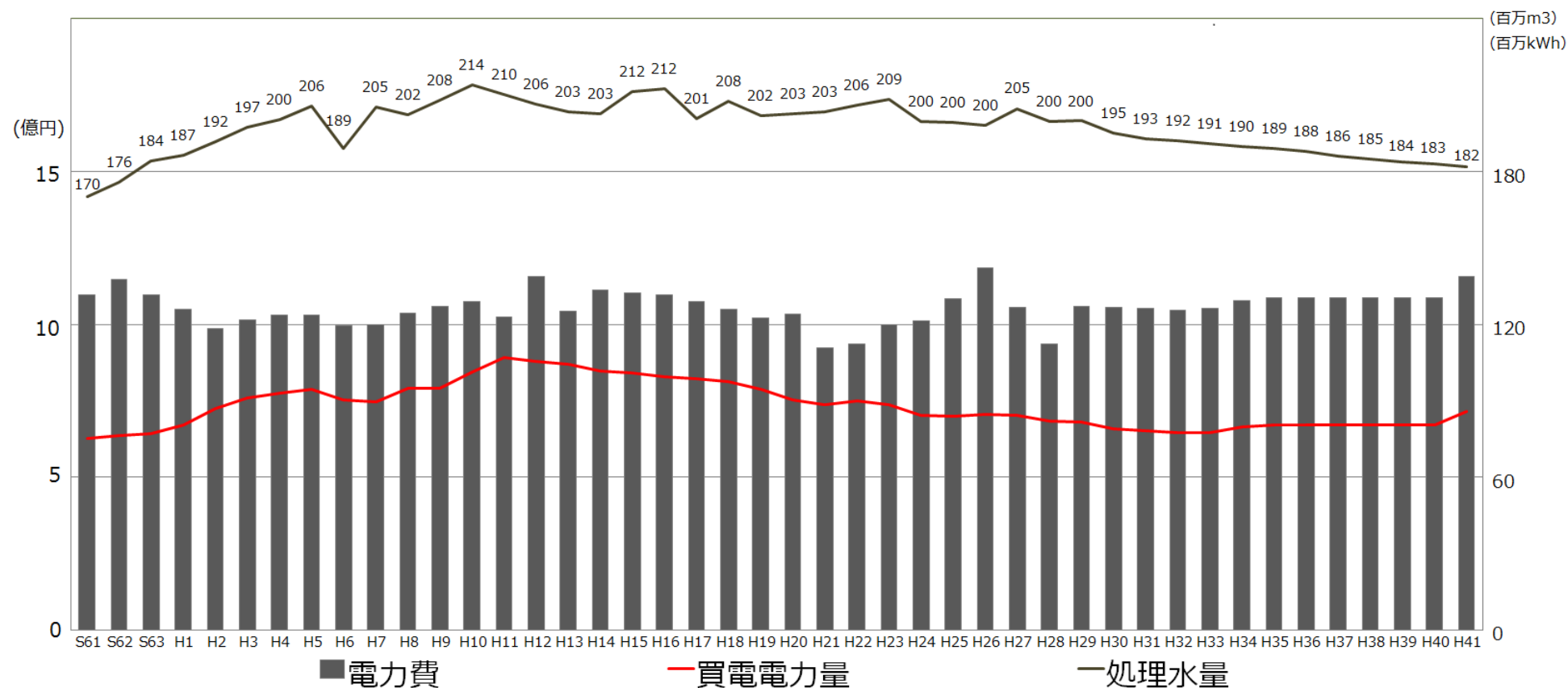


②電力費の見通し

契約電力の見直し、買電電力量の削減等により電力費の削減に努めているが、単価の変動もあり、今後は年間 10 億円程度必要と見込まれる。

処理水量の減少を予測しているが、今後 10 年間では系列単位での休止までには至らず、買電電力量の削減には繋がらない。

○電力費と業務量（処理水量）の見通し（前回改定[S61]以降）



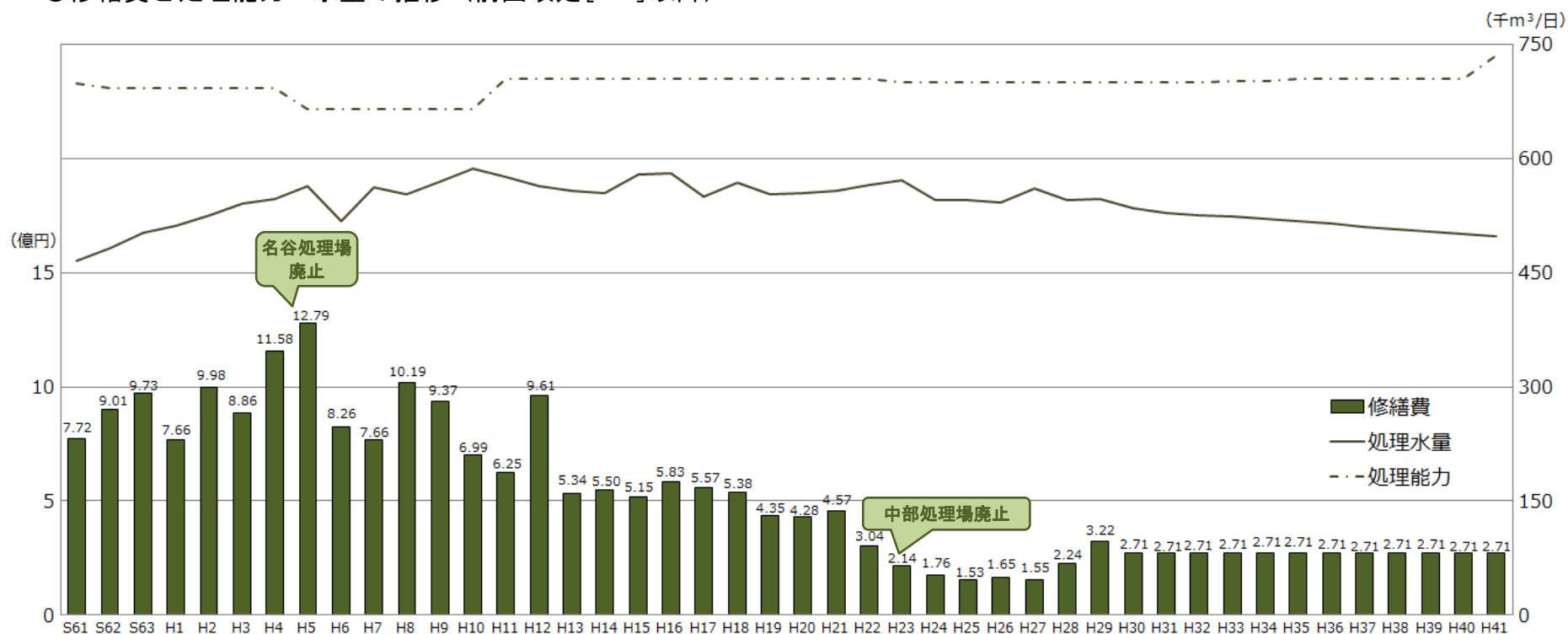
③処理場施設における修繕費の見通し

これまで、技術革新等に柔軟に対応し、故障・不具合発生の抑制を見込める設備を導入することにより低減を図ってきた。

その結果、修繕費の抑制が見込めるような設備の機種変更、材質変更は、概ね 10 年前までにはほぼ完了しており、当面の間は、これ以上の修繕費の低減は困難である。

今後、現在稼働している設備に対して、ライフサイクルコストを抑制しながら計画的に改築更新を進めるためには、標準耐用年数の 1.5 倍～2.0 倍の延命化を図る必要があり、過去 10 年間の平均程度の修繕費（約 3 億円）が必要と見込んでいる。

○修繕費と処理能力・水量の推移（前回改定[S61]以降）



5 下水道使用料の改定案

(1) 改定パターン案作成の前提条件

- ・基本水量（10 m³）を切り下げの場合は、5 m³もしくは6 m³とする。
- ・従量使用料の使用水量ランクについては、現行の8区分を基本とする。
- ・ただし、基本水量を切り下げの場合は、10 m³以下に従量使用料の水量ランクを1区分新設し、9区分とする。

(2) 改定パターン案

※C-5, D-5, E-3は第5回下水道専門部会で追加した案。

改定の内容	改定パターン案	改定パターン案の概要	10 m ³ 使用料(税抜) 20 m ³ 使用料(税抜)	増加額	改定率	政令市 順位
基本使用料のみ改定	A	基本使用料:600円(+130円、27.6%増)	600円	+130円	+27.6%	③
			1,580円	+130円	+8.9%	③
基本使用料と従量使用料を一定の比率で改定	B-1	基本使用料:503円(+33円、7.2%増[1円未満切捨て7.0%増]) 従量使用料:各区分単価を一律7.2%増	503円 1,553円	+33円 +103円	+7.0% +7.1%	① ③
	B-2	基本使用料:520円(+50円、10.6%増) 従量使用料:各区分単価を一律5.7%増	520円 1,550円	+50円 +100円	+10.6% +6.8%	① ③
基本水量を切り下げ (10 m ³ →5 m ³) 従量区分(6~10 m ³)の 単価新設	C-1	基本水量:5 m ³ 、基本使用料:484円(+14円、3.1%増[1円未満切捨て2.9%増]) 従量使用料:6~10 m ³ 新設 20円/m ³ 、各区分は一律3.1%増	584円 1,594円	+114円 +144円	+24.2% +9.9%	③ ③
	C-2	基本水量:5 m ³ 、基本使用料:470円(±0円) 従量使用料:6~10 m ³ 新設 20円/m ³ 、各区分は一律4.1%増	570円 1,590円	+100円 +140円	+21.2% +9.6%	③ ③
	C-3	基本水量:5 m ³ 、基本使用料:500円(+30円、+6.3%) 従量使用料:6~10 m ³ 新設 20円/m ³ 、最高ランクを除き一律2.1%増	600円 1,600円	+130円 +150円	+27.6% +10.3%	③ ③
	C-4	基本水量:5 m ³ 、基本使用料:500円(+30円、+6.3%) 従量使用料:6~10 m ³ 新設 20円/m ³ 、11~50 m ³ を一律4.1%増	600円 1,620円	+130円 +170円	+27.6% +11.7%	③ ③
	改定案 C-5	基本水量:5 m ³ 、基本使用料:500円(+30円、+6.3%) 従量使用料:6~10 m ³ 新設 20円/m ³ 、各区分は一律2.0%増	600円 1,600円	+130円 +150円	+27.6% +10.3%	③ ③

改定の内容	改定パターン案	改定パターン案の概要	10 m ³ 使用料(税抜) 20 m ³ 使用料(税抜)	増加額	改定率	政令市 順位
基本水量を切り下げ (10 m ³ →6 m ³) 従量区分(7～10 m ³)の 単価新設	D-1	基本水量:6 m ³ 、基本使用料:489 円(+19 円、4.1%増[1 円未満切捨て 4.0%増]) 従量使用料:7～10 m ³ 新設 20 円/m ³ 、各区分は一律 4.1%増	569 円 1,589 円	+ 99 円 +139 円	+21.0% +9.5%	③ ③
	D-2	基本水量:6 m ³ 、基本使用料:470 円(±0 円) 従量使用料:7～10 m ³ を新設 20 円/m ³ 、各区分は一律 5.3%増	550 円 1,580 円	+ 80 円 +130 円	+17.0% +8.9%	① ③
	D-3	基本水量:6 m ³ 、基本使用料:500 円(+30 円、+6.3%) 従量使用料:7～10 m ³ 新設 20 円/m ³ 、最高ランクを除き一律 4.0%増	580 円 1,590 円	+110 円 +140 円	+23.4% +9.6%	③ ③
	D-4	基本水量:6 m ³ 、基本使用料:500 円(+30 円、+6.3%) 従量使用料:7～10 m ³ を新設 20 円/m ³ 、11～50 m ³ を一律 7.2%増	580 円 1,630 円	+110 円 +180 円	+23.4% +12.4%	③ ③
	D-5	基本水量:6 m ³ 、基本使用料:500 円(+30 円、+6.3%) 従量使用料:7～10 m ³ を新設 20 円/m ³ 、各区分は一律 3.1%増	580 円 1,590 円	+110 円 +140 円	+23.4% +9.6%	③ ③
基本水量廃止 (10 m ³ →0 m ³) 従量区分(1～10 m ³)の 単価新設	E-1	基本水量廃止、基本使用料:470 円(±0 円) 従量使用料:1～10 m ³ 新設:16 円、各区分は現況固定	630 円 1,610 円	+160 円 +160 円	+34.0% +11.0%	④ ③
	E-2	基本水量廃止、基本使用料:470 円(±0 円) 従量使用料:1～10 m ³ を新設 10 円/m ³ 、各区分は一律 3.3%増	570 円 1,580 円	+100 円 +130 円	+21.2% +8.9%	③ ③
	E-3	基本水量廃止、基本使用料:500 円(+30 円、+6.3%) 従量使用料:1～10 m ³ を新設 10 円/m ³ 、各区分は一律 1.1%増	600 円 1,590 円	+130 円 +140 円	+27.6% +9.6%	③ ③

(3) 改定パターン案詳細

改定パターン		基本使用料 (税抜)		従量使用料 (税抜)				下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																								
	A 基本水量: 10 m ³ 基本使用料のみ改定 基本使用料: 27.6%増 470 円→600 円(+130 円)	従量区分別単価: 現況固定		<table border="1"> <tr> <td>11 m³~30 m³</td> <td>×98 円/m³</td> <td>×98 円/m³</td> </tr> <tr> <td>31 m³~50 m³</td> <td>×128 円/m³</td> <td>×128 円/m³</td> </tr> <tr> <td>51 m³~100 m³</td> <td>×152 円/m³</td> <td>×152 円/m³</td> </tr> <tr> <td>101 m³~200 m³</td> <td>×183 円/m³</td> <td>×183 円/m³</td> </tr> <tr> <td>201 m³~500 m³</td> <td>×215 円/m³</td> <td>×215 円/m³</td> </tr> <tr> <td>501 m³~1,000 m³</td> <td>×230 円/m³</td> <td>×230 円/m³</td> </tr> <tr> <td>1,001 m³~2,000 m³</td> <td>×245 円/m³</td> <td>×245 円/m³</td> </tr> <tr> <td>2,001 m³~</td> <td>×260 円/m³</td> <td>×260 円/m³</td> </tr> </table>				11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×98 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×128 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×152 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×183 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×215 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×230 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×245 円/m ³	2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×260 円/m ³	1 m ³ : 600 円 (+130 円)⑤ 5 m ³ : 600 円 (+130 円)④ 6 m ³ : 600 円 (+130 円)④ 10 m ³ : 600 円 (+130 円)③ 20 m ³ : 1,580 円 (+130 円)③ 30 m ³ : 2,560 円 (+130 円)③ 40 m ³ : 3,840 円 (+130 円)③ 50 m ³ : 5,120 円 (+130 円)③ 100 m ³ : 12,720 円 (+130 円)③ 200 m ³ : 31,020 円 (+130 円)④ 500 m ³ : 95,520 円 (+130 円)⑦ 1,000 m ³ : 210,520 円 (+130 円)⑦ 2,000 m ³ : 455,520 円 (+130 円)⑦ 10,000 m ³ : 2,535,520 円 (+130 円)⑧
		11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×98 円/m ³																												
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×128 円/m ³																														
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×152 円/m ³																														
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×183 円/m ³																														
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×215 円/m ³																														
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×230 円/m ³																														
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×245 円/m ³																														
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×260 円/m ³																														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #c8e6c9;"> 基本使用料 600 円(税抜) 27.6%増(+130 円) </div>																																
排除汚水量区分		平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案A																										
		延戸数 (水栓数×12 月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増 加額(円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																						
基本水量	10 m ³ 以下	9,619,947	76,079,490	470	4,521,375,090	600	130	27.6%	5,771,968,200	1,250,593,110																						
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	98	0	0.0%	4,663,811,670	0																						
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	128	0	0.0%	521,661,056	0																						
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	152	0	0.0%	557,958,104	0																						
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	183	0	0.0%	794,767,353	0																						
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	215	0	0.0%	1,399,854,035	0																						
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	230	0	0.0%	1,145,319,500	0																						
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	245	0	0.0%	1,159,358,375	0																						
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	260	0	0.0%	2,655,020,160	0																						
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,669,718,453	1,250,593,110																						

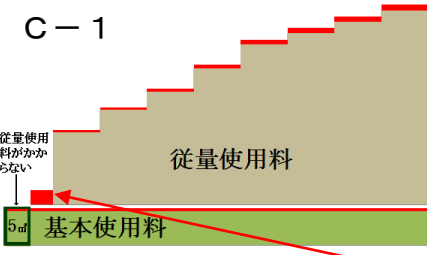
(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン		基本使用料 (税抜)		従量使用料 (税抜)				下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																					
<p>B-1</p> <p>従量使用料がかわらない</p> <p>10m³ 基本使用料</p> <p>従量使用料</p>		基本水量: 10 m ³ 基本使用料: 7.2%増 (1円未満切捨てにより 7.0%増) 470円→503円(+33円)		従量区分別単価: 各区分単価を一律 7.2%増(1円未満切捨てにより 6.5~7.1%増)				1 m ³ : 503円 (+33円)① 5 m ³ : 503円 (+33円)① 6 m ³ : 503円 (+33円)① 10 m ³ : 503円 (+33円)① 20 m ³ : 1,553円 (+103円)③ 30 m ³ : 2,603円 (+173円)③ 40 m ³ : 3,973円 (+263円)③ 50 m ³ : 5,343円 (+353円)③ 100 m ³ : 13,443円 (+853円)④ 200 m ³ : 33,043円 (+2,153円)⑥ 500 m ³ : 102,043円 (+6,653円)⑦ 1,000 m ³ : 225,043円 (+14,653円)⑦ 2,000 m ³ : 487,043円 (+31,653円)⑦ 10,000 m ³ : 2,711,043円 (+175,653円)⑧																					
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #c8e6c9;"> 基本使用料 503円(税抜) 7.0%増(+33円) </div>		<table border="1"> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98 円/m³</td><td>×105 円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128 円/m³</td><td>×137 円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152 円/m³</td><td>×162 円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183 円/m³</td><td>×196 円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215 円/m³</td><td>×230 円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230 円/m³</td><td>×246 円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245 円/m³</td><td>×262 円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260 円/m³</td><td>×278 円/m³</td></tr> </table>				11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×105 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×137 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×162 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×196 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×230 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×246 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×262 円/m ³	2,001 m ³ ~
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×105 円/m ³																											
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×137 円/m ³																											
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×162 円/m ³																											
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×196 円/m ³																											
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×230 円/m ³																											
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×246 円/m ³																											
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×262 円/m ³																											
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×278 円/m ³																											
排除汚水量区分		平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案B-1																							
		延戸数 (水栓数×12月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	10 m ³ 以下	9,619,947	76,079,490	470	4,521,375,090	503	33	7.0%	4,838,833,341	317,458,251																			
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	105	7	7.1%	4,996,941,075	333,129,405																			
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	137	9	7.0%	558,340,349	36,679,293																			
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	162	10	6.5%	594,665,874	36,707,770																			
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	196	13	7.1%	851,226,236	56,458,883																			
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	230	15	6.9%	1,497,518,270	97,664,235																			
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	246	16	6.9%	1,224,993,900	79,674,400																			
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	262	17	6.9%	1,239,803,650	80,445,275																			
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	278	18	6.9%	2,838,829,248	183,809,088																			
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,641,151,943	1,222,026,600																			

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン		基本使用料 (税抜)		従量使用料 (税抜)				下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
		基本水量: 10 m ³ 基本使用料: 10.6%増 470 円→520 円(+50 円)		従量区分別単価: 各区分単価を一律 5.7%増(1 円未満切捨てにより 5.1~5.6%増)				1 m ³ : 520 円 (+ 50 円)① 5 m ³ : 520 円 (+ 50 円)① 6 m ³ : 520 円 (+ 50 円)① 10 m ³ : 520 円 (+ 50 円)① 20 m ³ : 1,550 円 (+100 円)③ 30 m ³ : 2,580 円 (+150 円)③ 40 m ³ : 3,930 円 (+220 円)③ 50 m ³ : 5,280 円 (+290 円)③ 100 m ³ : 13,280 円 (+690 円)④ 200 m ³ : 32,580 円 (+1,690 円)④ 500 m ³ : 100,680 円 (+5,290 円)⑦ 1,000 m ³ : 222,180 円 (+11,790 円)⑦ 2,000 m ³ : 480,180 円 (+24,790 円)⑦ 10,000 m ³ : 2,672,180 円 (+136,790 円)⑧																									
				<table border="1"> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98 円/m³</td><td>×103 円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128 円/m³</td><td>×135 円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152 円/m³</td><td>×160 円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183 円/m³</td><td>×193 円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215 円/m³</td><td>×227 円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230 円/m³</td><td>×243 円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245 円/m³</td><td>×258 円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260 円/m³</td><td>×274 円/m³</td></tr> </table>		11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×103 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×135 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×160 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×193 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×227 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×243 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×258 円/m ³	2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×274 円/m ³				
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×103 円/m ³																															
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×135 円/m ³																															
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×160 円/m ³																															
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×193 円/m ³																															
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×227 円/m ³																															
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×243 円/m ³																															
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×258 円/m ³																															
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×274 円/m ³																															
排除汚水量区分		平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案B-2																											
		延戸数 (水栓数×12 月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																							
基本水量	10 m ³ 以下	9,619,947	76,079,490	470	4,495,495,950	520	50	10.6%	5,002,372,440	480,997,350																							
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,730,222,742	103	5	5.1%	4,901,761,245	237,949,575																							
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	547,960,576	135	7	5.4%	550,189,395	28,528,339																							
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	567,897,688	160	8	5.2%	587,324,320	29,366,216																							
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	802,352,154	193	10	5.4%	838,197,263	43,429,910																							
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,411,324,285	227	12	5.5%	1,477,985,423	78,131,388																							
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,155,815,780	243	13	5.6%	1,210,054,950	64,735,450																							
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,166,432,260	258	13	5.3%	1,220,875,350	61,516,975																							
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,672,393,880	274	14	5.3%	2,797,982,784	142,962,624																							
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,549,895,315	—	—	—	18,586,743,170	1,167,617,827																							

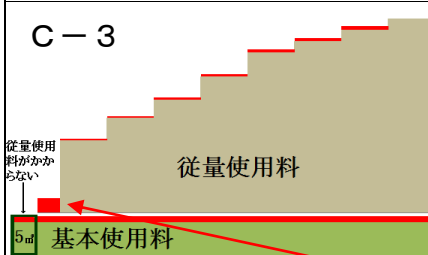
(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																															
C-1 	基本水量切り下げ: 10→5 m ³ 基本使用料:3.1%増 (1円未満切捨てにより 2.9%増) 470円→484円(+14円)	従量区分別単価:6~10 m ³ 新設 20円/m ³ 、各区分は 一律 3.1%増(1円未満切捨てにより 2.3~3.0%増)	1 m ³ : 484円 (+34円)① 5 m ³ : 484円 (+34円)① 6 m ³ : 504円 (+34円)① 10 m ³ : 584円 (+114円)③ 20 m ³ : 1,594円 (+144円)③ 30 m ³ : 2,604円 (+174円)③ 40 m ³ : 3,914円 (+204円)③ 50 m ³ : 5,224円 (+234円)③ 100 m ³ : 13,024円 (+434円)③ 200 m ³ : 31,824円 (+934円)④ 500 m ³ : 98,124円 (+2,734円)⑦ 1,000 m ³ : 216,624円 (+6,234円)⑦ 2,000 m ³ : 468,624円 (+13,234円)⑦ 10,000 m ³ : 2,612,624円 (+77,234円)⑧																															
	6 m ³ から従量使用料がかかる→ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> </table> 従量使用料(1 m ³ 当たり 20円)	6	7	8	9	10	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>6 m³~10 m³</td><td>—</td><td>×20円/m³</td></tr> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98円/m³</td><td>×101円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128円/m³</td><td>×131円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152円/m³</td><td>×156円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183円/m³</td><td>×188円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215円/m³</td><td>×221円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230円/m³</td><td>×237円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245円/m³</td><td>×252円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260円/m³</td><td>×268円/m³</td></tr> </table>	6 m ³ ~10 m ³	—	×20円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98円/m ³	×101円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128円/m ³	×131円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152円/m ³	×156円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183円/m ³	×188円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215円/m ³	×221円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230円/m ³	×237円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245円/m ³	×252円/m ³	2,001 m ³ ~	×260円/m ³	×268円/m ³
6	7	8	9	10																														
6 m ³ ~10 m ³	—	×20円/m ³																																
11 m ³ ~30 m ³	×98円/m ³	×101円/m ³																																
31 m ³ ~50 m ³	×128円/m ³	×131円/m ³																																
51 m ³ ~100 m ³	×152円/m ³	×156円/m ³																																
101 m ³ ~200 m ³	×183円/m ³	×188円/m ³																																
201 m ³ ~500 m ³	×215円/m ³	×221円/m ³																																
501 m ³ ~1,000 m ³	×230円/m ³	×237円/m ³																																
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245円/m ³	×252円/m ³																																
2,001 m ³ ~	×260円/m ³	×268円/m ³																																
基本使用料 484円(税抜) 3.0%増(+14円)																																		
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案C-1																													
	延戸数 (水栓数×12月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																									
基本水量	5 m ³ 以下	9,619,947	42,660,052	470	4,495,495,950	484	14	2.9%	4,656,054,348	134,679,258																								
水量区分0	6 m ³ ~10 m ³	—	33,419,438	—	—	20	新設	新設	668,388,760	668,388,760																								
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,730,222,742	101	3	3.0%	4,806,581,415	142,769,745																								
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	547,960,576	131	3	2.3%	533,887,487	12,226,431																								
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	567,897,688	156	4	2.6%	572,641,212	14,683,108																								
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	802,352,154	188	5	2.7%	816,482,308	21,714,955																								
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,411,324,285	221	6	2.7%	1,438,919,729	39,065,694																								
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,155,815,780	237	7	3.0%	1,180,177,050	34,857,550																								
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,166,432,260	252	7	2.8%	1,192,482,900	33,124,525																								
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,672,393,880	268	8	3.0%	2,736,713,088	81,692,928																								
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,549,895,315	—	—	—	18,602,328,297	1,183,202,954																								

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
C-2 	基本水量切り下げ: 10→5 m ³ 基本使用料: 現況固定 470 円→470 円(±0 円)	従量区分別単価: 6~10 m ³ 新設 20 円/m ³ 、各区分は 一律 4.1%増(1 円未満切捨てにより 3.7~4.0%増)	1 m ³ : 470 円 (± 0 円)① 5 m ³ : 470 円 (± 0 円)① 6 m ³ : 490 円 (+ 20 円)① 10 m ³ : 570 円 (+100 円)③ 20 m ³ : 1,590 円 (+140 円)③ 30 m ³ : 2,610 円 (+180 円)③ 40 m ³ : 3,940 円 (+230 円)③ 50 m ³ : 5,270 円 (+280 円)③ 100 m ³ : 13,170 円 (+580 円)③ 200 m ³ : 32,170 円 (+1,280 円)④ 500 m ³ : 99,070 円 (+3,680 円)⑦ 1,000 m ³ : 218,570 円 (+8,180 円)⑦ 2,000 m ³ : 473,570 円 (+18,180 円)⑦ 10,000 m ³ : 2,633,570 円 (+98,180 円)⑧																									
		<table border="1"> <tr><td>6 m³~10 m³</td><td>—</td><td>×20 円/m³</td></tr> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98 円/m³</td><td>×102 円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128 円/m³</td><td>×133 円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152 円/m³</td><td>×158 円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183 円/m³</td><td>×190 円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215 円/m³</td><td>×223 円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230 円/m³</td><td>×239 円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245 円/m³</td><td>×255 円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260 円/m³</td><td>×270 円/m³</td></tr> </table>	6 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×102 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×133 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×158 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×190 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×223 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×239 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×255 円/m ³	2,001 m ³ ~	×260 円/m ³
6 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³																										
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×102 円/m ³																										
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×133 円/m ³																										
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×158 円/m ³																										
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×190 円/m ³																										
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×223 円/m ³																										
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×239 円/m ³																										
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×255 円/m ³																										
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×270 円/m ³																										
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案 C-2																							
	延戸数 (水栓数×12 月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	5 m ³ 以下	9,619,947	42,660,052	470	4,521,375,090	470	0	0.0%	4,521,375,090	0																		
水量区分0	6 m ³ ~10 m ³	—	33,419,438	—	—	20	新設	新設	668,388,760	668,388,760																		
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	102	4	4.0%	4,854,171,330	190,359,660																		
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	133	5	3.9%	542,038,441	20,377,385																		
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	158	6	3.9%	579,982,766	22,024,662																		
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	190	7	3.8%	825,168,290	30,400,937																		
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	223	8	3.7%	1,451,941,627	52,087,592																		
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	239	9	3.9%	1,190,136,350	44,816,850																		
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	255	10	4.0%	1,206,679,125	47,320,750																		
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	270	10	3.8%	2,757,136,320	102,116,160																		
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,597,018,099	1,177,892,756																		

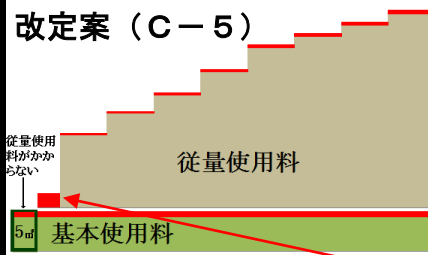
(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
C-3 	基本水量切り下げ: 10→5 m ³ 基本使用料:6.3%増 470 円→500 円(+30 円)	従量区分別単価:6~10 m ³ 新設 20 円/m ³ 、 最高ランクは現況固定、他区分は一律 2.1%増(1 円 未満切捨てにより 1.5~2.0%増)	1 m ³ : 500 円 (+ 30 円)① 5 m ³ : 500 円 (+ 30 円)① 6 m ³ : 520 円 (+ 50 円)① 10 m ³ : 600 円 (+130 円)③ 20 m ³ : 1,600 円 (+150 円)③ 30 m ³ : 2,600 円 (+170 円)③ 40 m ³ : 3,900 円 (+190 円)③ 50 m ³ : 5,200 円 (+210 円)③ 100 m ³ : 12,950 円 (+360 円)③ 200 m ³ : 31,550 円 (+660 円)④ 500 m ³ : 97,250 円 (+1,860 円)⑦ 1,000 m ³ : 214,250 円 (+3,860 円)⑦ 2,000 m ³ : 464,250 円 (+8,860 円)⑦ 10,000 m ³ : 2,544,250 円 (+8,860 円)⑧																									
		<table border="1"> <tr><td>6 m³~10 m³</td><td>—</td><td>×20 円/m³</td></tr> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98 円/m³</td><td>×100 円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128 円/m³</td><td>×130 円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152 円/m³</td><td>×155 円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183 円/m³</td><td>×186 円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215 円/m³</td><td>×219 円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230 円/m³</td><td>×234 円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245 円/m³</td><td>×250 円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260 円/m³</td><td>×260 円/m³</td></tr> </table>	6 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×100 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×130 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×155 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×186 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×219 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×234 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×250 円/m ³	2,001 m ³ ~	×260 円/m ³
6 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³																										
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×100 円/m ³																										
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×130 円/m ³																										
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×155 円/m ³																										
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×186 円/m ³																										
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×219 円/m ³																										
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×234 円/m ³																										
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×250 円/m ³																										
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×260 円/m ³																										
基本使用料 500 円(税抜) 6.3%増(+30 円)																												
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案C-3																							
	延戸数 (水栓数×12 月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	5 m ³ 以下	9,619,947	42,660,052	470	4,521,375,090	500	30	6.3%	4,809,973,500	288,598,410																		
水量区分0	6 m ³ ~10 m ³	—	33,419,438	—	—	20	新設	新設	668,388,760	668,388,760																		
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	100	2	2.0%	4,758,991,500	95,179,830																		
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	130	2	1.5%	529,812,010	8,150,954																		
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	155	3	1.9%	568,970,435	11,012,331																		
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	186	3	1.6%	807,796,326	13,028,973																		
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	219	4	1.8%	1,425,897,831	26,043,796																		
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	234	4	1.7%	1,165,238,100	19,918,600																		
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	250	5	2.0%	1,183,018,750	23,660,375																		
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	260	0	0.0%	2,655,020,160	0																		
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,573,107,372	1,153,982,029																		

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
C-4 	基本水量切り下げ: 10→5 m ³ 基本使用料:6.3%増 470 円→500 円(+30 円)	従量区分別単価:6~10 m ³ 新設 20 円/m ³ 、11~50 m ³ を一律 4.1%増(1 円未満切捨てにより 3.9~4.0%増)、51 m ³ 以上現況固定	1 m ³ : 500 円 (+ 30 円)① 5 m ³ : 500 円 (+ 30 円)① 6 m ³ : 520 円 (+ 50 円)① 10 m ³ : 600 円 (+130 円)③ 20 m ³ : 1,620 円 (+170 円)③ 30 m ³ : 2,640 円 (+210 円)③ 40 m ³ : 3,970 円 (+260 円)③ 50 m ³ : 5,300 円 (+310 円)③ 100 m ³ : 12,900 円 (+310 円)③ 200 m ³ : 31,200 円 (+310 円)④ 500 m ³ : 95,700 円 (+310 円)⑦ 1,000 m ³ : 210,700 円 (+310 円)⑦ 2,000 m ³ : 455,700 円 (+310 円)⑦ 10,000 m ³ : 2,535,700 円 (+310 円)⑧																									
		<table border="1"> <tr><td>6 m³~10 m³</td><td>—</td><td>×20 円/m³</td></tr> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98 円/m³</td><td>×102 円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128 円/m³</td><td>×133 円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152 円/m³</td><td>×152 円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183 円/m³</td><td>×183 円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215 円/m³</td><td>×215 円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230 円/m³</td><td>×230 円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245 円/m³</td><td>×245 円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260 円/m³</td><td>×260 円/m³</td></tr> </table>	6 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×102 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×133 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×152 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×183 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×215 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×230 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×245 円/m ³	2,001 m ³ ~	×260 円/m ³
6 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³																										
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×102 円/m ³																										
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×133 円/m ³																										
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×152 円/m ³																										
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×183 円/m ³																										
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×215 円/m ³																										
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×230 円/m ³																										
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×245 円/m ³																										
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×260 円/m ³																										
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案C-4																							
	延戸数 (水栓数×12 月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	5 m ³ 以下	9,619,947	42,660,052	470	4,521,375,090	500	30	6.3%	4,809,973,500	288,598,410																		
水量区分0	6 m ³ ~10 m ³	—	33,419,438	—	—	20	新設	新設	668,388,760	668,388,760																		
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	102	4	4.0%	4,854,171,330	190,359,660																		
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	133	5	3.9%	542,038,441	20,377,385																		
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	152	0	0.0%	557,958,104	0																		
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	183	0	0.0%	794,767,353	0																		
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	215	0	0.0%	1,399,854,035	0																		
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	230	0	0.0%	1,145,319,500	0																		
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	245	0	0.0%	1,159,358,375	0																		
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	260	0	0.0%	2,655,020,160	0																		
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,586,849,558	1,167,724,215																		

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																														
改定案 (C-5) 	基本水量切り下げ: 10→5 m ³ 基本使用料:6.3%増 470 円→500 円(+30 円)	従量区分別単価:6~10 m ³ 新設 20 円/m ³ 、各区分は一律 2.0%増(1 円未満切捨てにより 1.5~2.0%増)	1 m ³ : 500 円 (+30 円)① 5 m ³ : 500 円 (+30 円)① 6 m ³ : 520 円 (+50 円)① 10 m ³ : 600 円 (+130 円)③ 20 m ³ : 1,600 円 (+150 円)③ 30 m ³ : 2,600 円 (+170 円)③ 40 m ³ : 3,900 円 (+190 円)③ 50 m ³ : 5,200 円 (+210 円)③ 100 m ³ : 12,950 円 (+360 円)③ 200 m ³ : 31,550 円 (+660 円)④ 500 m ³ : 97,250 円 (+1,860 円)⑦ 1,000 m ³ : 214,250 円 (+3,860 円)⑦ 2,000 m ³ : 463,250 円 (+7,860 円)⑦ 10,000 m ³ : 2,583,250 円 (+47,860 円)⑧																														
		6 m ³ から従量使用料がかかる→ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> </table> 従量使用料 (1 m ³ 当たり 20 円)	6	7	8	9	10	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>6 m³~10 m³</td><td>—</td><td>×20 円/m³</td> </tr> <tr> <td>11 m³~30 m³</td><td>×98 円/m³</td><td>×100 円/m³</td> </tr> <tr> <td>31 m³~50 m³</td><td>×128 円/m³</td><td>×130 円/m³</td> </tr> <tr> <td>51 m³~100 m³</td><td>×152 円/m³</td><td>×155 円/m³</td> </tr> <tr> <td>101 m³~200 m³</td><td>×183 円/m³</td><td>×186 円/m³</td> </tr> <tr> <td>201 m³~500 m³</td><td>×215 円/m³</td><td>×219 円/m³</td> </tr> <tr> <td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230 円/m³</td><td>×234 円/m³</td> </tr> <tr> <td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245 円/m³</td><td>×249 円/m³</td> </tr> <tr> <td>2,001 m³~</td><td>×260 円/m³</td><td>×265 円/m³</td> </tr> </table>	6 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×100 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×130 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×155 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×186 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×219 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×234 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×249 円/m ³	2,001 m ³ ~
6	7	8	9	10																													
6 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³																															
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×100 円/m ³																															
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×130 円/m ³																															
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×155 円/m ³																															
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×186 円/m ³																															
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×219 円/m ³																															
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×234 円/m ³																															
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×249 円/m ³																															
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×265 円/m ³																															
基本使用料 500 円(税抜) 6.3%増(+30 円)																																	

排除汚水量区分		平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案C-5				
		延戸数 (水栓数×12 月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)
基本水量	5 m ³ 以下	9,619,947	42,660,052	470	4,521,375,090	500	30	6.3%	4,809,973,500	288,598,410
水量区分0	6 m ³ ~10 m ³	—	33,419,438	—	—	20	新設	新設	668,388,760	668,388,760
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	100	2	2.0%	4,758,991,500	95,179,830
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	130	2	1.5%	529,812,010	8,150,954
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	155	3	1.9%	568,970,435	11,012,331
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	186	3	1.6%	807,796,326	13,028,973
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	219	4	1.8%	1,425,897,831	26,043,796
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	234	4	1.7%	1,165,238,100	19,918,600
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	249	4	1.6%	1,178,286,675	18,928,300
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	265	5	1.9%	2,706,078,240	51,058,080
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,619,433,377	1,200,308,034

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
D-1 	基本水量切り下げ: 10→6 m³ 基本使用料:4.1%増 (1円未満切捨てにより 4.0%増) 470円→489円(+19円)	従量区分別単価:7~10 m³新設 20円/m³、各区分は 一律 4.1%増(1円未満切捨てにより 3.7~4.0%増)	1 m³: 489円 (+19円)① 5 m³: 489円 (+19円)① 6 m³: 489円 (+19円)① 10 m³: 569円 (+99円)① 20 m³: 1,589円 (+139円)③ 30 m³: 2,609円 (+179円)③ 40 m³: 3,939円 (+229円)③ 50 m³: 5,269円 (+279円)③ 100 m³: 13,169円 (+579円)③ 200 m³: 32,169円 (+1,279円)④ 500 m³: 99,069円 (+3,679円)⑦ 1,000 m³: 218,569円 (+8,179円)⑦ 2,000 m³: 473,569円 (+18,179円)⑦ 10,000 m³: 2,633,569円 (+98,179円)⑧																									
		<table border="1"> <tr> <td>7 m³~10 m³</td> <td>—</td> <td>×20円/m³</td> </tr> <tr> <td>11 m³~30 m³</td> <td>×98円/m³</td> <td>×102円/m³</td> </tr> <tr> <td>31 m³~50 m³</td> <td>×128円/m³</td> <td>×133円/m³</td> </tr> <tr> <td>51 m³~100 m³</td> <td>×152円/m³</td> <td>×158円/m³</td> </tr> <tr> <td>101 m³~200 m³</td> <td>×183円/m³</td> <td>×190円/m³</td> </tr> <tr> <td>201 m³~500 m³</td> <td>×215円/m³</td> <td>×223円/m³</td> </tr> <tr> <td>501 m³~1,000 m³</td> <td>×230円/m³</td> <td>×239円/m³</td> </tr> <tr> <td>1,001 m³~2,000 m³</td> <td>×245円/m³</td> <td>×255円/m³</td> </tr> <tr> <td>2,001 m³~</td> <td>×260円/m³</td> <td>×270円/m³</td> </tr> </table>	7 m³~10 m³	—	×20円/m³	11 m³~30 m³	×98円/m³	×102円/m³	31 m³~50 m³	×128円/m³	×133円/m³	51 m³~100 m³	×152円/m³	×158円/m³	101 m³~200 m³	×183円/m³	×190円/m³	201 m³~500 m³	×215円/m³	×223円/m³	501 m³~1,000 m³	×230円/m³	×239円/m³	1,001 m³~2,000 m³	×245円/m³	×255円/m³	2,001 m³~	×260円/m³
7 m³~10 m³	—	×20円/m³																										
11 m³~30 m³	×98円/m³	×102円/m³																										
31 m³~50 m³	×128円/m³	×133円/m³																										
51 m³~100 m³	×152円/m³	×158円/m³																										
101 m³~200 m³	×183円/m³	×190円/m³																										
201 m³~500 m³	×215円/m³	×223円/m³																										
501 m³~1,000 m³	×230円/m³	×239円/m³																										
1,001 m³~2,000 m³	×245円/m³	×255円/m³																										
2,001 m³~	×260円/m³	×270円/m³																										
基本使用料 489円(税抜) 4.0%増(+19円)																												
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案D-1																							
	延戸数 (水栓数×12月)	有収水量(m³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	6 m³以下	9,619,947	50,156,165	470	4,521,375,090	489	19	4.0%	4,704,154,083	182,778,993																		
水量区分0	7 m³~10 m³	—	25,923,325	—	—	20	新設	新設	518,466,500	518,466,500																		
水量区分1	11 m³~30 m³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	102	4	4.0%	4,854,171,330	190,359,660																		
水量区分2	31 m³~50 m³	—	4,075,477	128	521,661,056	133	5	3.9%	542,038,441	20,377,385																		
水量区分3	51 m³~100 m³	—	3,670,777	152	557,958,104	158	6	3.9%	579,982,766	22,024,662																		
水量区分4	101 m³~200 m³	—	4,342,991	183	794,767,353	190	7	3.8%	825,168,290	30,400,937																		
水量区分5	201 m³~500 m³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	223	8	3.7%	1,451,941,627	52,087,592																		
水量区分6	501 m³~1,000 m³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	239	9	3.9%	1,190,136,350	44,816,850																		
水量区分7	1,001 m³~2,000 m³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	255	10	4.0%	1,206,679,125	47,320,750																		
水量区分8	2,001 m³~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	270	10	3.8%	2,757,136,320	102,116,160																		
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,629,874,832	1,210,749,489																		

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
D-2 	基本水量切り下げ: 10→6m ³ 基本使用料: 現況固定 470円→470円(±0円)	従量区分別単価: 7~10m ³ 新設 20円/m ³ 、各区分は 一律 5.3%増(1円未満切捨てにより 4.6~5.2%増)	1m ³ : 470円(±0円)① 5m ³ : 470円(±0円)① 6m ³ : 470円(±0円)① 10m ³ : 550円(+80円)① 20m ³ : 1,580円(+130円)③ 30m ³ : 2,610円(+180円)③ 40m ³ : 3,950円(+240円)③ 50m ³ : 5,290円(+300円)③ 100m ³ : 13,290円(+700円)④ 200m ³ : 32,490円(+1,600円)④ 500m ³ : 100,290円(+4,900円)⑦ 1,000m ³ : 221,290円(+10,900円)⑦ 2,000m ³ : 478,290円(+22,900円)⑦ 10,000m ³ : 2,662,290円(+126,900円)⑧																									
		<table border="1"> <tr><td>7m³~10m³</td><td>—</td><td>×20円/m³</td></tr> <tr><td>11m³~30m³</td><td>×98円/m³</td><td>×103円/m³</td></tr> <tr><td>31m³~50m³</td><td>×128円/m³</td><td>×134円/m³</td></tr> <tr><td>51m³~100m³</td><td>×152円/m³</td><td>×160円/m³</td></tr> <tr><td>101m³~200m³</td><td>×183円/m³</td><td>×192円/m³</td></tr> <tr><td>201m³~500m³</td><td>×215円/m³</td><td>×226円/m³</td></tr> <tr><td>501m³~1,000m³</td><td>×230円/m³</td><td>×242円/m³</td></tr> <tr><td>1,001m³~2,000m³</td><td>×245円/m³</td><td>×257円/m³</td></tr> <tr><td>2,001m³~</td><td>×260円/m³</td><td>×273円/m³</td></tr> </table>	7m ³ ~10m ³	—	×20円/m ³	11m ³ ~30m ³	×98円/m ³	×103円/m ³	31m ³ ~50m ³	×128円/m ³	×134円/m ³	51m ³ ~100m ³	×152円/m ³	×160円/m ³	101m ³ ~200m ³	×183円/m ³	×192円/m ³	201m ³ ~500m ³	×215円/m ³	×226円/m ³	501m ³ ~1,000m ³	×230円/m ³	×242円/m ³	1,001m ³ ~2,000m ³	×245円/m ³	×257円/m ³	2,001m ³ ~	×260円/m ³
7m ³ ~10m ³	—	×20円/m ³																										
11m ³ ~30m ³	×98円/m ³	×103円/m ³																										
31m ³ ~50m ³	×128円/m ³	×134円/m ³																										
51m ³ ~100m ³	×152円/m ³	×160円/m ³																										
101m ³ ~200m ³	×183円/m ³	×192円/m ³																										
201m ³ ~500m ³	×215円/m ³	×226円/m ³																										
501m ³ ~1,000m ³	×230円/m ³	×242円/m ³																										
1,001m ³ ~2,000m ³	×245円/m ³	×257円/m ³																										
2,001m ³ ~	×260円/m ³	×273円/m ³																										
基本使用料 470円(税抜)																												
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案D-2																							
	延戸数 (水栓数×12月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	6m ³ 以下	9,619,947	50,156,165	470	4,521,375,090	470	0	0.0%	4,521,375,090	0																		
水量区分0	7m ³ ~10m ³	—	25,923,325	—	—	20	新設	新設	518,466,500	518,466,500																		
水量区分1	11m ³ ~30m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	103	5	5.1%	4,901,761,245	237,949,575																		
水量区分2	31m ³ ~50m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	134	6	4.6%	546,113,918	24,452,862																		
水量区分3	51m ³ ~100m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	160	8	5.2%	587,324,320	29,366,216																		
水量区分4	101m ³ ~200m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	192	9	4.9%	833,854,272	39,086,919																		
水量区分5	201m ³ ~500m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	226	11	5.1%	1,471,474,474	71,620,439																		
水量区分6	501m ³ ~1,000m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	242	12	5.2%	1,205,075,300	59,755,800																		
水量区分7	1,001m ³ ~2,000m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	257	12	4.8%	1,216,143,275	56,784,900																		
水量区分8	2,001m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	273	13	5.0%	2,787,771,168	132,751,008																		
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,589,359,562	1,170,234,219																		

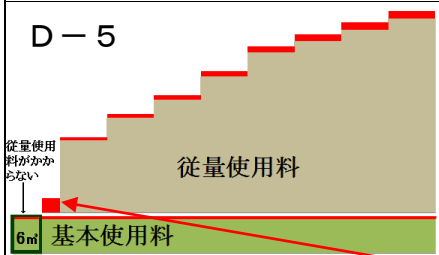
(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
D-3 	基本水量切り下げ: 10→6m ³ 基本使用料:6.3%増 470円→500円(+30円)	従量区分別単価:7~10 m ³ 新設 20円/m ³ 、 最高ランクは現況固定、他区分は一律 4.0%増(1円 未満切捨てにより3.0~3.9%増)	1 m ³ : 500円 (+30円)① 5 m ³ : 500円 (+30円)① 6 m ³ : 500円 (+30円)① 10 m ³ : 580円 (+110円)③ 20 m ³ : 1,590円 (+140円)③ 30 m ³ : 2,600円 (+170円)③ 40 m ³ : 3,930円 (+220円)③ 50 m ³ : 5,260円 (+270円)③ 100 m ³ : 13,160円 (+570円)③ 200 m ³ : 32,160円 (+1,270円)④ 500 m ³ : 99,060円 (+3,670円)⑦ 1,000 m ³ : 218,560円 (+8,170円)⑦ 2,000 m ³ : 472,560円 (+17,170円)⑦ 10,000 m ³ : 2,552,560円 (+17,170円)⑧																									
		<table border="1"> <tr><td>7 m³~10 m³</td><td>—</td><td>×20円/m³</td></tr> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98円/m³</td><td>×101円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128円/m³</td><td>×133円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152円/m³</td><td>×158円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183円/m³</td><td>×190円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215円/m³</td><td>×223円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230円/m³</td><td>×239円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245円/m³</td><td>×254円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260円/m³</td><td>×260円/m³</td></tr> </table>	7 m ³ ~10 m ³	—	×20円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98円/m ³	×101円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128円/m ³	×133円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152円/m ³	×158円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183円/m ³	×190円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215円/m ³	×223円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230円/m ³	×239円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245円/m ³	×254円/m ³	2,001 m ³ ~	×260円/m ³
7 m ³ ~10 m ³	—	×20円/m ³																										
11 m ³ ~30 m ³	×98円/m ³	×101円/m ³																										
31 m ³ ~50 m ³	×128円/m ³	×133円/m ³																										
51 m ³ ~100 m ³	×152円/m ³	×158円/m ³																										
101 m ³ ~200 m ³	×183円/m ³	×190円/m ³																										
201 m ³ ~500 m ³	×215円/m ³	×223円/m ³																										
501 m ³ ~1,000 m ³	×230円/m ³	×239円/m ³																										
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245円/m ³	×254円/m ³																										
2,001 m ³ ~	×260円/m ³	×260円/m ³																										
基本使用料 500円(税抜) 6.3%増(+30円)																												
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案D-3																							
	延戸数 (水栓数×12月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	6 m ³ 以下	9,619,947	50,156,165	470	4,521,375,090	500	30	6.3%	4,809,973,500	288,598,410																		
水量区分0	7 m ³ ~10 m ³	—	25,923,325	—	—	20	新設	新設	518,466,500	518,466,500																		
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	101	3	3.0%	4,806,581,415	142,769,745																		
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	133	5	3.9%	542,038,441	20,377,385																		
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	158	6	3.9%	579,982,766	22,024,662																		
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	190	7	3.8%	825,168,290	30,400,937																		
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	223	8	3.7%	1,451,941,627	52,087,592																		
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	239	9	3.9%	1,190,136,350	44,816,850																		
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	254	9	3.6%	1,201,947,050	42,588,675																		
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	260	0	0.0%	2,655,020,160	0																		
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,581,256,099	1,162,130,756																		

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
D-4 	基本水量切り下げ: 10→6m ³ 基本使用料:6.3%増 470円→500円(+30円)	従量区分別単価:7~10 m ³ 新設 20 円/m ³ 、11~50 m ³ を一律 7.2%増(1 円未満切捨てにより 7.0~7.1%増)、51 m ³ 以上現況固定	1 m ³ : 500 円 (+ 30 円)① 5 m ³ : 500 円 (+ 30 円)① 6 m ³ : 500 円 (+ 30 円)① 10 m ³ : 580 円 (+110 円)③ 20 m ³ : 1,630 円 (+180 円)③ 30 m ³ : 2,680 円 (+250 円)③ 40 m ³ : 4,050 円 (+340 円)③ 50 m ³ : 5,420 円 (+430 円)③ 100 m ³ : 13,020 円 (+430 円)③ 200 m ³ : 31,320 円 (+430 円)④ 500 m ³ : 95,820 円 (+430 円)⑦ 1,000 m ³ : 210,820 円 (+430 円)⑦ 2,000 m ³ : 455,820 円 (+430 円)⑦ 10,000 m ³ : 2,535,820 円 (+430 円)⑧																									
		<table border="1"> <tr><td>7 m³~10 m³</td><td>—</td><td>×20 円/m³</td></tr> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98 円/m³</td><td>×105 円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128 円/m³</td><td>×137 円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152 円/m³</td><td>×152 円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183 円/m³</td><td>×183 円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215 円/m³</td><td>×215 円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230 円/m³</td><td>×230 円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245 円/m³</td><td>×245 円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260 円/m³</td><td>×260 円/m³</td></tr> </table>	7 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×105 円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×137 円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×152 円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×183 円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×215 円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×230 円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×245 円/m ³	2,001 m ³ ~	×260 円/m ³
7 m ³ ~10 m ³	—	×20 円/m ³																										
11 m ³ ~30 m ³	×98 円/m ³	×105 円/m ³																										
31 m ³ ~50 m ³	×128 円/m ³	×137 円/m ³																										
51 m ³ ~100 m ³	×152 円/m ³	×152 円/m ³																										
101 m ³ ~200 m ³	×183 円/m ³	×183 円/m ³																										
201 m ³ ~500 m ³	×215 円/m ³	×215 円/m ³																										
501 m ³ ~1,000 m ³	×230 円/m ³	×230 円/m ³																										
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245 円/m ³	×245 円/m ³																										
2,001 m ³ ~	×260 円/m ³	×260 円/m ³																										
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案D-4																							
	延戸数 (水栓数×12 月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	6 m ³ 以下	9,619,947	50,156,165	470	4,521,375,090	500	30	6.3%	4,809,973,500	288,598,410																		
水量区分0	7 m ³ ~10 m ³	—	25,923,325	—	—	20	新設	新設	518,466,500	518,466,500																		
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	105	7	7.1%	4,996,941,075	333,129,405																		
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	137	9	7.0%	558,340,349	36,679,293																		
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	152	0	0.0%	557,958,104	0																		
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	183	0	0.0%	794,767,353	0																		
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	215	0	0.0%	1,399,854,035	0																		
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	230	0	0.0%	1,145,319,500	0																		
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	245	0	0.0%	1,159,358,375	0																		
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	260	0	0.0%	2,655,020,160	0																		
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,595,998,951	1,176,873,608																		

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																									
D-5 	基本水量切り下げ: 10→6m³ 基本使用料:6.3%増 470円→500円(+30円)	従量区分別単価:7~10m³新設 20円/m³、 各区分は一律 3.1%増(1円未満切捨てにより 2.3~3.0%増)	1m³: 500円 (+30円)① 5m³: 500円 (+30円)① 6m³: 500円 (+30円)① 10m³: 580円 (+110円)③ 20m³: 1,590円 (+140円)③ 30m³: 2,600円 (+170円)③ 40m³: 3,910円 (+200円)③ 50m³: 5,220円 (+230円)③ 100m³: 13,020円 (+430円)③ 200m³: 31,820円 (+930円)④ 500m³: 98,120円 (+2,730円)⑦ 1,000m³: 216,620円 (+6,230円)⑦ 2,000m³: 468,620円 (+13,230円)⑦ 10,000m³: 2,612,620円 (+77,230円)⑧																									
		<table border="1"> <tr> <td>7m³~10m³</td> <td>—</td> <td>×20円/m³</td> </tr> <tr> <td>11m³~30m³</td> <td>×98円/m³</td> <td>×101円/m³</td> </tr> <tr> <td>31m³~50m³</td> <td>×128円/m³</td> <td>×131円/m³</td> </tr> <tr> <td>51m³~100m³</td> <td>×152円/m³</td> <td>×156円/m³</td> </tr> <tr> <td>101m³~200m³</td> <td>×183円/m³</td> <td>×188円/m³</td> </tr> <tr> <td>201m³~500m³</td> <td>×215円/m³</td> <td>×221円/m³</td> </tr> <tr> <td>501m³~1,000m³</td> <td>×230円/m³</td> <td>×237円/m³</td> </tr> <tr> <td>1,001m³~2,000m³</td> <td>×245円/m³</td> <td>×252円/m³</td> </tr> <tr> <td>2,001m³~</td> <td>×260円/m³</td> <td>×268円/m³</td> </tr> </table>	7m³~10m³	—	×20円/m³	11m³~30m³	×98円/m³	×101円/m³	31m³~50m³	×128円/m³	×131円/m³	51m³~100m³	×152円/m³	×156円/m³	101m³~200m³	×183円/m³	×188円/m³	201m³~500m³	×215円/m³	×221円/m³	501m³~1,000m³	×230円/m³	×237円/m³	1,001m³~2,000m³	×245円/m³	×252円/m³	2,001m³~	×260円/m³
7m³~10m³	—	×20円/m³																										
11m³~30m³	×98円/m³	×101円/m³																										
31m³~50m³	×128円/m³	×131円/m³																										
51m³~100m³	×152円/m³	×156円/m³																										
101m³~200m³	×183円/m³	×188円/m³																										
201m³~500m³	×215円/m³	×221円/m³																										
501m³~1,000m³	×230円/m³	×237円/m³																										
1,001m³~2,000m³	×245円/m³	×252円/m³																										
2,001m³~	×260円/m³	×268円/m³																										
7m³から従量使用料がかかる→ <table border="1"> <tr> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </table> 従量使用料(1m³当たり 20円)	7	8	9	10	基本使用料 500円(税抜) 6.3%増(+30円)																							
7	8	9	10																									
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案D-5																							
	延戸数 (水栓数×12月)	有収水量(m³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																			
基本水量	6m³以下	9,619,947	50,156,165	470	4,521,375,090	500	30	6.3%	4,809,973,500	288,598,410																		
水量区分0	7m³~10m³	—	25,923,325	—	—	20	新設	新設	518,466,500	518,466,500																		
水量区分1	11m³~30m³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	101	3	3.0%	4,806,581,415	142,769,745																		
水量区分2	31m³~50m³	—	4,075,477	128	521,661,056	131	3	2.3%	533,887,487	12,226,431																		
水量区分3	51m³~100m³	—	3,670,777	152	557,958,104	156	4	2.6%	572,641,212	14,683,108																		
水量区分4	101m³~200m³	—	4,342,991	183	794,767,353	188	5	2.7%	816,482,308	21,714,955																		
水量区分5	201m³~500m³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	221	6	2.7%	1,438,919,729	39,065,694																		
水量区分6	501m³~1,000m³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	237	7	3.0%	1,180,177,050	34,857,550																		
水量区分7	1,001m³~2,000m³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	252	7	2.8%	1,192,482,900	33,124,525																		
水量区分8	2,001m³~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	268	8	3.0%	2,736,713,088	81,692,928																		
合 計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,606,325,189	1,187,199,846																		

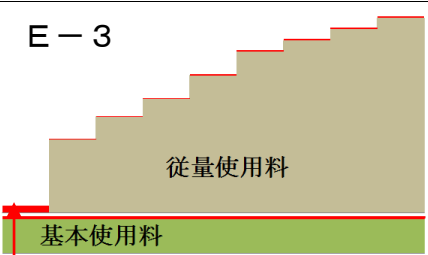
(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)		下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																																		
E-1 	基本水量廃止 基本使用料: 現況固定 470円→470円(±0円)	従量区分別単価: 1~10 m ³ を新設 16円/m ³ 、 各区分は現況固定		1 m ³ : 486円 (+16円)① 5 m ³ : 550円 (+80円)① 6 m ³ : 566円 (+96円)④ 10 m ³ : 630円 (+160円)④ 20 m ³ : 1,610円 (+160円)③ 30 m ³ : 2,590円 (+160円)③ 40 m ³ : 3,870円 (+160円)③ 50 m ³ : 5,150円 (+160円)③ 100 m ³ : 12,750円 (+160円)③ 200 m ³ : 31,050円 (+160円)④ 500 m ³ : 95,550円 (+160円)⑦ 1,000 m ³ : 210,550円 (+160円)⑦ 2,000 m ³ : 455,550円 (+160円)⑦ 10,000 m ³ : 2,535,550円 (+160円)⑧																																		
		<table border="1"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> </table> 1 m ³ から従量使用料(1 m ³ 当たり 16円)がかかる 基本使用料 470円(税抜)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1"> <tr> <td>1 m³~10 m³</td> <td>—</td> <td>×16円/m³</td> </tr> <tr> <td>11 m³~30 m³</td> <td>×98円/m³</td> <td>×98円/m³</td> </tr> <tr> <td>31 m³~50 m³</td> <td>×128円/m³</td> <td>×128円/m³</td> </tr> <tr> <td>51 m³~100 m³</td> <td>×152円/m³</td> <td>×152円/m³</td> </tr> <tr> <td>101 m³~200 m³</td> <td>×183円/m³</td> <td>×183円/m³</td> </tr> <tr> <td>201 m³~500 m³</td> <td>×215円/m³</td> <td>×215円/m³</td> </tr> <tr> <td>501 m³~1,000 m³</td> <td>×230円/m³</td> <td>×230円/m³</td> </tr> <tr> <td>1,001 m³~2,000 m³</td> <td>×245円/m³</td> <td>×245円/m³</td> </tr> <tr> <td>2,001 m³~</td> <td>×260円/m³</td> <td>×260円/m³</td> </tr> </table>	1 m ³ ~10 m ³	—	×16円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98円/m ³	×98円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128円/m ³	×128円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152円/m ³	×152円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183円/m ³	×183円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215円/m ³	×215円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230円/m ³	×230円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245円/m ³	×245円/m ³	2,001 m ³ ~
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																													
1 m ³ ~10 m ³	—	×16円/m ³																																				
11 m ³ ~30 m ³	×98円/m ³	×98円/m ³																																				
31 m ³ ~50 m ³	×128円/m ³	×128円/m ³																																				
51 m ³ ~100 m ³	×152円/m ³	×152円/m ³																																				
101 m ³ ~200 m ³	×183円/m ³	×183円/m ³																																				
201 m ³ ~500 m ³	×215円/m ³	×215円/m ³																																				
501 m ³ ~1,000 m ³	×230円/m ³	×230円/m ³																																				
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245円/m ³	×245円/m ³																																				
2,001 m ³ ~	×260円/m ³	×260円/m ³																																				
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)		現行		改定パターン案E-1																																	
	延戸数 (水栓数×12月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額 (円)	単価 増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																													
基本水量	無し	9,619,947	—	470	4,521,375,090	470	0	0.0%	4,521,375,090	0																												
水量区分0	1 m ³ ~10 m ³	—	76,079,490	—	—	16	新設	新設	1,217,271,840	1,217,271,840																												
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	98	0	0.0%	4,663,811,670	0																												
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	128	0	0.0%	521,661,056	0																												
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	152	0	0.0%	557,958,104	0																												
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	183	0	0.0%	794,767,353	0																												
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	215	0	0.0%	1,399,854,035	0																												
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	230	0	0.0%	1,145,319,500	0																												
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	245	0	0.0%	1,159,358,375	0																												
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	260	0	0.0%	2,655,020,160	0																												
合計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,636,397,183	1,217,271,840																												

(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																								
E-2 	基本水量廃止 基本使用料: 現況固定 470 円→470 円(±0 円)	従量区分別単価: 新設 10 円/m³ 、 各区分は一律 3.3%増 (1 円未満切捨てにより 3.0~3.2%増)	1 m³: 480 円 (+ 10 円)① 5 m³: 520 円 (+ 50 円)① 6 m³: 530 円 (+ 60 円)① 10 m³: 570 円 (+100 円)③ 20 m³: 1,580 円 (+130 円)③ 30 m³: 2,590 円 (+160 円)③ 40 m³: 3,910 円 (+200 円)③ 50 m³: 5,230 円 (+240 円)③ 100 m³: 13,080 円 (+490 円)③ 200 m³: 31,980 円 (+1,090 円)④ 500 m³: 98,580 円 (+3,190 円)⑦ 1,000 m³: 217,080 円 (+6,690 円)⑦ 2,000 m³: 470,080 円 (+14,690 円)⑦ 10,000 m³: 2,614,080 円 (+78,690 円)⑧																								
		<table border="1"> <tr><td>1 m³~10 m³</td><td>—</td><td>×10 円/m³</td></tr> <tr><td>11 m³~30 m³</td><td>×98 円/m³</td><td>×101 円/m³</td></tr> <tr><td>31 m³~50 m³</td><td>×128 円/m³</td><td>×132 円/m³</td></tr> <tr><td>51 m³~100 m³</td><td>×152 円/m³</td><td>×157 円/m³</td></tr> <tr><td>101 m³~200 m³</td><td>×183 円/m³</td><td>×189 円/m³</td></tr> <tr><td>201 m³~500 m³</td><td>×215 円/m³</td><td>×222 円/m³</td></tr> <tr><td>501 m³~1,000 m³</td><td>×230 円/m³</td><td>×237 円/m³</td></tr> <tr><td>1,001 m³~2,000 m³</td><td>×245 円/m³</td><td>×253 円/m³</td></tr> <tr><td>2,001 m³~</td><td>×260 円/m³</td><td>×268 円/m³</td></tr> </table>	1 m³~10 m³	—	×10 円/m³	11 m³~30 m³	×98 円/m³	×101 円/m³	31 m³~50 m³	×128 円/m³	×132 円/m³	51 m³~100 m³	×152 円/m³	×157 円/m³	101 m³~200 m³	×183 円/m³	×189 円/m³	201 m³~500 m³	×215 円/m³	×222 円/m³	501 m³~1,000 m³	×230 円/m³	×237 円/m³	1,001 m³~2,000 m³	×245 円/m³	×253 円/m³	2,001 m³~
1 m³~10 m³	—	×10 円/m³																									
11 m³~30 m³	×98 円/m³	×101 円/m³																									
31 m³~50 m³	×128 円/m³	×132 円/m³																									
51 m³~100 m³	×152 円/m³	×157 円/m³																									
101 m³~200 m³	×183 円/m³	×189 円/m³																									
201 m³~500 m³	×215 円/m³	×222 円/m³																									
501 m³~1,000 m³	×230 円/m³	×237 円/m³																									
1,001 m³~2,000 m³	×245 円/m³	×253 円/m³																									
2,001 m³~	×260 円/m³	×268 円/m³																									
排除汚水量区分	平成 37 年度(6 年目)	現行	改定パターン案 E-2																								
	延戸数 (水栓数×12 月)	有収水量(m³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額(円)	増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																		
基本水量	無し	9,619,947	—	470	4,521,375,090	470	0	0.0%	4,521,375,090	0																	
水量区分0	1 m³~10 m³	—	76,079,490	—	—	10	新設	新設	760,794,900	760,794,900																	
水量区分1	11 m³~30 m³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	101	3	3.0%	4,806,581,415	142,769,745																	
水量区分2	31 m³~50 m³	—	4,075,477	128	521,661,056	132	4	3.1%	537,962,964	16,301,908																	
水量区分3	51 m³~100 m³	—	3,670,777	152	557,958,104	157	5	3.2%	576,311,989	18,353,885																	
水量区分4	101 m³~200 m³	—	4,342,991	183	794,767,353	189	6	3.2%	820,825,299	26,057,946																	
水量区分5	201 m³~500 m³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	222	7	3.2%	1,445,430,678	45,576,643																	
水量区分6	501 m³~1,000 m³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	237	7	3.0%	1,180,177,050	34,857,550																	
水量区分7	1,001 m³~2,000 m³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	253	8	3.2%	1,197,214,975	37,856,600																	
水量区分8	2,001 m³~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	268	8	3.0%	2,736,713,088	81,692,928																	
合計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,583,387,448	1,164,262,105																	

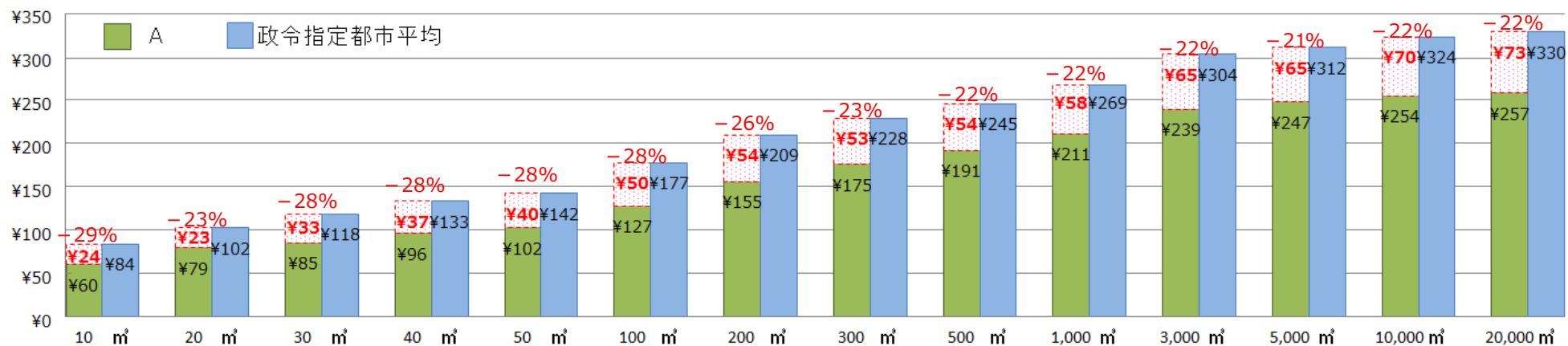
(注) 算定期間(平成 32 年度~平成 41 年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年 0.6%減少する見通しで試算し、平成 37 年度(6 年目)を例示している。

改定パターン	基本使用料 (税抜)	従量使用料 (税抜)	下水道使用料 (税抜) ○は政令指定都市順位																																			
E-3  従量使用料 基本使用料	基本水量廃止 基本使用料:6.3%増 470円→500円(+30円)	従量区分別単価:新設 10円/m ³ 、 各区分は一律1.1%増(1円未満切捨てにより0.6~1.0%増)	1 m ³ : 510円 (+40円)① 5 m ³ : 550円 (+80円)① 6 m ³ : 560円 (+90円)② 10 m ³ : 600円 (+130円)③ 20 m ³ : 1,590円 (+140円)③ 30 m ³ : 2,580円 (+150円)③ 40 m ³ : 3,870円 (+160円)③ 50 m ³ : 5,160円 (+170円)③ 100 m ³ : 12,810円 (+220円)③ 200 m ³ : 31,310円 (+420円)④ 500 m ³ : 96,410円 (+1,020円)⑦ 1,000 m ³ : 212,410円 (+2,020円)⑦ 2,000 m ³ : 459,410円 (+4,020円)⑦ 10,000 m ³ : 2,555,410円 (+20,020円)⑧																																			
		<table border="1"> <tr> <td>1 m³~10 m³</td> <td>—</td> <td>×10円/m³</td> </tr> <tr> <td>11 m³~30 m³</td> <td>×98円/m³</td> <td>×99円/m³</td> </tr> <tr> <td>31 m³~50 m³</td> <td>×128円/m³</td> <td>×129円/m³</td> </tr> <tr> <td>51 m³~100 m³</td> <td>×152円/m³</td> <td>×153円/m³</td> </tr> <tr> <td>101 m³~200 m³</td> <td>×183円/m³</td> <td>×185円/m³</td> </tr> <tr> <td>201 m³~500 m³</td> <td>×215円/m³</td> <td>×217円/m³</td> </tr> <tr> <td>501 m³~1,000 m³</td> <td>×230円/m³</td> <td>×232円/m³</td> </tr> <tr> <td>1,001 m³~2,000 m³</td> <td>×245円/m³</td> <td>×247円/m³</td> </tr> <tr> <td>2,001 m³~</td> <td>×260円/m³</td> <td>×262円/m³</td> </tr> </table>	1 m ³ ~10 m ³	—	×10円/m ³	11 m ³ ~30 m ³	×98円/m ³	×99円/m ³	31 m ³ ~50 m ³	×128円/m ³	×129円/m ³	51 m ³ ~100 m ³	×152円/m ³	×153円/m ³	101 m ³ ~200 m ³	×183円/m ³	×185円/m ³	201 m ³ ~500 m ³	×215円/m ³	×217円/m ³	501 m ³ ~1,000 m ³	×230円/m ³	×232円/m ³	1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245円/m ³	×247円/m ³	2,001 m ³ ~	×260円/m ³	×262円/m ³	<table border="1"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> </table> 1 m ³ から従量使用料(1 m ³ 当たり10円)がかかる 基本使用料 500円(税抜) 6.3%増(+30円)	1	2	3	4	5	6	7	8
1 m ³ ~10 m ³	—	×10円/m ³																																				
11 m ³ ~30 m ³	×98円/m ³	×99円/m ³																																				
31 m ³ ~50 m ³	×128円/m ³	×129円/m ³																																				
51 m ³ ~100 m ³	×152円/m ³	×153円/m ³																																				
101 m ³ ~200 m ³	×183円/m ³	×185円/m ³																																				
201 m ³ ~500 m ³	×215円/m ³	×217円/m ³																																				
501 m ³ ~1,000 m ³	×230円/m ³	×232円/m ³																																				
1,001 m ³ ~2,000 m ³	×245円/m ³	×247円/m ³																																				
2,001 m ³ ~	×260円/m ³	×262円/m ³																																				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																													
排除汚水量区分	平成37年度(6年目)		現行		改定パターン案E-3																																	
	延戸数 (水栓数×12月)	有収水量(m ³)	単価(円)	調定見込額(円)	単価(円)	単価増加額(円)	増加率	調定見込額(円)	増収見込額(円)																													
基本水量	無し	9,619,947	—	470	4,521,375,090	500	30	6.3%	4,809,973,500	288,598,410																												
水量区分0	1 m ³ ~10 m ³	—	76,079,490	—	—	10	新設	新設	760,794,900	760,794,900																												
水量区分1	11 m ³ ~30 m ³	—	47,589,915	98	4,663,811,670	99	1	1.0%	4,711,401,585	47,589,915																												
水量区分2	31 m ³ ~50 m ³	—	4,075,477	128	521,661,056	129	1	0.7%	525,736,533	4,075,477																												
水量区分3	51 m ³ ~100 m ³	—	3,670,777	152	557,958,104	153	1	0.6%	561,628,881	3,670,777																												
水量区分4	101 m ³ ~200 m ³	—	4,342,991	183	794,767,353	185	2	1.0%	803,453,335	8,685,982																												
水量区分5	201 m ³ ~500 m ³	—	6,510,949	215	1,399,854,035	217	2	0.9%	1,412,875,933	13,021,898																												
水量区分6	501 m ³ ~1,000 m ³	—	4,979,650	230	1,145,319,500	232	2	0.8%	1,155,278,800	9,959,300																												
水量区分7	1,001 m ³ ~2,000 m ³	—	4,732,075	245	1,159,358,375	247	2	0.8%	1,168,822,525	9,464,150																												
水量区分8	2,001 m ³ ~	—	10,211,616	260	2,655,020,160	262	2	0.7%	2,675,443,392	20,423,232																												
合計		9,619,947	162,192,940	—	17,419,125,343	—	—	—	18,585,409,384	1,166,284,041																												

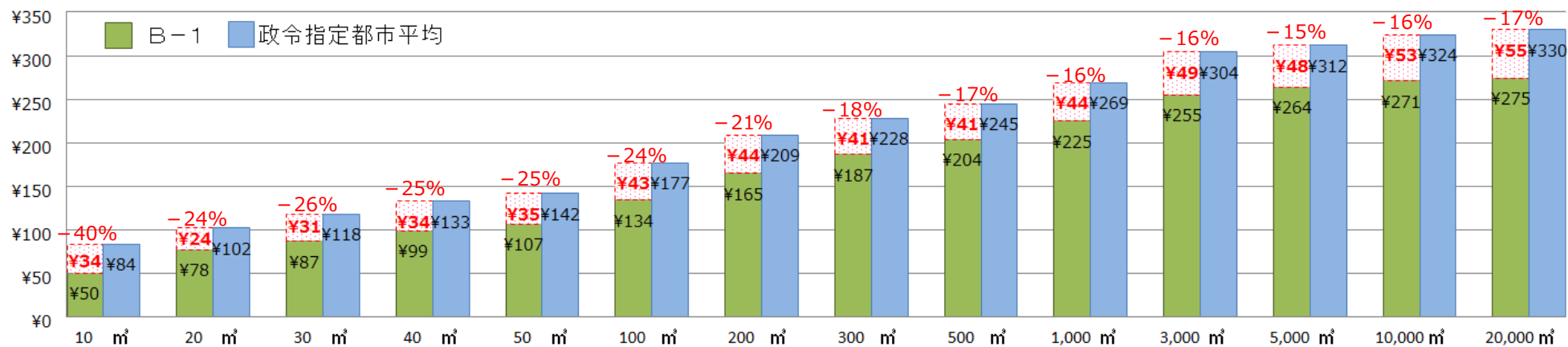
(注) 算定期間(平成32年度~平成41年度)を通じて、延戸数は微増し、有収水量は年0.6%減少する見通しで試算し、平成37年度(6年目)を例示している。

(4) 使用水量 1 m³当たりの下水道使用料の政令指定都市平均との比較（平成 31 年 3 月 1 日現在、1 戸 1 月につき、税抜、単位：円）

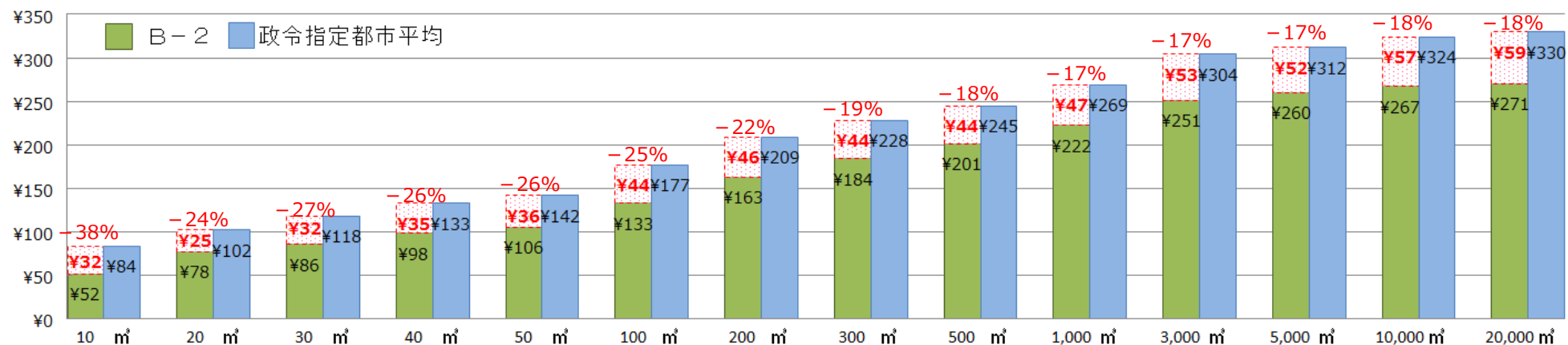
1) 改定パターンA



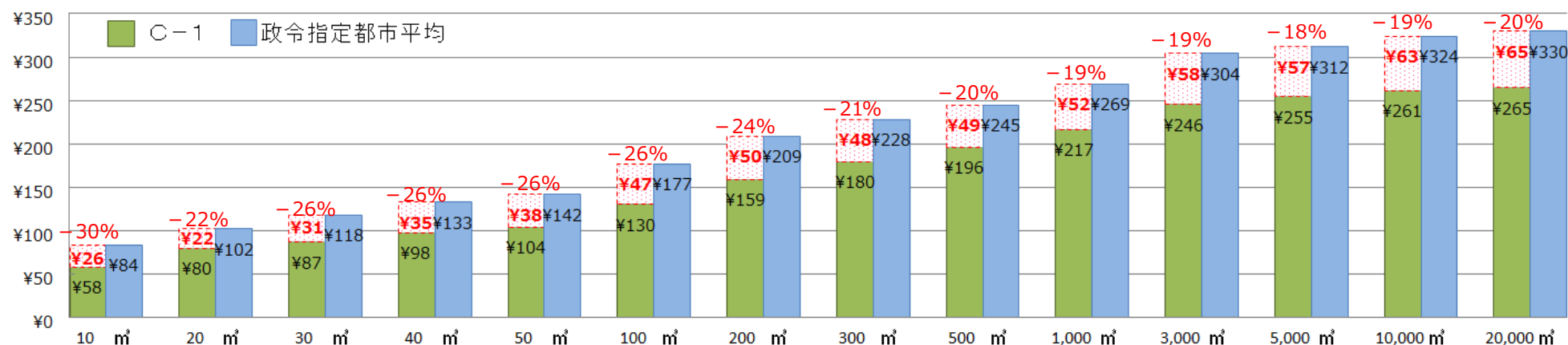
2) 改定パターンB-1



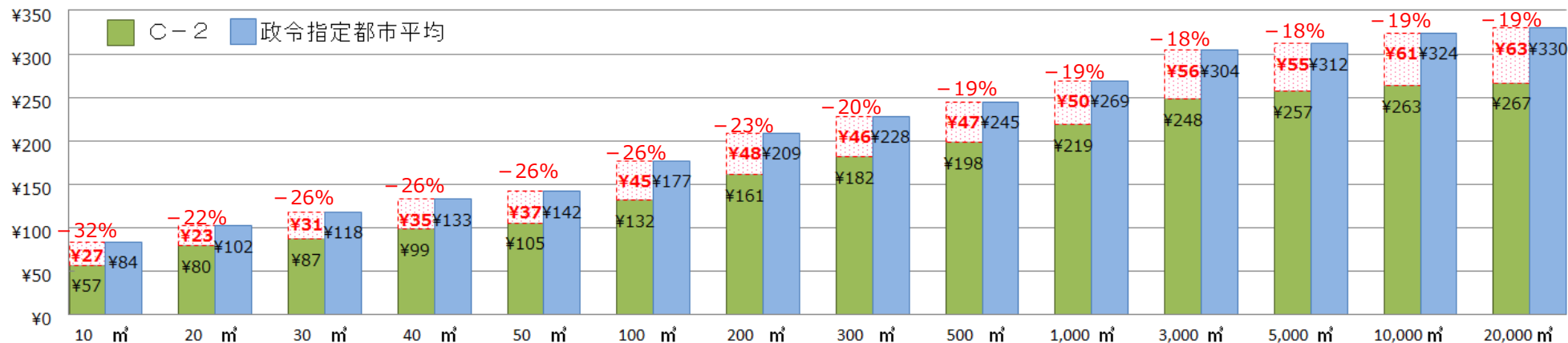
3) 改定パターンB-2



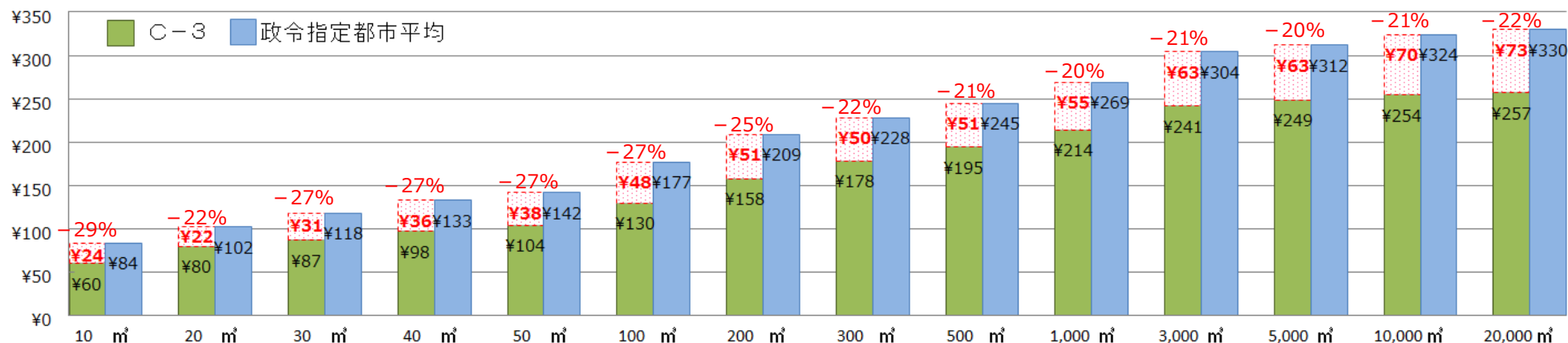
4) 改定パターンC-1



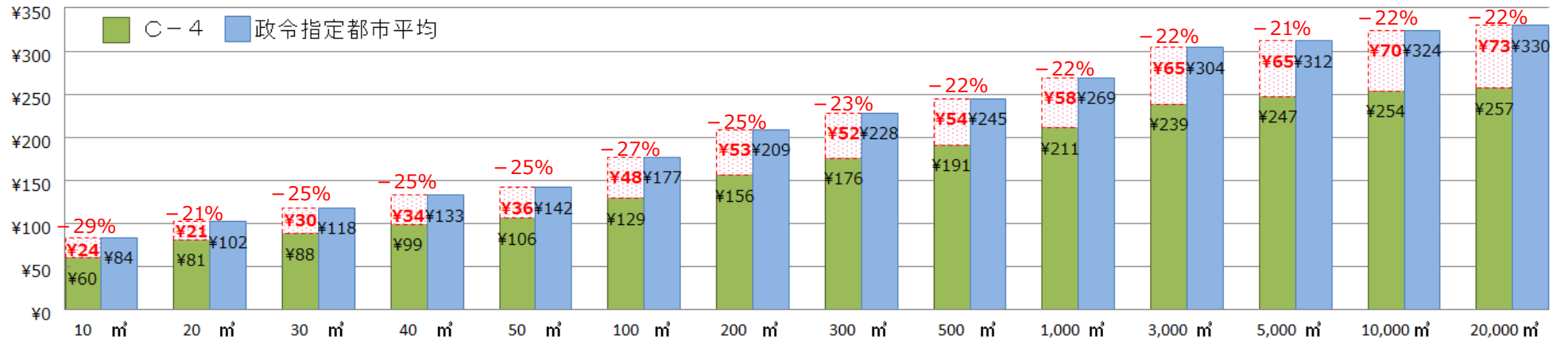
5) 改定パターンC-2



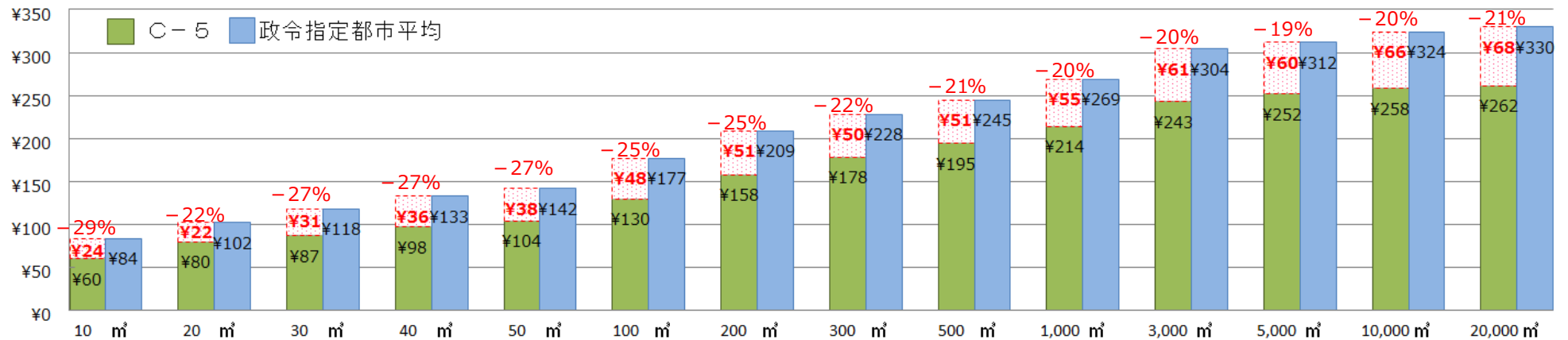
6) 改定パターンC-3



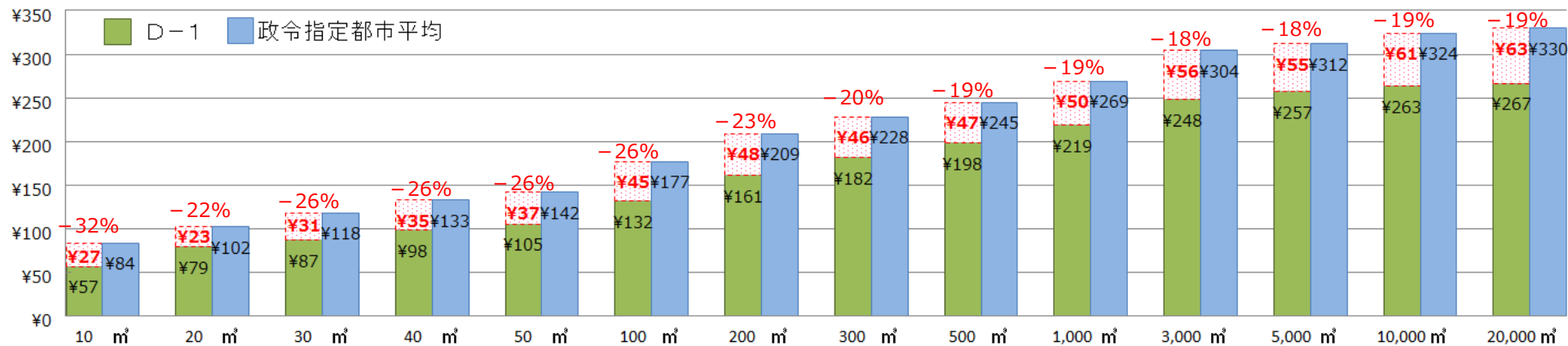
7) 改定パターンC-4



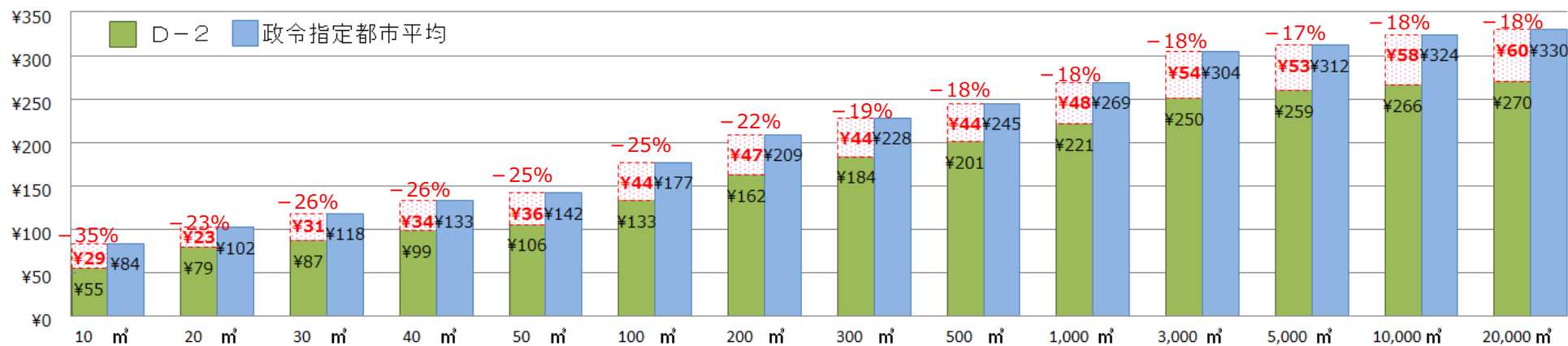
8) 改定パターン 改定案 (C-5)



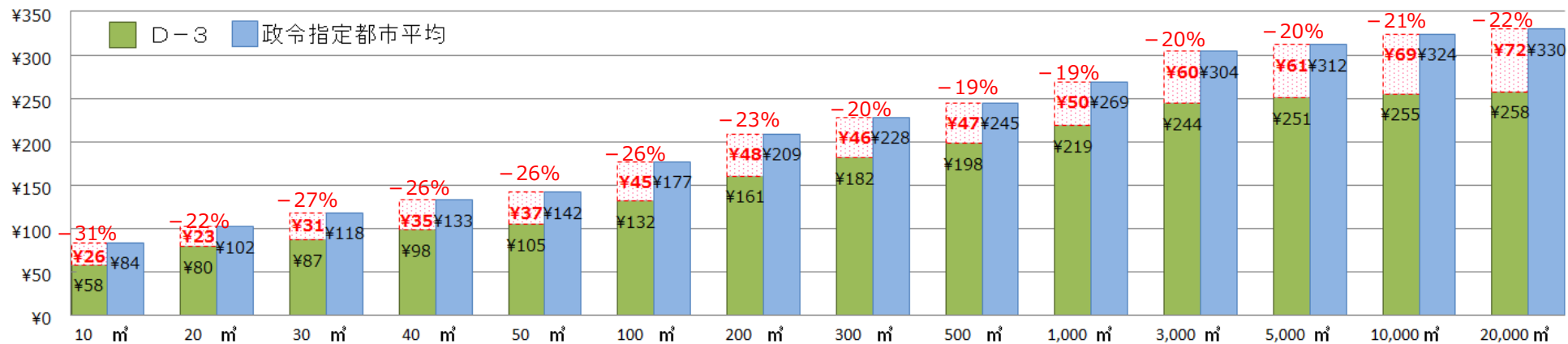
9) 改定パターンD-1



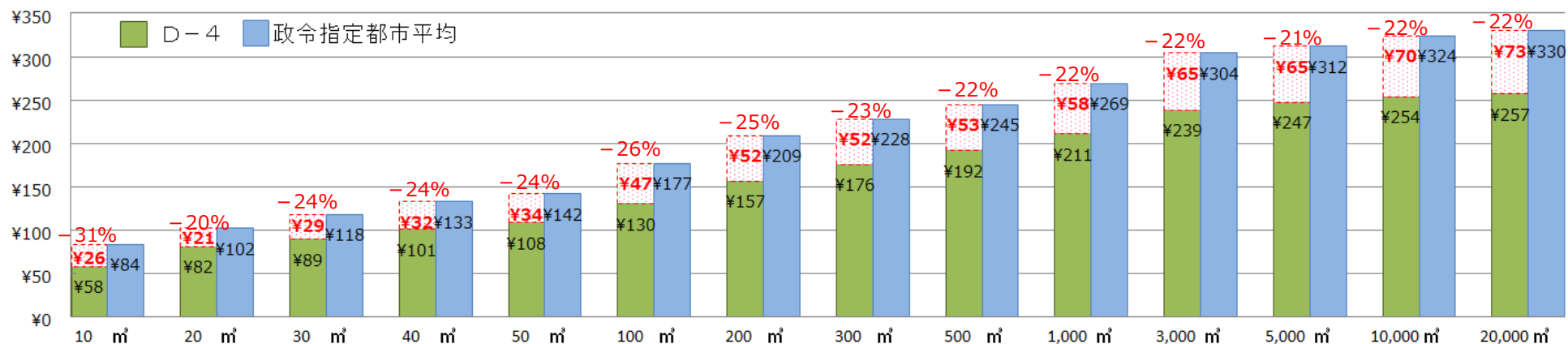
10) 改定パターンD-2



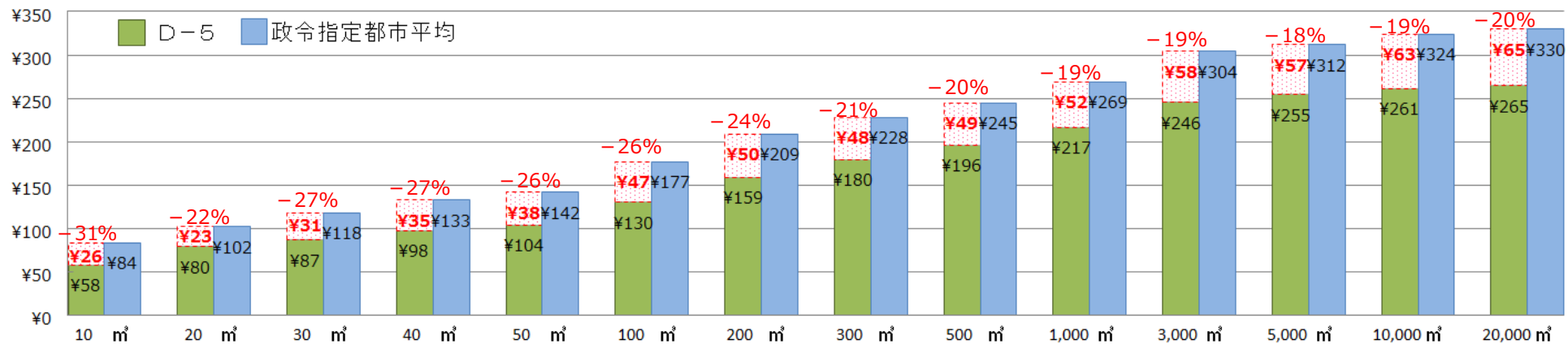
11) 改定パターンD-3



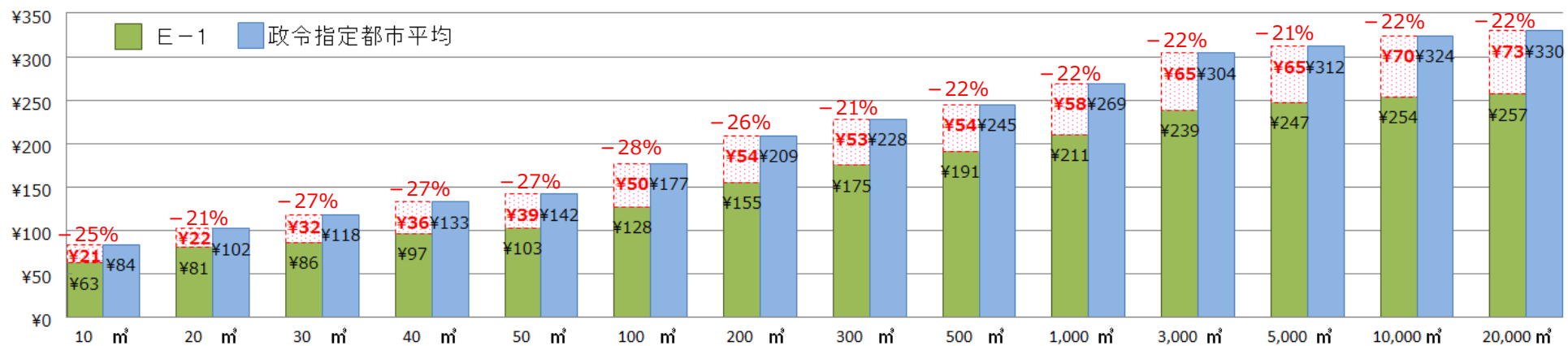
12) 改定パターンD-4



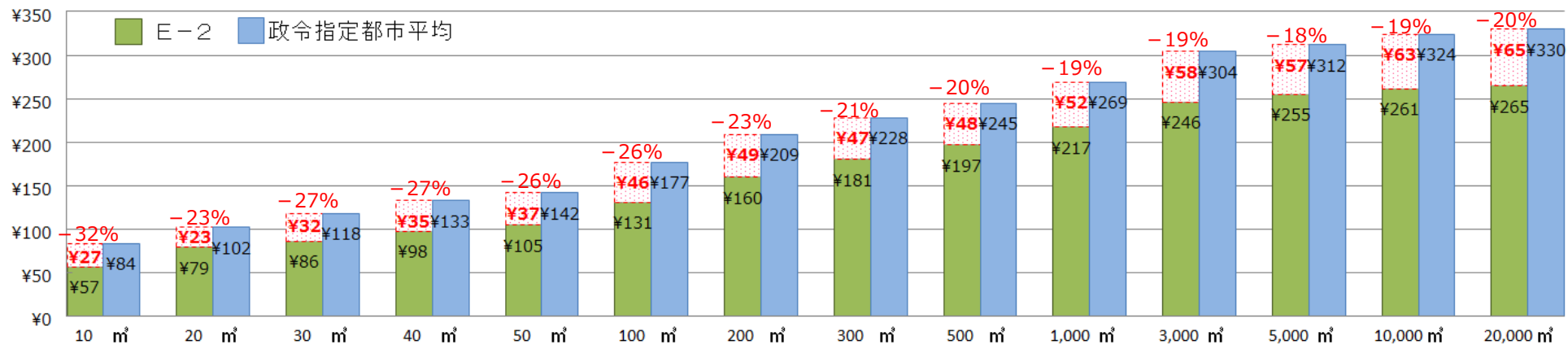
13) 改定パターンD-5



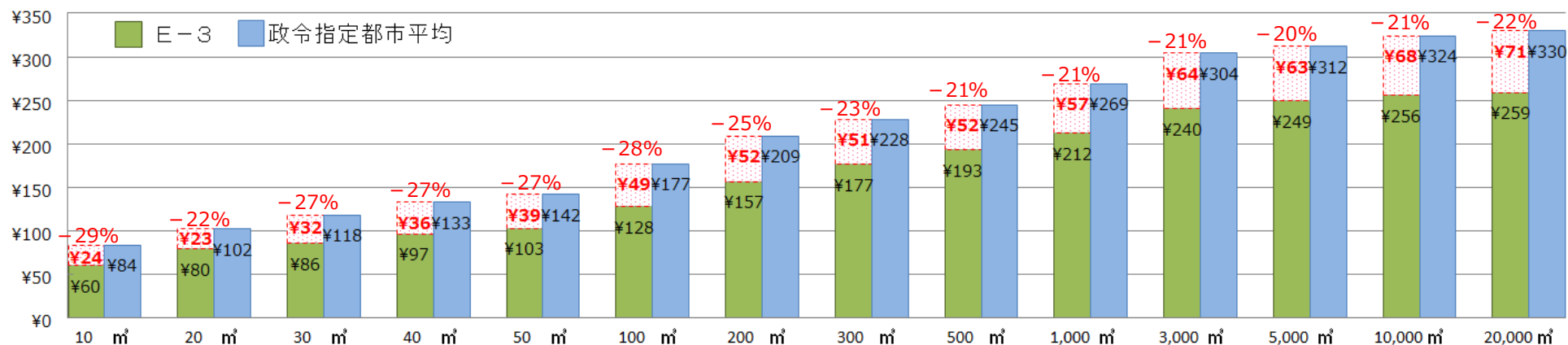
14) 改定パターンE-1



15) 改定パターンE-2



16) 改定パターンE-3



(5) その他

①浴場汚水の使用料について

市内の一般公衆浴場（銭湯）の数は42施設（平成29年度末）である。

基本水量は一般汚水と同じ水量とし、基本使用料も一般汚水と同額とし、従量使用料（基本水量を超える部分の単価）の単価は据え置きとする。

- 〔理由〕
- 1) 公共性が高く、その確保を図る必要性がある。（「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」の規定どおり）
 - 2) 物価統制令により入浴料金が制限されているため、値上げ分を料金に転嫁しにくい。
 - 3) 「市内公衆浴場への支援」は神戸市の基本施策である。

現 行：基本使用料 470 円(10 m³以下、税抜)+37 円/m³(11 m³～、税抜)

改定案：基本使用料 500 円(5 m³以下、税抜)+37 円/m³(6 m³～、税抜)

②共用汚水の使用料について

全市で47水栓（平成29年度末）である。

共用汚水とは、一般住宅において1個の水道メーターにより2以上の専用又は共用給水装置に給水するものをいう（神戸市水道条例第4条第2号及び第3号、第12条第3項及び第4項、水道条例施行規程第6条第4号）。

基本水量は一般汚水と同じ水量とし、共用汚水の基本使用料及び従量使用料の単価は、一般汚水の平均改定率にあわせて改定する。

現 行：基本使用料 350 円(10 m³以下、税抜)+16 円/m³(11 m³～、税抜)

改定案：基本使用料 370 円(5 m³以下、税抜)+17 円/m³(6 m³～、税抜)

③水質使用料について

水質使用料は、全処理コストの内、汚水処理に係る経費としてBOD（生物化学的酸素要求量）処理原価を算定し、一定基準を超える高濃度汚水を排出する事業者には費用を賦課する制度であり、62事業者（平成29年度末）から徴収している。

水質使用料の設定について、「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年度版）〔公益社団法人日本下水道協会〕」に基づき、平成29年度決算をもとに算定した結果、処理費用に見合う水質使用料を徴収できているため、現行の水質使用料は据え置きとする。

〔参考〕下水道使用料体系の推移

(1戸1月につき)

	昭和50年11月		昭和55年4月		昭和57年6月		昭和61年5月(現行)	
平均改定率	175%		85.9%		82.8%		31.9%	
一般汚水	10 m ³ 以下	(基本額)100円	10 m ³ 以下	(基本額)150円	10 m ³ 以下	(基本額)330円	10 m ³ 以下	(基本額)470円
	11 m ³ ～20 m ³	×20円/m ³	11 m ³ ～20 m ³	×32円/m ³	11 m ³ ～30 m ³	×71円/m ³	11 m ³ ～30 m ³	×98円/m ³
	21 m ³ ～30 m ³	×22円/m ³	21 m ³ ～30 m ³	×37円/m ³				
	31 m ³ ～50 m ³	×25円/m ³	31 m ³ ～50 m ³	×44円/m ³	31 m ³ ～50 m ³	×93円/m ³	31 m ³ ～50 m ³	×128円/m ³
	51 m ³ ～100 m ³	×30円/m ³	51 m ³ ～100 m ³	×50円/m ³	51 m ³ ～100 m ³	×114円/m ³	51 m ³ ～100 m ³	×152円/m ³
	101 m ³ ～200 m ³	×35円/m ³	101 m ³ ～200 m ³	×65円/m ³	101 m ³ ～200 m ³	×139円/m ³	101 m ³ ～200 m ³	×183円/m ³
	201 m ³ ～500 m ³	×40円/m ³	201 m ³ ～500 m ³	×85円/m ³	201 m ³ ～500 m ³	×165円/m ³	201 m ³ ～500 m ³	×215円/m ³
	501 m ³ ～1,000 m ³	×50円/m ³	501 m ³ ～1,000 m ³	×105円/m ³	501 m ³ ～1,000 m ³	×180円/m ³	501 m ³ ～1,000 m ³	×230円/m ³
	1,001 m ³ ～2,000 m ³	×60円/m ³	1,001 m ³ ～2,000 m ³	×125円/m ³	1,001 m ³ ～2,000 m ³	×195円/m ³	1,001 m ³ ～2,000 m ³	×245円/m ³
	2,001 m ³ ～5,000 m ³	×62円/m ³	2,001 m ³ ～5,000 m ³	×145円/m ³	2,001 m ³ ～	×210円/m ³	2,001 m ³ ～	×260円/m ³
5,001 m ³ ～	×75円/m ³	5,001 m ³ ～	×165円/m ³					
浴場汚水	10 m ³ 以下	(基本額)100円	10 m ³ 以下	(基本額)150円	10 m ³ 以下	(基本額)330円	10 m ³ 以下	(基本額)470円
	11 m ³ ～	×10円/m ³	11 m ³ ～	×13円/m ³	11 m ³ ～	×28円/m ³	11 m ³ ～	×37円/m ³
共用汚水	10 m ³ 以下	(基本額)100円	10 m ³ 以下	(基本額)150円	10 m ³ 以下	(基本額)250円	10 m ³ 以下	(基本額)350円
	11 m ³ ～	×6円/m ³	11 m ³ ～	×8円/m ³	11 m ³ ～	×12円/m ³	11 m ³ ～	×16円/m ³
特記事項	使用水量が増えるほど使用料単価が上がる累進制を導入		水資源の節約等の観点から累進度を引き上げ		従量部分の階層を10から8に削減し、累進度緩和 冷夏・節水による使用料収入減少と電気料金大幅改定等による維持管理費増大が原因で財政計画の見直しを目的とする改定		水需要動向の変化を反映し、累進度を一層緩和 赤字(累積欠損金)解消と一般会計負担の区分の変更を目的とする改定	

(参考) 地方公営企業法と下水道会計

(1) 地方公営企業法と下水道会計

会計区分	会計の種類		各会計の特徴
地方公共団体の会計	一般会計	普通会計	<ul style="list-style-type: none"> 福祉、教育、道路・公園の整備、ごみ処理など、市の基本的な事業を行うための会計。 主に市税や地方交付税などによってまかなわれる。
	特別会計		<ul style="list-style-type: none"> 特定の事業を特定の歳入によって実施するための会計。 特別会計の設置が法令上義務づけられているもの。 ⇒国民健康保険事業費や介護保険事業費、市営住宅事業費など
		<p style="color: red; text-align: center;">公営企業会計 地方公営企業法</p>	<ul style="list-style-type: none"> 財務（公営企業会計）、組織、職員の身分取扱い等、地方公営企業法の規定のすべてが当然に適用される。 ⇒水道事業、工業用水道事業、軌道事業、自動車運送事業、鉄道事業、電気事業、ガス事業 財務（公営企業会計）規定のみ適用される（各団体の判断ですべて適用することも可能）。 ⇒病院事業 各団体の判断で、法の全部か一部を条例で適用することが可能。 ⇒簡易水道事業、下水道事業、港湾整備事業、市場事業、と畜場事業、観光事業、宅地造成事業

「地方公営企業」

- ①地方公共団体が経営
 - ②地域住民にサービスを提供
 - ③受益が個人に帰属
- 受益者が、受益量に応じて経費を負担することが公平

「地方公営企業法」

地方公営企業を対象として、その組織や財務、職員の身分取り扱い等を定める法律。

「地方公営企業法」を適用すると、会計方式が「公営企業会計」となる。

神戸市の下水道事業は、昭和40年度から「公営企業会計」を適用している。

※昭和41年の法改正で、下水道事業に「地方公営企業法」を適用するかどうかは各事業体の判断に委ねられてきたが、「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」（平成27年1月23日付け総務大臣通知）により、全国の人口3万人以上の地方公共団体における下水道事業は、平成32年（2020年）4月1日までに、公営企業会計に移行するよう要請されている。

(2) 一般会計や民間企業会計との違い

公営企業会計と民間企業の会計の大きな違いは、収益的収支予算と資本的収支予算の有無による違いである。決算においては、予算に対して決算報告をする必要がある。

	官公庁会計 (一般会計・普通会計等)	公営企業会計 (下水道事業会計・港湾事業会計・自動車事業会計・高速鉄道事業会計・水道事業会計等)	民間企業の会計 (上場会社を前提とする)
記帳方式	単式簿記 (入出金を歳入歳出の科目別に記帳する方式)	複式簿記 (取引の原因と結果の両面から記帳する方式)	複式簿記
予算・決算	議決案件 予算・決算報告書(税込)	議決案件 予算・決算報告書(税込)	株主総会の承認(株式会社の場合) 決算のみ法定、予算作成は任意
決算書類	歳入歳出決算書 歳入歳出決算事項別明細書 実質収支に関する調書 財産に関する調書	財務諸表(税抜) 〔貸借対照表 損益計算書 キャッシュ・フロー計算書〕	財務諸表(税抜) 〔貸借対照表 損益計算書 株主資本等変動報告書 キャッシュ・フロー計算書〕
収益・資本	概念がない	予算・決算が「収益的収支予算」と「資本的収支予算」に分かれている。 ※事前統制(予算制度の重視)により、民間企業のように柔軟な執行はできない。	「収益的収支予算」や「資本的収支予算」と同様の概念がある。
利益の考え方	基本的に存在しない	純利益は儲けではなく、将来にわたって需要に応えるために必要な「 公共的必要余剰 」。※黒字計上が前提条件 借入金の償還や建設改良費の財源(またはそのための内部留保)となる。	儲けであり、株主への配当金、役員への賞与、法人税・地方税等で外部に流出した残額しか内部留保できない。
資金調達手段	地方債 寄附金の受け入れ	企業債(地方債)の発行 他会計からの繰り入れ	株式の発行、社債の発行、銀行借入など